

総合分析実験センター 自己点検評価報告書

平成25年度

目次

1. 部局等の目的・目標	2
2. 部局等の概要	2
3. 領域別の自己点検評価	3
(1) 教育支援の領域	3
(2) 研究支援の領域	5
(3) 国際交流・社会貢献の領域	7
(4) 組織運営の領域	9
(5) 施設の領域	10
4. 外部評価	11
5. 明らかとなった課題および課題に対する改善の状況・方策	11
6. 総括	11
7. センター利用実績	12
(1) 平成25年度利用実績の概要	12
(2) センター利用実績の動向	12
(3) センター施設、設備・機器利用数および利用機器	14
(4) センターを利用して得られた業績および外部資金	17
・ 著書	17
・ 原著論文	18
・ 総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文	27
・ 招待講演・特別講演	28
・ 一般講演	29
・ 受賞	50
・ 知的財産権の出願等	50
・ 外部資金	51
(5) センター教職員による業績および外部資金	55

1. 部局等の目的・目標

佐賀大学総合分析実験センターは本学における教育研究の総合的支援を目的とした全学共同施設で、本庄地区と鍋島地区それぞれに「生物資源開発部門」、「機器分析部門」、「放射性同位元素利用部門」および「環境安全部門」の4部門を設置している。これらの4部門が機能的に連携して学内の研究教育を総合的に支援する。

総合分析実験センターの目標は、本学の中期計画として、次の3項目が定められている。

- ① 総合分析実験センターを基盤として、実験機器類の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備する。
- ② 総合分析実験センターを研究支援組織の中核として整備し、研究室、研究機器等の共同利用を進める。
- ③ 学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図る。

2. 部局等の概要

佐賀大学総合分析実験センターは、社会的な要請度の高い生命、環境、材料等の研究やこれらの複合領域研究に対応できる人材の育成を総合的かつ効果的に支援する体制を構築するために、平成14年4月1日に、従来の「機器分析センター」と「放射性同位元素実験室」を「機器分析分野」、「放射性同位元素利用分野」に改組し、それに新設の「ライフサイエンス分野」を加えて学内共同教育研究支援施設として設立された。平成15年10月1日の佐賀医科大学との統合にあたり、同医科大学の動物実験施設、実験実習機器センター、RI実験施設を加え、生命科学領域の教育研究支援体制を充実させ、「生物資源開発部門」、「機器分析部門」および「放射性同位元素利用部門」の3部門からなる全学的な研究教育支援施設として新たな「総合分析実験センター」に生まれ変わった。さらに、平成18年度に「環境安全部門」を新設し、これらの4部門が連携して、学内の理工、農、医、文化教育学分野の研究教育を総合的に支援している。各部門は、佐賀大学の本庄地区と鍋島地区にそれぞれに配置されており、平成25年度はセンター長(併任)、副センター長(併任)、准教授4名、助教2名、教務員2名、技術職員8名(うち3名は再雇用)、非常勤職員5名、研究支援推進員1名から構成されている。

総合分析実験センター4部門が担当する支援業務を以下に列举した。

生物資源開発部門

遺伝子組換え実験と動物実験に関する教育、研究、講習、教育訓練および安全管理を担当

機器分析部門

大型高性能分析機器類の維持管理、総合的な分析・測定に関する教育と研究、分析機器の使用講習会および教育訓練を担当

放射性同位元素利用部門

放射性同位元素等の利用に関する教育と研究、放射性同位元素等安全取扱講習会および安全管理を担当

環境安全部門

環境分析機器の安全管理と教育講習、環境整備および環境分析に関する研究の支援、環境問題に関する共同研究の受入れおよび相談窓口、環境問題についての教育および情報提供、および学内環境安全業務の一部を担当

3. 領域別の自己点検評価

(1) 教育支援の領域

ア 教育支援環境に関する事項

総合分析実験センターを基盤として、実験機器類および生物資源の維持・開発と放射性同位元素利用に関する設備の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備するため、以下の事項を中心に取り組んだ。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 教員、学生等が利用した機器とそれによって得られた研究成果および機器を利用することを前提として得た外部資金に関する情報収集を毎年度行なうこととし、その調査対象とする機器、調査方法、データ整理について、報告書の内容や研究成果の情報収集の方法の改善を図っている。
- 2) センター両地区の共同利用可能機器についての情報を発信するホームページを構築し、共同利用機器の予約申込み、予約状況ならびに運用状況の確認をオンラインでできる体制を整えている。また、機器分析部門鍋島地区においては利用者メーリングリストを構築し、共同利用機器運用に関して迅速な情報提供を行う体制を整えている。
- 3) 学外研究機関に所属する教職員等が総合分析実験センターを利用できるよう、平成 19 年度より本庄地区において「受託試験」(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)を開始した。また、平成 22 年度からは鍋島地区の機器分析ならびに放射性同位元素利用両部門においても「受託試験」(<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)を開始した。今後も情報の周知と、受託可能な機器の拡充を図っていく予定である。
- 4) 現在運用している機器利用システムのさらなる改善および共同利用機器数の増加を図るため、共同利用可能機器の調査依頼を全学に対して行い、共同利用可能機器の増加に努めるとともに、老朽化等により利用できなくなった機器については整理を行っている。平成 25 年度末現在の共同利用可能機器は全 281 台であり、そのうち本庄地区に 52 台、鍋島地区に 229 台が設置されている(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)。
- 5) 平成 22 年度自己点検評価報告書の外部評価委員の提案を基に、継続して取り組んでいる事項と今年度取り組んだ事項(本年度事項)を分けて記載するとともに、センターを利用して得た研究業績を本学のデータベースから収集することとした。
- 6) センターを利用して得られた研究業績(本庄地区分)を本学の研究業績データベースから一括して収集することとした。データ収集は本学の研究業績データベースを管理している情報管理課に依頼した。また、外部資金情報は研究協力課のウェブページより収集した。

イ センターが行う教育に関する事項(使用法、安全、規則等に関する教育)

総合分析実験センターに関わる施設・機器の使用法や法令・規則等の教育に関して、教職員や学生及び関係者に対して必要な教育活動を行い、その教育訓練体制の整備・改善を図るため、以下の事項に取り組んだ。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 放射線同位元素の取扱に必要な放射線業務従事者講習会は、本庄地区と鍋島地区でそれぞれ行っている。受講者への便宜を図るため、どちらの地区でも受講できるようにしている。
- 2) 放射線業務従事者登録の便宜を図るため、本庄地区では、新規教育訓練については関係学部の卒業研究開始時期等を考慮した年 2 回(6 月と 12 月)の定期的な訓練以外に、5 名以上の希望者がいる場合には随時教育訓練を行っている。更新教育訓練に関しては、12 月から 3 月にかけて複数回開催し、更新希望者全員の便宜を図っている。鍋島地区では 4、5、10 月にそれぞれ新規および更新教育訓練を行うことに加え、要請に応じて随時、教育訓練を実施している。
- 3) 動物実験に関する教育訓練を学内の「動物実験委員会」と連携し、年 2 回、本庄地区と鍋島地区で

実施している。これ以外にも、希望者に対しては随時、教育訓練を実施している。また、動物実験の実験計画書の作成の相談、指導、事前審査、受付業務を行っている。

- 4) 本庄地区および鍋島地区における遺伝子組換え実験に関する教育訓練を主導している。平成 21 年度からは新たに、英語による教育訓練も開始している。また、遺伝子組換え実験申請書の提出前の内容確認を行い、申請者への便宜を図っている。
- 5) センターが直接または間接的に関与して行われる教育訓練の際、アンケート調査を行い、利用者のニーズの把握に努めている。
- 6) 機器分析部門鍋島地区では、適宜、利用者ミーティングを開催し、利用者からのニーズを把握するとともに円滑な共同利用環境の醸成を図っている。
- 7) 環境安全部門を統括する本庄地区機器分析部門の専任教員は、本庄地区環境安全衛生委員会メンバーとして安全巡視や簡易作業環境測定業務の実施に貢献するとともに、理工学部循環物質化学学科安全衛生委員会メンバーとして同学科の安全衛生管理に貢献している。同部門鍋島地区を担当する教務員は医学部安全衛生委員会メンバーとして鍋島キャンパスの安全衛生管理に貢献している。
- 8) 既に作成済みのマニュアル・手引きについて、更新が必要なものは随時更新を行なっている。
(本年度事項)
- 9) 動物実験に関する教育訓練について、定期に実施される教育訓練に加え、利用者の希望に応じて教育訓練を計13回実施し、利用者の便宜を図るとともに、動物実験計画書68件の作成指導・事前審査を実施した(のべ102回)。
- 10) 生物資源開発部門鍋島地区の教員1名が、「第2回実験動物管理者研修会」を受講した。
- 11) 機器分析部門鍋島地区での利用者ミーティング開催実績は以下の通りである。
 1. 平成 25 年 4 月 10 日 機器分析部門オリエンテーション・利用者説明会
 2. 平成 25 年 5 月 10 日 医学部共同利用機器担当者会議
 3. 平成 25 年 6 月 6 日 FACS/MACS 利用者ミーティング
 4. 平成 25 年 7 月 30 日 機器分析部門利用者ミーティング兼医学部共同利用機器担当者会議
 5. 平成 26 年 1 月 7 日 機器分析部門利用者ミーティング
 6. 平成 26 年 2 月 26 日 StepOnePlus 利用者修理説明会
 7. 平成 26 年 3 月 18 日 機器分析部門利用者ミーティング(年度末定例会議)

ウ センター教職員が行う、学部等における教育活動に関する事項

専任教員および技術職員は、各部門利用者に対する教育訓練などの研究教育支援だけでなく、教養教育運営機構及び関連学部と協力し、平成 25 年度には以下のような主題科目や学部の講義・実習を担当することで、学生の教育にあたっている。

(本年度事項)

- 1) 機器分析部門本庄地区専任教員 1 名が、主題科目「生活の化学」「身近な環境一知ろう・見よう・考えよう一(分担)」「身近な環境一調べよう・深めよう・伝えよう一(分担)」「教員のための環境教育(分担)」「地域の環境(前期・後期)」「環境保全(概)論 II」「作業環境測定概論」「環境教育 II(インターフェース)」「学内活動実習 I」「学内活動実習 II」「学内活動実習 III」「やさしい実験化学 I(分担)」、理工学部「分離化学」「大学入門科目(分担)」「理工学基礎科学(現代化学)(分担)」「機能物質化学実験 I(分担)」および大学院工学系研究科博士前期課程「物質環境化学特論」「融合循環物質化学特論」「基礎反応化学特論(分担)」「循環物質化学セミナー(分担)」「循環物質化学特別演習(分担)」「基礎反応特論(分担)」を担当した。このうち「大学入門科目」「機能物質化学実験Ⅳ」は技術職員と連携して担当した。
- 2) 生物資源開発部門本庄地区専任教員 1 名が、主題科目「生命と物質(ゲノムから生命を知る)」、農学部「分子細胞生物学」「生化学実験(分担)」「専門外書講読(分担)」「演習(分担)」、大学院農学研究科「分子細胞生物学特論」「細胞情報学特論」「先端分析科学特論 II(分担)」「生命機能科学特論(分担)」「生命化学演習(分担)」および大学院連合農学研究科「先端応用生命科学特論」を担当した。
- 3) 放射性同位元素利用部門本庄地区専任教員 1 名が、農学部「生化学実験(分担)」「専門外書講読

(分担)」「演習(分担)」「生命化学概説(分担)」,大学院農学研究科「先端分析科学特論Ⅱ(分担)」を担当した。

- 4) 機器分析部門鍋島地区専任教員1名が、主題科目「衛生管理概論」、「インターフェース～現代社会と医療Ⅳ」、大学院医学研究科修士課程「生体傷害分析法」「実験検査・機器特論」、大学院医学研究科博士課程「機器分析法」「アイソトープ実験法」を担当するとともに、教務員2名および技術員1名と連携して医学部「基礎生命科学実習(分担)」を担当した。
- 5) 生物資源開発部門鍋島地区では専任教員2名が、主題科目「実験動物学」、医学部「基礎生命科学実習(分担)」,大学院医学研究科修士課程「実験動物学特論」、大学院医学研究科博士課程「動物実験法」を担当した。

(2) 研究支援の領域

ア 学術・研究活動に関する事項

センターの活動を通じて本学における学術・研究の推進を図るため、学内外との共同研究の推進、学外研究プロジェクトへの参画、シンポジウム等の開催を中心に取り組んでいる。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 生物資源開発部門鍋島地区では、医学部、および農・理工・文教学部とも連携できる研究テーマの一つとして、生活習慣病の病態モデルとなる遺伝子改変ウサギの開発とそれを用いた分子病理学的研究を行っている。これに関して、総合分析実験センターにおいて開発・維持されている遺伝子改変ウサギを他の研究機関に分与するとともに共同研究を推進している。
- 2) 機器分析部門鍋島地区では、教員1名が放射線医学総合研究所(平成20年度～)、ならびに京都大学原子炉実験所(平成21年度～)で共同利用研究員として活動し、放射線がん治療の基礎研究をテーマに共同研究を行っている。また、学外では広島大学大学院医歯薬学研究科教員ならびに近畿大学工学部教員とそれぞれ共同研究を行い、学会発表計2件を、学内では理工学部教員と共同研究を行い、学会発表2件を報告した。
- 3) 生物資源開発部門本庄地区では、開発したプラスミドDNAの分与を行っている。
- 4) センター各部門共同でセミナーを開催し、センター専任教員を中心とした部門間連携を強めるとともに、センターを中心として学内外との連携が可能な研究プロジェクトの検討を行っている。
- 5) 機器分析部門本庄地区専任教員1名が財団法人電力中央研究所との共同研究「地下水および表層水に存在する有機物の採取法検討と特性評価」の研究を行うとともに、ゴマ中のセサミン・セサモリンの定量分析研究を行った。産学官連携機構(徐福ラボ)との連携を密にし、技術的な相談、情報収集、実施計画の提案、費用試算、予備実験の実施等で技術的な支援を実施している。

(本年度事項)

- 6) 生物資源開発部門鍋島地区で開発・維持している遺伝子組換えウサギを分与した(国内1機関、計76匹)。
- 7) 生物資源開発部門本庄地区で開発したプラスミドを国内の研究者に分与した(1件)。また、これらプラスミドを研究成果有体物として佐賀大学に知的財産登録し、分与を希望する研究者との交渉を産学・地域連携機構の知財戦略・技術移転部門(TLO)に委ねた。なお、TLOに委ねて以降、国内外からの問合せが2件あったが、成立しなかった。TLOが提示するMTAの条件が厳しいためかもしれない。
- 8) 総合分析実験センターセミナーとして、外部講師を招き4回のセミナーを開催した。

イ 研究支援環境に関する事項

本学全体およびセンターにおける研究環境の改善、また、大学間の連携を高めて情報共有や機器の相互利用を推進のため、次のことに取り組んでいる。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 3.(1)ア～4)に示すように、共同利用可能機器に関する調査結果に基づいて、共同利用可能機器の増加を図っている。また、機器の運用状況がインターネットを通じて確認できるようにするなど、ホー

ムページの改善も図っている。

- 2) 低利用頻度機器および譲渡希望機器の収納スペースを整備し(リサイクルファシリティ)、譲渡を希望する機器について情報を収集しホームページで情報開示するシステムの運用を開始している。また、HP やメールを利用してリサイクルファシリティの周知を図り、年度末などに向けてファシリティの活用を案内している。運用開始から平成 26 年 3 月 31 日までに 35 物品の譲渡を完了している。
 - 3) 大学連携研究設備ネットワークに 3 台の機器を登録しネットワーク利用機器の充実を図っている。また、ネットワークを利用した共同研究を通じて、共同利用機器の利用活性化に協力している。学生、技官、および教員の技術向上のための講習会(結晶 X 線構造解析装置)を実施した。
 - 4) 動物実験に関して、研究テーマに即した飼育室・実験室の改善を図っている。特に、遺伝子組換えマウスの飼育スペースの不足に対して、設備や飼育器材の充実に向けて可能な限り対応している。
 - 5) 生物資源開発部門鍋島地区では、新たな研究支援業務の開発を目指して、利用者とともにマウス胚の凍結保存、遺伝子改変動物の作成等について検討を行っているほか、動物実験における学内研究者の技術向上を目的に、動物実験技術講習会を開催し、技術指導を行っている。
 - 6) 学外研究機関等による総合分析実験センター利用のために、本庄・鍋島両地区機器分析部門において「受託試験」を行なっている。<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>
<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>。
 - 7) 他大学の共同利用可能機器に関する情報を大学内に発信している。
 - 8) 他大学へ総合分析実験センター内の共同利用可能機器に関する情報を発信している。
 - 9) 国立大学法人生命科学研究機器施設協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動に協力した。
 - 10) 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動や「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」へ対応するための活動に協力した。
 - 11) 「国立大学法人動物実験施設協議会」に参加し、動物実験および実験動物に関連する情報収集、意見交換を行なった。また、協議会の調査等に協力した。
 - 12) 平成 21 年度から研究支援推進員1名を継続して採用している。また、学内措置により、機器分析部門本庄地区において博士研究員1名を採用している。
- (本年度事項)
- 13) 総合分析実験センターQ&A を改訂し、センターユーザーだけでなく学内に広くセンター業務を周知するとともに、教職員ならびに学生に対する研究情報支援を行った。さらに、Q&A 英語版を作成、発行し(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)、留学生に対するセンター業務の周知および支援を行っている。本 Q&A については、毎年改訂を行い、アップデートな情報提供を行なっていく。
 - 14) 環境安全部門鍋島地区では、前項2)に関連して、鍋島地区ユーザーの利便性を高めるため、平成 23 年度より鍋島地区リサイクルファシリティを運用している。平成 25 年度の譲渡実績は 16 物品であった。

ウ センター職員による研究活動に関する事項

センターでは、ア、イに示す研究支援活動と並行して、教職員がそれぞれ独自の研究テーマを持ち研究を行っている。個々の専門分野で高いレベルの研究に携わり、その研究活動や研究交流を通じて最新の研究成果や情報を入手することにより、センターの教育研究支援の向上と、本学の研究教育の推進に貢献している。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 生物資源開発部門本庄地区では、新しい遺伝子組換え技術の開発、タンパク質に結合する低分子リガンドの探索、カンキツのオミックスをテーマに研究を行っている。
- 2) 生物資源開発部門鍋島地区では、部門の研究テーマとして、1)ヒト疾患モデルとしての遺伝子改変ウサギの開発と医学研究への応用、2)ウサギ精子および胚の凍結保存に関する研究に取り組んでいる。
- 3) 機器分析部門本庄地区では、自然界の土壌や水中に存在する腐植物質の構造特性、機能特性に関する研究を地球科学分野、原子力開発分野、農業分野等の研究者と共同して行っている。
- 4) 佐賀県医療法人「好生館」、佐賀大学、佐賀県、リサイクラー等との協働プロジェクト「医療機器リサイ

クル処理標準化プロジェクト」を立ち上げ、地域創生への取り組みをサポートしている。

- 5) 機器分析部門鍋島地区では、放射線や環境因子によるDNA 傷害とその修復機構を生化学的、分子遺伝学的に検討し、生物の遺伝情報維持機構を明らかにするべく、准教授 1 名、教務員 2 名、技術員 1 名および研究支援推進員1名が協力して研究を行っている。また同准教授 1 名は、放射線医学総合研究所ならびに京都大学原子炉実験所の共同研究員として、放射線がん治療に関する基礎研究をテーマに共同研究を行うとともに、学内外の教員と共同研究を行っている(佐賀大学理工学部、広島大学、近畿大学)。
- 6) 放射性同位元素利用部門本庄地区では、昆虫の味覚・嗅覚機能の解明および摂食行動調節メカニズムに関する研究を行っている。これらの研究は、総合分析実験センターの教員、もしくは他大学・他研究機関(九州大学、京都大学、JT 生命誌研究館)と共同で行っている。
- 7) 各部門に配置されている技術系職員(含教務員)の研究への参画を促進しており、一部の技術系職員は独自の研究テーマに取り組んでいる。さらに、共同研究員として分析、調査を担当している。
- 8) 機器分析部門本庄地区技術職員は海水に含有する資源の新規回収法に関する研究を行っている。(本年度事項)
- 9) 平成 25 年度の研究成果は、原著論文 14 件、総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文が 2 件、学会発表・招待講演など 32 件、受賞(学内)1 件、外部資金獲得は 12 件であった。研究成果の詳細は「7. センター利用実績」に記す。

(3)国際交流・社会貢献の領域

ア 教育における社会連携・貢献に関する事項

センターでは各センター教員の専門研究分野および各部門の特色を活かした社会貢献、地域社会との連携、他大学との教育における連携および地域に貢献する教育活動として以下の事項に取り組んでいる。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) センター教員が担当する講義「身近な環境一調べよう・深めよう・伝えよう」の一環として、学内にビオトープ(ホタル池)を整備運営し、ホタルの放流、鑑賞会等のイベントを行った。またそのイベント内で、保育園スタッフを含む地域市民と連携して、佐賀環境フォーラムワークショップ“環境教育”グループによる紙芝居を通じた地域の幼稚園児や小学生への環境教育を行い、同時に市民への憩いの時間を提供した。学生運営スタッフを指導しながら年 2 回(春と秋)の大学構内および近隣を流れるクリークの河川清掃を近隣自治会と協力して実施、運営しており毎回 60~100 名程度の参加者とともに社会へ貢献している。
- 2) センター職員が理事を務めるNPO主催で佐賀の伝統的な農業イベント「ごみくい」を企画し、学生約 80 名とともに参加した。
- 3) 本庄地区環境安全部門専任職員は学内を流れる河川清掃を近隣自治会(佐賀大学前自治会)とともに、年 2 回企画実施している。
- 4) 学生活動「チャリさがさいせい(チャリさ)」の顧問として、学内、および周辺アパートの放置自転車の回収・修理・販売・譲渡を行い、学内や近隣地域の放置自転車撲滅運動に貢献している。また同グループは地域のイベント「佐賀城下ひな祭り」「さがバルーンフェスタ」「呉服町万博」の期間中に再生自転車を利用したレンタサイクルを実施し、一般市民に①放置自転車の撲滅、②循環型社会の推進、③自動車を使わない省資源・健康な観光を提案し環境に関する啓蒙活動に貢献している。
- 5) 平成 22 年度より、本学文化教育学部附属中学校育友会が行なっている「佐賀大学の先生の授業を受けてみよう」に協力し、センター教員が講義を行なっている。

(本年度事項)

- 6) センター教員は、他大学・研究教育機関などでの講義・実習も担当している。広島大学大学院理学研究科における講義「遺伝子化学Ⅱ」、大川看護福祉専門学校における講義「現代生活論(内容は生物学)」、武雄看護リハビリテーション学校における講義「解剖生理学」を担当した。
- 7) 附属中学校連携事業「佐賀大学の先生の授業を受けてみよう」では、「放射線をはかる」、「遺伝子組み換えについて知ろう」を開講した。

- 8) センター教員が顧問を務める学生活動グループ「チャリさがさいせい(チャリさ)」の活躍を初め、佐賀環境フォーラム事務局長としての学生に対する環境教育の成果が認められ「佐賀大学教育功労賞」を受賞した。
- 9) 産業環境管理協会が実施する「公害防止管理者等資格認定講習」において「大規模水質特論」を2回行った。
- 10) スーパーサイエンススクール(SSH)の講師を担当し、講義および実験を行った。

イ 研究における社会連携・貢献に関する事項

学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図るため、また学外の研究者との連携を深めるとともに、地域社会の研究推進や学会活動に貢献するため、以下のことに取り組んだ。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 平成 19 年度から「受託試験」を開始している (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>
<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。
- 2) 地域に貢献する研究支援活動を行うために、佐賀大学産学連携推進機構を活用し、同機構のホームページからの情報発信に協力している。
- 3) 佐賀県バイオマスエネルギー計画、佐賀市バイオマスタウン構想に協力し、民間の研究への相談に対応し、共同研究計画を策定中である。
- 4) 「佐賀環境フォーラム」の活動において、佐賀市と協力し、佐賀市内公立小中学校のシックスクール調査を行っている。
- 5) 産学官連携機構「徐福ラボ」との連携により、地域の民間会社からの技術的相談に対応している。

(本年度事項)

- 6) 第 50 回放射線影響懇話会を 7 月 27 日に機器分析部門鍋島地区で主催し、九州地区の放射線生物研究者の学術研究交流を支援した。

ウ その他国際交流・社会貢献に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) ホームページを通じて、開発したベクター DNA を国内外に分与する活動を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/pSU0/>)。
- 2) 生物資源開発部門鍋島地区で開発・維持を行っている遺伝子組換えウサギを国内外に分与する活動を行っている。
- 3) 日本腐植物質学会監査として、学会の運営に貢献している。
- 4) 環境関連の二つの NPO の理事および副理事長として活動に協力している。
- 5) 毎年開催される韓国・大邱大学校とのジョイントセミナーに協力している。
- 6) 海外の研究機関(ハンガリー国立農業バイオテクノロジー研究所、中国西安交通大学)と共同研究を実施している。
- 7) 佐賀市環境審議会のメンバーとして佐賀市の環境行政に助言を行っている。

(本年度事項)

- 8) センター教員 1 名が佐賀市の委託を受け、佐賀市空き家等審議会委員として活動した。
- 9) センター教員 1 名が Heavy Ion in Therapy and Space Radiation Symposium 2013. 2013.5.15-18, in Chiba, Japan に参加し、研究発表を行うとともに同学会に参加した研究者と意見交換を行った。
- 10) 協定校である韓国・大邱大学校の主催で開催された The 8th Saga University and Daegu University Joint Seminars で、教員 1 名が口頭発表し、また、センターで研究を行っている大学院生 1 名がポスター発表し、交流を深めた。
- 11) センター教員 2 名が、5th International Meeting on Rabbit Biotechnology, Shanghai, China, 2013.6.6-8 に参加し、研究者との意見交換、共同研究を実施している研究機関との研究打合せを行った。

(4)組織運営の領域

ア 教育研究組織の編成

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 本庄地区と鍋島地区のテレビ会議システムを活用して会議を行っている。
- 2) 年間数回のスタッフ会議を開催し、研究支援、財務、組織運営などに関する方針や問題について討論している。

イ 管理運営に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 自己収入の増加を図ることも一つの目標として、学外研究機関による総合分析実験センター利用のために、「受託試験」を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>
<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。
- 2) 生物資源開発部門鍋島地区では、動物実験施設の空調設備の運転状況の見直し等による光熱水費の削減を図っている。
- 3) 業務委託費の節約を図るため、平成 19 年度から本庄地区 RI 実験施設の作業環境測定を自ら行っている。
- 4) 環境安全部門本庄地区は業務委託費の節約を図るため作業環境測定(有機溶媒)を自ら行うことを検討しており、一部建物での検知管による作業環境測定を実施している。今後も実施個所の増加を図っていく予定である。

ウ その他組織運営に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) エコアクション 21 の認証取得を目指した取り組みに参画している。詳細は、3. (1)ーイー7)、3. (2)ーイー2)を参照。
- 2) センター教員 2 名が「佐賀大学版環境教育」の実行委員として活動している。
- 3) 環境安全管理に関して、機器分析部門鍋島地区准教授1名が危険物取扱者資格取得および特別管理産業廃棄物主任の資格を取得し、鍋島地区のこれら業務を担当している。
- 4) 化学物質管理システム(CRIS)の全学運用に関して、鍋島地区機器分析部門准教授1名が管理主担当となり、環境安全衛生管理室と協力している。
- 5) 機器分析部門鍋島地区准教授1名は鍋島地区の国際規制物資管理者として関連業務を担当している。
- 6) センター教員 1 名が作業環境測定士(放射性物質)の資格を取得し、本庄地区 RI 施設の作業環境測定を行っている。また、鍋島地区 RI 実験施設の作業環境測定を自ら行うため、同施設放射線取扱主任者である機器分析部門鍋島地区教員が資格を取得した。鍋島地区では、教務員1名が同資格(有機溶媒)を取得し、作業環境測定に協力するとともに、衛生工学衛生管理者を取得し、同資格が要求される附属病院衛生管理者を複数名確保することに協力し、同衛生管理者として選任されている。
- 7) 機器分析部門鍋島地区准教授 1 名は、医学部附属先端医学研究推進支援センター支援部門長を兼任し、医学部の研究推進に協力している。
- 8) その他、大学運営に関わる事項として、センター各教員が、動物実験委員会、遺伝子組換え実験安全委員会、放射性同位元素等安全管理委員会、鍋島キャンパスエネルギー管理協議会、環境安全衛生室会議、医学部安全衛生委員会、エコアクション 21 全学委員会、同医学部委員会委員、医学部エネルギー対策委員会、総合情報基盤センター運用委員会などに参画し、また、様々なワーキンググループに参画するなどして、その専門知識を活かして大学運営に貢献している。

(本年度事項)

- 9) センター教員1名が本庄地区 RI 実験施設の安全管理、放射線業務従事者の教育訓練を担当するため放射線取扱主任者の資格を取得した。
- 10) 鍋島地区生物資源開発部門の教員2名、技術職員1名が、学内の動物実験委員会に協力し、文部

科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」に則り、佐賀大学における動物実験に関する外部検証を実施した。本学における動物実験に関する資料の整理、外部調査委員に対する動物実験に関するヒアリング、鍋島地区動物実験施設の見学等の対応を行った。

(5) 施設の領域

ア 施設、設備等に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 総合分析実験センターとしての「災害対策マニュアル」を全学的なマニュアルと整合性をとりながら作成し、ホームページ上で公開している(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)。なお、放射線施設に関しては、放射線障害予防規程に「地震等の災害時における措置」について定めている。また、動物実験施設においても動物実験における「緊急時対応手引き」を作成し、ホームページ上で公開している。
- 2) 近年の研究方法の進歩により、動物実験施設の利用形態も多様化してきている。利用者からのニーズに対応し、先端的研究を効率よく推進していくため、施設設備の整備・更新等の予算措置を申請している。
- 3) 平成 24 年度鍋島地区放射性同位元素利用部門の改修を行い、管理区域を 2/3 に縮小し、管理区域解除部分を鍋島地区共用スペースとして整備した。また、さらなる改修のため平成 25 年度の学内予算措置を申請している。

(本年度事項)

- 4) 平成 24 年度補正予算の概算要求設備整備事業で採択された動物実験施設における飼育機器・設備の更新が実施された。

4. 外部評価

国立大学法人佐賀大学大学評価の実施に関する規則改正に伴い、外部評価を2年ごとに実施することが可能となったため、本年度の自己点検評価報告書における外部評価は行わない。

5. 明らかとなった課題および課題に対する改善の状況・方策

①課題

本学における「動物実験に関する外部検証」において、生物資源開発部門鍋島地区(動物実験施設)に関連するものとして、飼育器材の不備が指摘された。具体的には、ウサギの飼育ケージについてすみやかに適正なものに更新する事。マウスだけではなく、他の動物種についても微生物モニタリング検査を検討すべきである。

→改善の状況および対策

対応として、ウサギの飼育ケージについては、予算要求を行った。また、微生物モニタリング検査については、平成26年度から可能な範囲で実施する予定であるが、予算確保および人員確保が必要なことから、すぐに解決できる問題ではない。今後も、継続して改善に向けて努力する。

②課題

放射性同位元素利用部門(本庄地区)では実験施設および設備機器の老朽化・陳腐化が顕著であり、一部の機器は故障により利用不可能である。早急に設備更新を図り、ユーザーが利用しやすい実験環境を整備する必要がある。特に放射線環境モニタリング装置(水、ガスモニタ)、排水設備の水ポンプの更新が必須と考える。

→改善の状況および対策

放射線を利用した研究に必要な機器について、概算要求を行った。また施設の老朽化についても、学内営繕により改修を行う予定である。

6. 総括

本センターの主たる業務は、本学における教育・研究の支援である。「7. センター利用実績」に示すように、本年度から、鍋島地区機器分析部門の利用者数追加により総利用者数は大幅に増加したものの、他の施設の利用者数は過去4年間と比較しても大きな変動はないことから、センターによる支援が学内の研究活動に恒常的に寄与していると言える。また、センター利用者の研究業績も過去4年間と比較しそれほど変動はない。しかしながら、センター利用によって得られた業績数は依然として多いことから、本センターが教育・研究支援組織としての役割を十分に果たしていることがわかる。

本センターに所属する教員はそれぞれ独自の研究テーマを持ち、各教員がそれぞれ研究成果を挙げている。さらに、こうした研究活動や研究交流を通じて、センターの教育研究支援レベルの向上に寄与するとともに、その専門知識・技能・資格あるいは保有設備を活かして講義・実習を担当することにより、教育に直接関わるほか、委員会活動を通じて本学の運営にも貢献している。また、センターでは、学会活動や地域社会の研究推進や環境保全活動などに積極的に参加・協力しており、これらの活動が、地域社会あるいは国内外における本学に対する評価を高めている。

しかしながら、センターの保有機器、あるいは施設の老朽化が顕著であり、教育・研究の支援に支障を来していることは大きな問題となっている。本問題は、概算要求による大型機器の更新および施設の改修によって徐々に改善されているものの、まだ充分とは言えない。従って、施設の改修や新しい機器の導入のための概算要求などを継続して行い、それに加えて、現有の機器の保守・施設の維持管理に関わる学内の予算措置の要求を行っていく必要がある。さらに、機器の保守管理に必要な技術職員が不足しており、施設の大きさおよび保有機器数に見合った人員の確保が必須であると考え。佐賀大学における教育・研究支援組織の中核として位置づけられている総合分析実験センターの支援環境整備に、本学全体のご理解とご協力をお願いしたい。

7. センター利用実績

(1) 平成25年度利用実績の概要

平成 25 年度の動物実験施設（鍋島）、機器分析部門（鍋島）、RI 実験施設（本庄及び鍋島）の各施設利用者は延人数 52,130 名であり、センターに設置している設備・機器利用回数は、延 40,447 回であった。また、センターを利用して得られた業績は、著書 38 件、原著論文 215 件、総説、解説、資料など 56 件、受賞 5 件、知的財産の出願等 4 件、学会発表、招待講演など 622 件で、センターが貢献した外部資金獲得は、延 109 件で総額 243,433,000 円である。センター専任の教職員の業績は、原著論文 14 件、総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文が 2 件、学会発表・招待講演など 32 件、受賞（学内）1 件、外部資金獲得は 12 件で総額 11,460,000 円である。

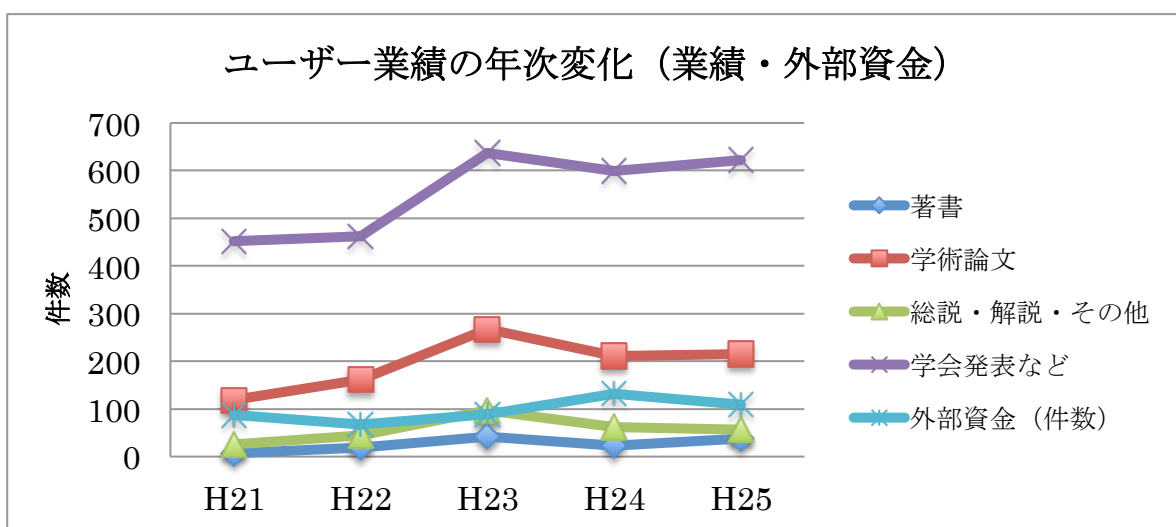
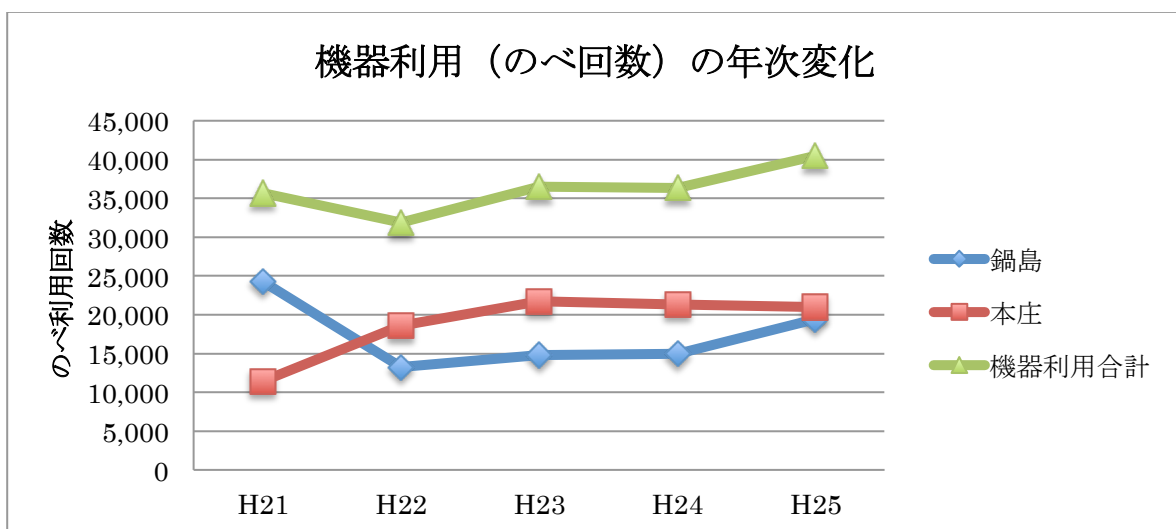
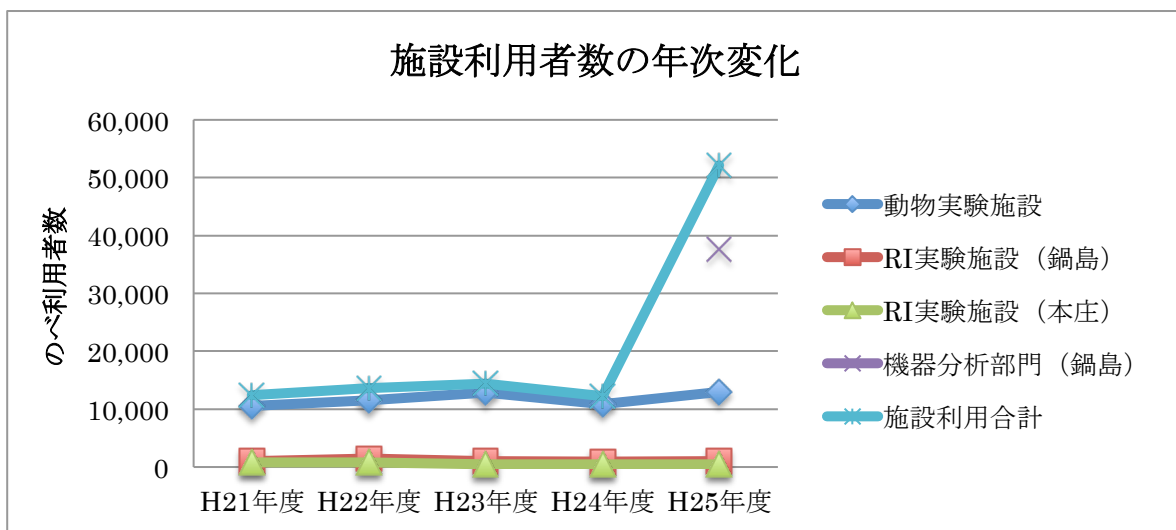
(2) センター利用実績の動向

センター利用実績およびユーザー業績の年次変動を表および図で示した。今年度の施設利用数（延べ人数）は鍋島地区機器分析部門の利用数を新たに加えたため大幅に増加した。機器分析部門と動物実験施設の利用数は多く、本学の多くの研究および教育に貢献していることがわかる。また、機器利用数は過去3年間で比較し、鍋島地区で大きく増加している。利用頻度の高い新規導入機器の利用によるものであり、利用者のニーズに合わせた機器導入の成果だと思われる。RI 部門は利用者数こそ少ないものの、常に一定の研究活動を支援している。本庄地区 RI 実験室は登録者が多いものの、利用者数は少ない。これは近年、学外の放射線施設を利用するユーザー（放射線業務従事者）が増加しているためである。

センターユーザー業績は過去 4 年間で比べると、各項目については変動が見られるものの、全体として大きな変化はないことから、センターによる支援が学内の研究活動および利用者の研究資金獲得に恒常的に寄与していると考ええる。また、また主に学会発表などの研究業績に多くの学生（博士・修士課程、および学部学生）が関与しているため、センターの支援業務は本学の研究教育に貢献していることが分かる。

センター利用実績およびユーザー業績の集計値

		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	備考
施設利用	動物実験施設	10,559	11,491	12,862	10,855	12,922	のべ人数
	RI実験施設（鍋島）	1,064	1,407	1,066	937	1,071	のべ人数
	RI実験施設（本庄）	800	750	487	452	475	のべ人数
	鍋島地区機器分析部門	—	—	—	—	37,662	のべ人数
施設利用合計		12,423	13,648	14,415	12,244	52,130	
機器利用	鍋島	24,289	13,261	14,759	14,981	19,446	のべ回数
	本庄	11,418	18,597	21,736	21,327	21,001	のべ回数
機器利用合計		35,707	31,858	36,495	36,308	40,447	
業績	著書	7	19	42	23	38	のべ件数
	学術論文	119	161	268	211	215	のべ件数
	総説・解説・その他	25	45	97	62	56	のべ件数
	学会発表など	452	462	637	599	622	のべ件数
外部資金	件数	88	67	89	132	109	のべ件数
	総額	179,250	140,780	213,555	386,515	243,433	千円



(3) センター施設、設備・機器利用数および利用機器

施設利用実績		
施設	のべ利用者数	備考
動物実験施設	12,922	登録者数 教職員 433、学生 93
鍋島地区 RI 実験施設	1,071	登録者数 教職員 25、学生 9
本庄地区 RI 実験室	475	登録者数 教職員 34、学生 81
鍋島地区機器分析部門	37,662	登録者数 教職員 193、学生 69
機器利用数		
機器	のべ利用回数	備考
鍋島地区機器分析部門		
2F 製氷機・低温室・恒温室	2271	入室回数
院 2F 製氷機・低温室	382	入室回数(H25 11 月～)
3F 製氷機・低温室・恒温室	3724	入室回数
4F 製氷機・低温室	1151	入室回数
エレクトロマシショップ	155	入室回数
セミナー室	601	入室回数
低温貯蔵室	1370	入室回数
培養室	990	入室回数
恒温振盪器 G-25	11	利用回数(H25 11 月～)
オートクレーブ FSX-500 (3 台)	388	利用回数(3 台合計)
乾熱滅菌機 SG-62 (2 台)	108	利用回数(2 台合計)
蒸留水製造装置 GlassStill8	5608	利用容量(リットル)
超純水製造装置 NANOpure Diamond	987	利用容量(リットル)
全自動アミノ酸分析システム Pico-Tag	5	利用回数
pH メーター F-55S	42	利用回数
自記分光光度計 UV-2100PC	48	利用回数
電子顕微鏡 JEM-1220	88	利用回数
質量分析 TOF/TOF	70	利用回数
電子顕微鏡 JSM-5200LV	168	入室回数
2229 室 光学顕微鏡室	1151	入室回数
2255 室 薄切室	981	入室回数
電子顕微鏡 JSM-6510	15	利用回数
分離用超遠心機 Optima L-70	1	利用回数
卓上型分離用超遠心機 Optima-TLX	1	利用回数
高速冷却遠心機 Beckman HP-25	20	利用回数
遠心式濃縮機 VC-36R	16	利用回数
凍結乾燥機 FDU-2100	5	利用回数
微量高速遠心機 MCX-150	0	利用回数
微量高速遠心機 MRX-150	0	利用回数
紫外可視分光解析システム DU-650	14	利用回数
電子天秤 R200D	16	利用回数
超音波洗浄機	32	利用回数
分光蛍光光度計 RF-5000	0	利用回数
ガスクロマトグラフ GC-2014AF	6	利用回数
ガスマス 島津 QP2010	30	利用回数

LC-MS 質量分析装置 島津 LCMS-8030	69	利用回数
島津原子吸光分光光度計 AA-7000	2	利用回数
DNA シーケンサ 310 with Win(キャピラリー型)	1	利用回数(サンプル数 2)
自動パルスフィールド電気泳動	0	利用回数
二次元電気泳動装置 プロティアンII スラブセル	0	利用回数
二次元電気泳動装置 Multiphor II	4	利用回数
ゲル乾燥処理装置 AE-3750	0	利用回数
紫外線架橋機 ストラータリンカー	37	利用回数
トランスイルミネーター	0	利用回数
BIAcore T100	17	利用回数 (H24 1 月移設導入)
高速液体クロマトグラフ Prominence	17	利用回数
ロータリーエバポレーター	18	利用回数
超音波破碎機 UD200	0	利用回数
自動現像機 CEPROS Q	538	利用枚数
ゲル撮影装置 AE-6933FXCF	22	利用回数
振盪培養器 E25R	32	利用回数
プラスミド自動分離装置 KF4000s	0	利用回数
精製クロマトグラフィー ÄKTA (2 台)	0	利用回数(2 台合計)
多本架冷却遠心機 LX-141	14	利用回数
DNA シーケンサー3130 (2 台)	1467	RUN 数(2 台合計)
サーマルサイクラーPCR 2720	75	利用回数
リアルタイム PCR StepOnePlus (2 台)	356	利用回数(2 台合計)
PyroMarkQ24	74	利用回数
MassArray	5	チップ数
ナノ・ドロップ	538	利用回数
ルーマット LB9507	4	利用回数
ゲル撮影装置 STAGE1000	671	利用回数
マルチラベルプレートカウンター ARVO	614	利用回数
ルミノ・イメージアナライザー LAS3000	407	利用回数
フルオロ・オメガアナライザー FLA7000	53	利用回数
エレクトロポレーションシステム GenePulser	6	利用回数
微量高速遠心機 MX-305	17	利用回数
PCR GeneAmp 9700	5	利用回数
サーモサイクラー T-GRADIENT	13	利用回数
Partek	4	利用回数
アジレント バイオアナライザー	7	利用回数
GeneChip	8	アレイ数
細胞自動解析装置 FACSCalibur	343	利用時間
細胞自動解析装置 MACSQuant	148	利用時間
FlowJo	0	利用回数
鍋島地区 RI 部門		
ガンマセル40	107	利用回数
液体シンチレーションカウンタ	7	利用回数
ベータプレート	27	利用回数
オートガンマカウンタ	3	利用回数
バイオイメージアナライザー	4	利用回数
X 線照射装置	20	利用回数
本庄地区 RI 部門		
液体シンチレーションカウンタ	27	利用回数 (利用時間:43 h)

バイオイメージングアナライザ	0	利用回数
焼却炉	0	利用回数
分光光度計	45	利用回数 (利用時間: 176 h)
ガンマカウンタ	0	利用回数
空気捕集装置	36	利用回数
H/C サンプラー	36	利用回数
高温振とう器	0	利用回数 (利用時間: 102 h)
NaI シンチレーションカウンター	12	利用回数 (利用時間: 24 h)
イオン交換水製造機	12	利用回数
人工気象器	13	利用回数(利用時間: 2160 h)
本庄地区機器分析部門・生物資源開発部門		
紫外可視近赤外分光光度計	308	399h
電子スピン共鳴装置	66	77h
顕微付フーリエ変換赤外分光光度計	155	167h
粉末 X 線回折装置	216	238h
ガスクロマトグラフ質量分析計	835	
超伝導高分解能フーリエ変換核磁気共鳴装置	8,730	2,694h
円偏光二色性分散計	118	223h
蛍光光度計	19	26h
エネルギー分散型蛍光X線分析装置	66	136h
ゼータ電位・粒径測定システム	348	616h
フーリエ変換核磁気共鳴装置 (Agilent NMR 400)	445	520h
CCD 単結晶自動 X 線構造解析装置	36	
水平型 X 線構造解説装置	602	1,075h
透過電子顕微鏡	88	225h
パッチクランプイオンチャンネル計	26	103h
ガスクロマトグラフ質量分析計 (mate II)	30	89h
蛍光寿命測定装置	20	59h
発光量子収率測定装置	30	68h
キャピラリー電気泳動装置	15	58h
DSC 熱量計	6	18h
振動式デジタル密度音速計	32	174h
原子間力顕微鏡	46	307h
DNAシーケンサー (Type3130)	8,757	サンプル
ルミノイメージアナライザー (LAS-1000plus)	0	利用回数
細胞破碎器 (人力フレンチプレス)	7	利用回数

(4)平成25年度に総合分析実験センターを利用して得られた業績及び外部資金(リスト中の業績には複数の部門にまたがる業績があるため、重複業績は削除して掲載した)

著書

著者名(多数の場合、略記可)	題目	雑誌名
東元健、副島英伸	Beckwith-Wiedemann 症候群と小児腫瘍	遺伝子医学 MOOK25 第2章エビジェネティクスと病気 4. 不妊・先天異常 195-201
有馬 和彦, 出原 賢治	非免疫系細胞(上皮細胞・線維芽細胞)によるアレルギー病態形成	栂島 健治:病態の理解に向かうアレルギー疾患研究-なぜ、アレルギーが起こるのか? 発症・進展の新概念と臨床への展開, 実験医学 増刊, 86-92.
見市文香、野崎智義	赤痢アメーバマイトソームの精製方法.	寄生虫学研究 材料と方法 2013 年版 85-88
内橋 和芳	腱鞘巨細胞腫, びまん型巨細胞腫	診断病理プラクティス 骨・軟部腫瘍 第4章 253-259
Kai K, Miyazaki K, Kohya N, Kitahara K, Ide T, Miyoshi A, Noshiro H, Tokunaga O.	Optimal surgical strategy for gallbladder carcinoma according to clinical and pathological background	Cholecystectomies, P135-149
宮本比呂志	緑膿菌とブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌	戸田新細菌学(改訂34版) 366-372
宮本比呂志	炭疽菌とバシラス属の細菌	戸田新細菌学(改訂34版) 265-275
宮本比呂志	ジフテリア菌とコリネバクテリウム属	戸田新細菌学(改訂34版)410-418
宮本比呂志	職域におけるレジオネラ症対策	産業安全保健ハンドブック 954-955
宮本比呂志	生物的健康障害要因とその対策 7. レジオネラ	産業保健マニュアル第6版 14章 323-325
市場正良	鉛, 水銀, マンガン, クロム, カドミウム, ベリリウム, ヒ素	産業保健マニュアル, 231-239
Koarada S and Tada Y	Fundamental Rheumatological Knowledge of Arthritis Images of the Hand and Case Studies for General Physicians	1-215
Koarada S, Sadanaga Y, Nagao N, Tashiro S, Suematsu R, Ohta A and Tada Y	Illustrated Overview Of The Prevalence And Clinical Symptoms Of Systemic Lupus Erythematosus	Systemic Lupus Erythematosus(SLE) Chapter 1 1-47
Koarada S and Tada Y	Autoantibody-Producing RP105-Negative B Cells In Human And A Murine Model Of Lupus Erythematosus	Systemic Lupus Erythematosus(SLE) Chapter 7 159-166
多田 芳史	成人スティル病	免疫疾患イラストレイテッド 127-130
原英夫	神経ボレリア症(ライム病)	今日の神経疾患治療指針
原英夫	髄膜炎、脳炎	内科学第9版
Motohiro Yukitake, Hideo Hara.	「Human T-Lymphotropic Virus.」	「Neuroviral Infections.」 Edited by Sunik K. Singh and Daniel Ruzek. 431-455.
木村晋也.	慢性骨髄性白血病.	今日の治療指針、(山口徹、北原光男、福井次矢編集)、p607-609
坂田祐之、藤本一真	吸収不良症候群	菅野健太郎、上西紀夫、井廻道夫、編:消化器疾患最新の治療 2013-2014. 187-189
尾崎岩太、夏京合、松橋幸子、斉靖言、岩根紳治、高橋宏和、水田敏彦.	Vitamin K2のNF-κB 活性化抑制過程における protein kinase C isoform の役割.	第15回 Vitamin K & Aging 研究会記録集 p63-67
井上卓也、成澤 寛(訳)	薬疹(Kanade Shinkai, Robert S. Stern, Bruce U. Wintroub)	ハリソン内科学(Volume 1). 第4版, 福井次矢, 黒川 清(編)367-375
永瀬浩太郎、成澤 寛(訳)	内科疾患の皮膚症状のアトラス(Thomas J. Lawley, Robert A. Swerlick)	ハリソン内科学(Volume 1). 第4版, 福井次矢, 黒川 清(編)e139-55
浜崎雄平、山本修一	長引く(遷延性・慢性)咳嗽疾患 小児気管支喘息による咳 専門医に学ぶ成人と小児のための長引く咳の治療指針	日本呼吸学会「咳嗽に関するガイドライン第2版」に準拠して pp176-182
浜崎雄平	呼吸器疾患	標準小児科学 8版 (分担)
浜崎雄平		喘息予防・管理ガイドライン 2013 ハンドブック (分担)
浜崎雄平、田代克弥	大学からの小児漢方への期待	小児疾患の身近な漢方治療 11, pp14-18
松尾宗明	発達障害児におけるてんかん	子どものけいれん・てんかん 奥村彰久、浜野晋一郎編(分担) pp30-33
松尾宗明	保育園・幼稚園・学校生活を快適に過ごすための留意点	子どものけいれん・てんかん 奥村彰久、浜野晋一郎編(分担) pp246-249
大塚泰史	小児特発性ネフローゼ症候群	診療ガイドライン 2013 一般社団法人日本小児腎臓病学会
田代克弥	期外収縮:その考え方と治療	小児心電図ハンドブック pp36-43
横山正俊、岩坂 剛	4.免疫学的検査/C感染症-抗原・遺伝子検査/①ウイルス感染 ヒトパルボウイルスB19 抗体.	臨床検査ガイド. P772-773 2013.2
Jiang C-Y, Fujita T, Luo Q-T, Kang Q, Matsushita A, Ohtsubo S, Kumamoto E	Enhancement by oxytocin of spontaneous inhibitory transmission in adult rat spinal superficial dorsal horn neurons.	Sugimura K (Ed.): Peptide Science 2012, 249-252

Tsugio Kitamura	Intramolecular Hydroarylation of Alkynes, Alkenes, and Allenes	Transition-Metal-Mediated Aromatic Ring Construction (Edited by Ken Tanaka, John Wiley & Sons, Inc., Hoboken)
M. Nagata and A. Suzuki	Effects of phytohormones on nodulation and nitrogen fixation in leguminous plants.	Advances in Biology and ecology of nitrogen fixation, Chapter 6
¹ D Lahiru N. Jayakody, Nobuyuki Hayashi and Hiroshi Kitagaki*	Molecular mechanisms for detoxification of major aldehyde inhibitors for production of bioethanol by <i>Saccharomyces cerevisiae</i> from hot-compressed water-treated lignocellulose	Materials and Processes for Energy: communicating current research and technological developments
北垣浩志	ミトコンドリアの機能	原島俊、高木博史編「酵母 —応用から基礎へ—」化学同人(印刷中)
S. Mitsutake, and Y. Igarashi	Sphingolipids in lipid microdomains and obesity	Vitamins & Hormones "Obesity" VOL.91, 271 – 284

原著論文

著者名(多数の場合、略記可)	題目	雑誌名
*Teramachi J., Kukita A., Qu P-F., Wada N., Li Y-J., Kukita T.	Adenosine blocks aminopterin-induced suppression of osteoclast differentiation.	J. Bone Miner. Metab. 31(1):64-70 2013
*Ohta N, Watanabe T, Ito T, Kubota T, Suzuki Y, Ishida A, Kakehata S, Aoyagi M, Matsubara M, Izuhara K, Kakehata S.	Clinical and pathological characteristics of organized hematoma.	Int. J. Otolaryngol. 132(2): 305-312
*Tajiri T, Matsumoto H, Hiraumi H, Ikeda H, Morita K, Izuhara K, Ono J, Ohta S, Ito I, Oguma T, Nakaji H, Inoue H, Iwata T, Nagasaki T, Kanemitsu Y, Ito J, Niimi A, Mishima M.	Efficacy of omalizumab in eosinophilic chronic rhinosinusitis patients with asthma.	Ann Allerg Asthma Immunol. 110(5): 387-388
*Kanemitsu Y, Matsumoto H, Izuhara K, Tohda Y, Kita H, Horiguchi T, Kuwabara K, Tomii K, Otsuka K, Fujimura M, Ohkura N, Tomita K, Yokoyama A, Ohnishi H, Nakano Y, Oguma T, Hozawa S, Nagasaki T, Ito I, Oguma T, Inoue H, Tajiri T, Iwata T, Izuhara Y, Ono J, Ohta S, Tamari M, Hirota T, Yokoyama T, Niimi A, Mishima M	Increased periostin associates with greater airflow limitation in patients receiving inhaled corticosteroids.	J. Allergy Clin. Immunol. 132(2): 305-312
*Kato G, Takahashi K, Izuhara K, Komiya K, Kimura S, Hayashi S.	Markers that can reflect asthma activity before and after reduction of inhaled corticosteroids: A Pilot Study.	Biomarker Insights. 8: 97-105,
*Yamaguchi Y, Ono J, Masuoka M, Ohta S, Izuhara K, Ikezawa Z, Aihara M, Takahashi K.	Serum periostin levels are correlated with progressive skin sclerosis in patients with systemic sclerosis.	Br. J. Dermatol. 168(4): 717-725
江頭玲子、山口健、蒲地紀之、入江裕之、小池健太、能城浩和、松延亜紀、戸田修二	: MRI 検査が有用であった糖尿病性乳腺症の 1 例	臨床放射線. 58 (8): 1127-1130
杉原 甫, 青木 茂久, 末崎 幸生	【肥満の基礎と臨床】肥満の基礎 肥満症例における構成脂肪細胞の変化	Surgery Frontier 20 巻 3 号 Page261-270
蒲地 紀之, 笹葉 弘平, 入江 裕之, 柿木 寛明, 徳田 雄治, 魚住 二郎, 岸 知哉, 青木 茂久	【腹部の最新画像情報 2013】慢性間質性腎炎にみられた renal pseudotumor の 1 例	臨床放射線. 58 巻 6 号 Page848-852
*Dejima T, Shibata K, Yamada H, Takeuchi A, Hara H, Eto M, Naito S, Yoshikai Y	A C-type lectin receptor pathway is responsible for the pathogenesis of acute cyclophosphamide-induced cystitis in mice.	Microbiol Immunol. 57(12):833-41.
Kai K, Ide Y, Miyoshi A, Masuda M, Ide T, Kitahara K, Irie H, Nakajima J, Noshiro H, Tokunaga O.	A case of mucinous cholangiocarcinoma showing features of hepatocellular carcinoma.	Pathol Int.; 63: 419-21.
Kai K, Miyahara M, Tokuda Y, Kido S, Masuda M, Takase Y, Tokunaga O.	A case of mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma of the gastrointestinal tract showing extensive plasma cell differentiation with prominent Russell bodies	World J Clin Cases.;16; 1: 176-80.
Koba S, Okawa T, Misago N, Yokoyama A, Aoki Y, Aoki S, Narisawa Y.	A case of tuberculous cellulitis lacking epithelioid granuloma.	Acta Derm Venereol. Sep 4;93(5):596-597
*Kadamatsu T, Urugami S, Akashi M, Tsuchiya Y, Nakajima H, Nakashima Y, Endo M, Miyata K, Terada K, Takeshi T, Node K, Oike Y.	A molecular clock regulates angiopoietin-like 1 protein 2 expression.	Plos One.8(2):e57921
Higashimoto K, Jozaki K, Kosho T, Matsubara K, Fuke T, Yamada D, Yatsuki H, Maeda T, Ohtsuka Y, Nishioka K, Joh K, Koseki H, Ogata T, Soejima H.	A novel de novo point mutation of the OCT-binding site in the IGF2/H19-imprinting control region in a Beckwith-Wiedemann syndrome patient.	Clin Genet, published online: 4 Dec 2013
*Nomura M, Sakamoto R, Morinaga H, Wang L, Mukasa C, Takayanagi R	Activin stimulates CYP19A gene expression in human ovarian granulosa cell-like KGN cells via the Smad2 signaling pathway.	Biochemical and Biophysical Research Communications, 436: 443-448.
Okabe S, Tauchi T, Tanaka Y, Kimura S, Maekawa T, Ohyashiki K.	Activity of histone deacetylase inhibitors and an Aurora kinase inhibitor in BCR-ABL-expressing leukemia cells.	Cancer Cell Int, 13(1): 32
Kai K, Irie H, Ide T, Masuda M, Kitahara K, Miyoshi A, Miyazaki K, Noshiro H, Tokunaga O.	Actual status of clinical diagnosis in patients with primary gallbladder cancer associated with adenomyomatosis.	Indian J Gastroenterol.; 32: 386-91.

Kishi T, Ikeda Y, Takashima T, Rikitake S, Miyazono M, Aoki S, Sakemi T, Mizuta T, Fujimoto K.	Acute renal failure associated with acute non-fulminant hepatitis B.	World J Hepatol.27;5(2):82-85.
Aoki S, Udo K, Morimoto H, Ikeda S, Takezawa T, Uchihashi K, Nishijima-Matsunobu A, Noguchi M, Sugihara H, Toda S.	Adipose tissue behavior is distinctly regulated by neighboring cells and fluid flow stress: a possible role of adipose tissue in peritoneal fibrosis.	J Artif Organs. ;16(3):322-31.
*Jang JH, Bruse S, Liu Y, Duffy V, Zhang C, Oyamada N, Randell S, Matsumoto A, Thompson DC, Lin Y, Vasilou V, Tesfaigzi Y, Nyunoya T.	Aldehyde dehydrogenase 3A1 protects airway epithelial cells from cigarette smoke-induced DNA damage and cytotoxicity.	Free Radic Biol Med. Epub ahead of print
Takahashi H, Mizuta T, Oeda S, Isoda H, Nakashita S, Kawaguchi Y, Izumi N, Hirai M, Kurose K, Iwane S, Eguchi Y, Kimura S, Anzai K, Ozaki I	An automated rapid detection system using the quenching probe method for detecting interleukin 28B and inosine triphosphatase single nucleotide polymorphisms in chronic hepatitis C.	J Viral Hepat. 20(4): e124-126
*Okamoto A, Yamamoto T, Matsumura R, Node K, *Akashi M.	An out-of-lab trial: a case example for the effect of intensive exercise on rhythms of human clock gene expression.	J Circadian Rhythms. 11(1):10
*Klawonn, F., Jayaram B., Crull K., Kukita A., Pessler F.	Analysis of contingency tables based on generalized median polish with power transformations and non-additive models.	Health Information Science and Systems 1(11) 30
Miyazaki H, Higashimoto K, Yada Y, A. Endo T, Sharif J, Komori T, Matsuda M, Koseki Y, Nakayama M, Soejima H, Handa H, Koseki H, Hirose S, *Nishioka K.	Ash11 methylates Lys36 of histone H3 independently of transcriptional elongation to counteract Polycomb silencing.	PLoS Genet, 9(11):e1003897
Taniguchi K, Yamamoto S, Hitomi E, Inada Y, Sugioka T, Hamasaki Y	Blockade of interleukin-33 attenuates allergic contact dermatitis in model mice: possible mechanism via eosinophil infiltration.	J Clin Exp Dermatol Res 2013 4, 3
Rumbajan JM, Maeda T, Souzaki R, Mitsui K, Higashimoto K, Nakabayashi K, Yatsuki H, Nishioka K, Harada R, Aoki S, Kohashi K, Oda Y, Hata K, Saji T, Taguchi T, Tajiri T, Soejima H, Joh K.	Comprehensive analyses of imprinted differentially methylated regions reveal epigenetic and genetic characteristics in hepatoblastoma.	BMC Cancer, 13:608
*Adachi H, Takahashi I, Higashimoto K, Tsuchida S, Noguchi A, Tamura H, Arai H, Ito T, Masue M, Nishibori H, Takahashi T, Soejima H.	Congenital hyperinsulinism in an infant with paternal uniparental disomy on chromosome 11p15: Few clinical features suggestive of Beckwith-Wiedemann syndrome.	Endocr J. 60(4):403-408
* Kitano I, Noguchi T, Mizuguchi M, Nishihara M, Hara Y, Azama S, Yamaguchi K, Hirai T, Takase Y, Liu L, Noshiro H, Fujimoto K, Irie H.	CT-Gastrography for early gastric cancer visualized by wall-carving technique; value of portal phase contrast-enhanced MDCT.	Fukuoka Acta Med. 104(5)89-98.
*Ichikawa A, Kuba K, Morita M, Chida S, Tezuka H, Hara H, Sasaki T, Ohteki T, Ranieri VM, Dos Santos CC, Kawaoka Y, Akira S, Luster AD, Lu B, Penninger JM, Uhlig S, Slutsky AS, Imai Y	CXCL10-CXCR3 Enhances the Development of Neutrophil-mediated Fulminant Lung Injury of Viral and Nonviral Origin.	Am J Respir Crit Care Med. 187(1):65-77.
*Nakamura I, Hasegawa K, Wada Y, Hirase T, Node K, Watanabe Y.	Detection of early stage atherosclerotic plaques using PET and CT fusion imaging targeting P-selectin in low density lipoprotein receptor-deficient mice.	Biochem Biophys Res Commun. 29;433(1):47-51
Sueoka E, Sueoka-Aragane N, Sato A, Ide M, Nakamura H, Sotomaru Y, Taya C, Yonekawa H, Kitagawa T, Kubota Y, Kimura S, Nakamichi K, Tanimoto K.	Development of lymphoproliferative diseases by hypoxia inducible factor-1a is associated with prolonged lymphocyte survival.	PLOS One, 8(4): e57833
Ihara H, Hanashima S, Tsukamoto H, Yamaguchi Y, Taniguchi N, Ikeda Y	Difucosylation of chitooligosaccharides by eukaryote and prokaryote α 1,6-fucosyltransferases.	Biochim. Biophys. Acta 1830(10): 4482-4490
* Ma G, Zhang H, Dong M, Zheng X, Ozaki I, Matsuhashi S, Guo K. Downregulation of programmed cell death 4 (PDCD4) in tumorigenesis and progression of human digestive tract cancers.	Downregulation of programmed cell death 4 (PDCD4) in tumorigenesis and progression of human digestive tract cancers.	Tumour Biol. 2013; 34(6): 3879-85.
* Ray C, Sauder C, Ray D, Nishida Y	Effect of acute hyperthyroidism on blood flow, muscle oxygenation, and sympathetic nerve activity during dynamic handgrip.	Physiol. Rep, 1 (1), 2013, e00011, doi: 10.1002/phy2.11
*Takano H, Mizuma H, Kuwabara Y, Sato Y, Shindo S, Kotooka N, Fujimatsu D, Kobayashi Y, Inoue T, Node K, *Komuro I; PEARL Study Investigators.	Effects of pitavastatin in Japanese patients with chronic heart failure: the Pitavastatin Heart Failure Study (PEARL Study).	Circ J. 77(4):917-25
Sakamoto Y, Oyama JI, Ikeda H, Kuroki S, Gondoh S, Iwamoto T, Uchida Y, Kodama K, Hiwatashi A, Shimomura M, Taguchi I, Inoue T, Node K and S-DOG investigators.	Effects of sitagliptin beyond glycemic control: Focus on quality of life.	Cardiovasc Diabetol. 12(1):35
OMiyahara T, Mochinaga S, Kimura S, Aragane N, Yakabe T, Morita S, Okudaira K, Fujito H.	Effects of tumor type, degree of obesity, and chemotherapy regimen on chemotherapy dose intensity in obese cancer patients.	Cancer Chemother Pharmacol. 71:175-82.

*Iwasaki Y., Fujio K, Okamura T, Yanai A, Sumitomo S, Shoda H, Tamura T, Yoshida H, Charnay P, Yamamoto K	Egr-2 transcription factor is required for Blimp-1 mediated IL-10 production in IL-27 stimulated CD4(+) T cells.	Eur J Immunol 43:1063-1073.
Liu T, Jiang C-Y, Fujita T, Luo S-W, Kumamoto E	Enhancement by interleukin-1 β of AMPA and NMDA receptor-mediated currents in adult rat spinal superficial dorsal horn neurons.	Mol. Pain 9:16
Aoki S, Takezawa T, Oshikata-Miyazaki A, Ikeda S, Kuroyama H, Chimuro T, Oguchi Y, Noguchi M, Narisawa Y, Toda S.	Epithelial-to-mesenchymal transition and slit function of mesothelial cells are regulated by the crosstalk between mesothelial cells and endothelial cells.	Am J Physiol Renal Physiol. PubMed PMID: 24197067.
Katano T, Ootani A, Mizoshita T, Tanida S, Tsukamoto H, Ozeki K, Ebi M, Mori Y, Kataoka H, Kamiya T, Toda S, Joh T.	Establishment of a long-term three-dimensional primary culture of mouse glandular stomach epithelial cells within the stem cell niche.	Biochem Biophys Res Commun. Mar 22;432(4):558-563.
Kimura S, Ando T, Kojima K	Ever-advancing chronic myeloid leukemia treatment	Int J Clin Oncol
Yamamoto S, Hirata A, Ishikawa S, Ohta K, Nakamura K, Okinami S.	Feasibility of using gelatin-microbial transglutaminase complex to repair experimental retinal detachment in rabbit eyes.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2013 Apr;251(4):1109-14.
Uchihashi K, Nakatani T, Goetz R, Mohammadi M, He X, Razzaque MS.	FGF23-induced hypophosphatemia persists in Hyp mice deficient in the WNT coreceptor Lrp6	Contrib Nephrol. 180: 124-137
*Sharma S, Morinaga H, Hwang V, Fan W, Fernandez MO, Varki N, Olefsky JM, Webster NJ	Free fatty acids induce Lhb mRNA but suppress Fshb mRNA in pituitary L β T2 gonadotropes and diet-induced obesity reduces FSH levels in male mice and disrupts the proestrous LH/FSH surge in female mice.	Endocrinology. 154: 2188-2199
*Omori Y., Murabayashi H., Kuramoto H., Kawano H., Kato K., Nakagawa C., Sasaki M., Kitamura N., Ishikawa K., Tanaka K.	Gamma-aminobutyric acid B Receptor Immunoreactivity in the Mouse Adrenal Medulla	Anat. Rec. 296: 971-978
*Ohno I, *Hayashi H, Aonuma K, Horio M, Kashihara N, Okada H, Komatsu Y, Tamura S, Awai K, Yamashita Y, Kuwatsuru R, Hirayama A, Saito Y, Murohara T, Tamaki N, Sato A, Takayama T, Imai E, Yasuda Y, Koya D, Tsubakihara Y, Horie S, Korogi Y, Narumi Y, Hayakawa K, Daida H, Node K, Kubota I.	Guidelines on the use of iodinated contrast media in patients with kidney disease 2012: digest version : JSN, JRS, and JCS Joint Working Group.	Clin Exp Nephrol. 17(4):441-79
*Ohno I, *Hayashi H, Aonuma K, Horio M, Kashihara N, Okada H, Komatsu Y, Tamura S, Awai K, Yamashita Y, Kuwatsuru R, Hirayama A, Saito Y, Murohara T, Tamaki N, Sato A, Takayama T, Imai E, Yasuda Y, Koya D, Tsubakihara Y, Horie S, Korogi Y, Narumi Y, Hayakawa K, Daida H, Node K, Kubota I.	Guidelines on the use of iodinated contrast media in patients with kidney disease 2012: digest version : JSN, JRS, and JCS Joint Working Group.	Jpn J Radiol. 31(8):546-84
OMiyake S, Kitajima Y, Nakamura J, Kai K, Yanagihara K, Tanaka T, Hiraki M, Miyazaki K, Noshiro H.	HIF-1 α is a crucial factor in the development of peritoneal dissemination via natural metastatic routes in scirrhous gastric cancer.	Int J Oncol;43:1431-40.
Higashimoto K, Maeda T, Okada J, Ohtsuka Y, Sasaki K, Hirose A, Nomiyama M, Takayanagi T, Fukuzawa R, Yatsuki H, Koide K, Nishioka K, Joh K, Watanabe Y, Yoshiura KI, Soejima H.	Homozgyous deletion of DIS3L2 exon 9 due to non-allelic homologous recombination between LINE-1s in a Japanese patient with Perlman syndrome.	Eur J Hum Genet, 21(11):1316-1319
*Ogata M, Satou T, Kadota J, Saito N, Yoshida T, Okumura H, Ueki T, Nagafuji K, Kako S, Uoshima N, Tsudo M, Itamura H, Fukuda T.	Human herpesvirus 6 (HHV-6) reactivation and HHV-6 encephalitis after allogeneic hematopoietic cell transplantation: a multicenter, prospective study.	Clin Infect Dis.57(5):671-81
Yamakawa N, Ohto U, Akashi-Takamura S, Takahashi K, Saitoh S, Tanimura N, Suganami T, Ogawa Y, Shibata T, Shimizu T, Miyake K.	Human TLR4 polymorphism D299G/T399I alters TLR4/MD-2 conformation and response to a weak ligand monophosphoryl lipid A.	Int Immunol 25: 45-52
Oyama JI, Kudo Y, Maeda T, Node K, Makino N.	Hyperthermia by bathing in a hot spring improves cardiovascular functions and reduces the production of inflammatory cytokines in patients with chronic heart failure.	Heart and Vessels.28(2):173-178
OTomita Y, Higashibata A, Oishi H, Hara H, Sakaguchi Y	Identification of 62-kDa protein as an immunogenic antigen of Vibrio vulnificus for humans.	Fukuoka Igaku Zasshi. 104(7):222-33.
Hara M, Okada K, Yamaguchi Y, Uno S, Otsuka Y, Shimanoe C, Nanri H, Horita M, Ozaki I, Nishida Y, Tanaka K	Immunogenicity and safety after booster vaccination of diphtheria, tetanus, and acellular pertussis in young adults: an open randomized controlled trial in Japan.	Clin. Vaccine Immunol. 20: 1799-1804
Emi Tabata, Masanori Masuda, Makoto Eriguchi, Masatoshi Yokoyama, Yoshiyuki Takahashi, Keiko Tanaka, Motohiro Yukitake, Etuo Horikawa, Hideo Hara, MD, PhD.	Immunopathological significance of ovarian teratoma in patients with anti-N-methyl-D-aspartate receptor encephalitis	European neurology. 71(1-2): 42-48
Kuwashiro T, Mizuta T, Kawaguchi Y, Iwane S, Takahashi H, Oza N, Oeda S, Isoda H, Eguchi Y, Ozaki I, Anzai K, Fujimoto K	Impairment of health-related quality of life in patients with chronic hepatitis C is associated with insulin resistance.	J Gastroenterol DOI 10.1007/s00535-013-0781-6
Yano M, Yamamoto T, Nishimura N, Gotoh T, Watanabe K, Ikeda K, Garan Y, Taguchi R, Node K, Okazaki T, Oike Y.	Increased oxidative stress impairs adipose tissue function in sphingomyelin synthase 1 null mice.	PLoS One. 8(4):e61380

Koarada S, Tashiro S, Nagao N, Suematsu R, Ohta A and Tada Y	Increased RP105–Negative B Cells in IgG4–Related Disease	The Open Rheumatology Journal 7:55–57
Kawasaki H, Mizuta K, Fujita T, Kumamoto E	Inhibition by menthol and its related chemicals of compound action potentials in frog sciatic nerves.	Life Sci. 92: 359–367
Kudo E, Taura M, Matsuda K, Shimamoto M, Kariya R, Goto H, Hattori S, Kimura S, Okada S.	Inhibition of HIV–1 replication by a tricyclic coumarin GUT–70 in acutely and chronically infected cells.	Bioorgan Med Chem Lett, 23(3):606–9
*Hirase T, Hara H, Miyazaki Y, Ide N, Nishimoto–Hazuku A, Fujimoto H, Saris CJ, Yoshida H, Node K	Interleukin 27 inhibits atherosclerosis via immunoregulation of macrophages in mice.	Am J Physiol Heart Circ Physiol. 305(3):H420–9,
Taniguchi K, Yamamoto S, Hitomi E, Inada Y, Suyama Y, Sugioka T, Hamasaki Y	Interleukin 33 is induced by tumor necrosis factor α and interferon γ in keratinocytes and contributes and contributes to allergic contact dermatitis.	J Investig Allergol Clin Immunol. 23(6), 428–434
Hara M, Yakushiji Y, Nannri H, Sasaki S, Noguchi T, Nishiyama M, Hirotsu T, Nakajima J, Hara H	Joint effect of hypertension and life–style–related risk factors on the risk of brain microbleeds in healthy individuals.	Hypertension Research, 36:789–794
*Nonomura K, Yamaguchi Y, Hamachi M, Koike M, Uchiyama Y, Nakazato K, Mochizuki A, Sakaue–Sawano A, Miyawaki A, Yoshida H, Kuida K, Miura M	Local Apoptosis Modulates Early Mammalian Brain Development through the Elimination of Morphogen–Producing Cells.	Developmental cell 27:621–634.
OTanaka T, Nakamura J, Kitajima Y, Kai K, Miyake S, Hiraki M, Ide T, Koga Y, Noshiro H.	Loss of trefoil factor 1 is regulated by DNA methylation and is an independent predictive factor for poor survival in advanced gastric cancer.	Int J Oncol. 3:894–902
Kato G, Takahashi K, Izuhara K, Komiya K, Kimura S and Hayashi S.	Markers that can Reflect Asthmatic Activity before and after Reduction of Inhaled Corticosteroids: A Pilot Study.	Biomark Insights. 8: 97–105,
Tsukamoto H, Ihara H, Ito R, Ukai I, Suzuki N, Kimoto M, Tomioka Y, Ikeda Y	MD–2–dependent human Toll–like receptor 4 monoclonal antibodies detect extracellular association of Toll–like receptor 4 with extrinsic soluble MD–2 on the cell surface.	Biochem. Biophys. Res. Commun. 440(1): 31–36
Shindo T, Kim TK, Benjamin CB, Wieder ED, Levy RB, Komanduri KV	MEK inhibitors selectively suppress alloreactivity and graft–versus–host disease in a memory stage–dependent manner.	Blood. 121: 4617–4626 (Plenary paper)
Vélez J, Hail N Jr, Konopleva M, Zeng Z, Kojima K, Samudio I, Andreoff M	Mitochondrial uncoupling and the reprogramming of intermediary metabolism in leukemia cells	Front Oncol. 2013 Apr 2:3:67
Kai K, Masuda M, Ide T, Takase Y, Miyoshi A, Kitahara K, Miyazaki K, Noshiro H, Tokunaga O.	Mitotic count reflects prognosis of gallbladder cancer particularly among patients with T3 tumor	Molecular and clinical oncology 1: 633–638
*Iwasa K, Zhu HL, Shibata A, Maehara Y, Teramoto N	Molecular analysis of ATP–sensitive K ⁺ channel subunits expressed in mouse vas deferens myocytes.	British Journal of Pharmacology, 171: 145–157
Nagase K, Hisatomi M, Okawa T, Misago N and Narisawa Y	Mucha–Habermann Disease–like Eruption Following Pandemic Influenza H1N1 Vaccination: Coincidence or Causal Relationship?	J Clin Exp Dermatol Res.;4:181
OMisago N, Joh K, Soejima H, Narisawa Y.	Multiple mucocutaneous (palisaded encapsulated) neuromas may be a distinct entity.	JAMA Dermatol, 149(4):498–500
*Lu M, Sarruf DA, Li P, Osborn O, Sanchez–Alavez M, Talukdar S, Chen A, Bandyopadhyay G, Xu J, Morinaga H, Dines K, Watkins S, Kaiyala K, Schwartz MW, Olefsky JM	Neuronal Sirt1 deficiency increases insulin sensitivity in both brain and peripheral tissues.	Journal of Biological Chemistry, 288: 10722–10735
Imam SZ, Trickler W, Kimura S, Binienda ZK, Paule MG, Slikker W, Li S, Clark RA, Ali SF.	Neuroprotective efficacy of a new brain–penetrating c–Abl inhibitor in a murine Parkinson's disease model.	PLOS One 8: 65129
*Sawada T, Yashiro M, Sentani K, Oue N, Yasui W, Miyazaki K, Kai K, Fujita H, Nakamura K, Maeda K, Kakeji Y, Natsugoe S, Shirabe K, Nomura S, Shimada Y, Tomita N, Hirakawa K, Maehara Y.	New molecular staging with G–factors (VEGF–C and Reg IV) by supplementing TNM classification in colorectal cancers.	Oncol Rep.;30:2609–16.
Yatsuki H, Higashimoto K, Jozaki K, Koide K, Okada J, Watanabe Y, Okamoto N, Tsuno Y, Yoshida Y, Ueda K, Shimizu K, Ohashi H, Mukai T, Soejima H.	Novel Mutations of CDKN1C in Japanese Patients with Beckwith–Wiedemann Syndrome.	Genes Genom, 35(2):141–147
*Makiuchi T, Mi–ichi F, Nakada–Tsukui K, Nozaki T.	Novel TPR–containing subunit of TOM complex functions as cytosolic receptor for Entamoeba mitosomal transport.	Sci Rep.3:1129.
*Matsumura R, Matsubara C, Node K, Takumi T, Akashi M.	Nuclear receptor–mediated cell–autonomous oscillatory expression of the circadian transcription factor, neuronal PAS domain protein 2 (NPAS2).	J Biol Chem. 8(51):36548–53
Uchihashi K, Aoki S, Matsunobu A, Toda S.	Osteoblast migration into type I collagen gel and differentiation to osteocyte–like cells within a self–produced mineralized matrix: a novel system for analyzing differentiation from osteoblast to osteocyte	Bone. 52(1): 102–110.

Masuda M, Kai K, Takase Y, Tokunaga O.	Pathological features of classical polyarteritis nodosa: analysis of 19 autopsy cases.	Pathol Res Pract. 209:161-6
Taniguchi K, Arima K, Masuoka M, Ohta S, Shiraishi H, Ontsuka K, Suzuki S, Inamitsu M, Yamamoto KI, Simmons O, Toda S, Conway SJ, Hamasaki Y, Izuhara K.	Periostin Controls Keratinocyte Proliferation and Differentiation by Interacting with the Paracrine IL-1 α /IL-6 Loop.	J Invest Dermatol. Nov 25.
*Ishikawa K, Yoshida S, Nakao S, Nakama T, Kita T, Asato R, Sassa Y, Arita R, Miyazaki M, Enaida H, Oshima Y, Murakami N, Niino H, Ono J, Matsuda A, Goto Y, Akashi K, Izuhara K, Kudo A, Kono T, Hafezi-Moghadam A, Ishibashi T.	Periostin promotes the generation of fibrous membranes in proliferative vitreoretinopathy.	FASEB J. in press
* Yamada K, Takayama K, Kawakami S, Saruwatari K, Morinaga R, Harada T, Aragane N, Nagata S, Kishimoto J, Nakanishi Y, Ichinose Y.	Phase II trial of erlotinib for Japanese patients with previously treated non-small-cell lung cancer harboring EGFR mutations: results of Lung Oncology Group in Kyushu (LOGiK0803).	Jpn J Clin Oncol. 43:629-35
Uchihashi K, Nishijima-Matsunobu A, Matsuyama A, Yamasaki F, Tanabe T, Uemura T, Aragane N, Yakushiji M, Yamamoto M, Aoki S, Toda S.	Phosphaturic mesenchymal tumor, nonphosphaturic variant, causing fatal pulmonary metastasis.	Hum Pathol. 2013 Nov;44(11):2614-2618.
* Jin L, Tabe Y, Kojima K, Shikami M, Benito J, Ruvo V, Wang RY, McQueen T, Ciurea SO, Miida T, Andreeff M, Konopleva M	PI3K inhibitor GDC-0941 enhances apoptotic effects of BH-3 mimetic ABT-737 in AML cells in the hypoxic bone marrow microenvironment	J Mol Med (Berl). 2013 Dec;91(12):1383-97
*Furuhata K., Edagawa A., Miyamoto H., Kawakami Y., Fukuyama M.	Porphyrobacter colymbi sp. nov. isolated from swimming pool water in Tokyo, Japan	J. Gen. Appl. Microbiol. VOL.59, 245-250
Kotooka N, Komatsu A, Takahashi H, Nonaka M, Kawaguchi C, Komoda H, Asaka M, Abe S, Taguchi I, Toyoda S, Nishiyama M, Inoue T, Node K.	Predictive value of high-molecular weight adiponectin in subjects with a higher risk of the development of metabolic syndrome: From a population based 5-year follow-up data.	Int J Cardiol. S0167-5273(12)01441-6
OMorito K, Kai K, Miyoshi A, Kubo H, Ide T, Azama S, Irie H, Koga Y, Sumi K, Ikeda O, Kitahara K, Noshiro H.	Primary squamous cell carcinoma of the liver concomitant with primary colon cancer: report of a case	Clin J Gastroenterol :6: 134-138
Kojima K, Kornblau SM, Ruvo V, Dilip A, Duvvuri S, Davis RE, Zhang M, Wang Z, Coombes KR, Zhang N, Qiu YH, Burks JK, Kantarjian H, Shacham S, Kauffman M, Andreeff M	Prognostic impact and targeting of CRM1 in acute myeloid leukemia	Blood. 2013 May 16;121(20):4166-74
Tsakamoto H, Fukudome K, Takao S, Tsuneyoshi N, Ohta S, Nagai Y, Ihara H, Miyake K, Ikeda Y, Kimoto M	Reduced surface expression of TLR4 by a V254I point mutation accounts for the low lipopolysaccharide responder phenotype of BALB/c B cells.	J. Immunol. 190(1): 195-204
Samukawa M, Hirano M, Tsugawa J, Sakamoto H, Tabata E, Takada K, Kuwahara M, Suzuki S, Kitada M, Yamada T, Hara H, Tsuboi Y, Nakamura Y, Kusunoki S.	Refractory acute disseminated encephalopathy with anti-galactocerebroside antibody.	Neuroscience Research 74; 284-289
*Fukuda K, Ichihyanagi K, Yamada Y, Go Y, Udono T, Wada S, Maeda T, Soejima H, Saitou N, Ito T, Sasaki H.	Regional DNA methylation differences between humans and chimpanzees are associated with genetic changes, transcriptional divergence and disease genes.	J Hum Genet, 58(7):446-454
*Ohta N, Kurakami K, Ishida A, Furukawa T, Suzuki Y, Aoyagi M, Matsubara A, Izuhara K, Kakehara S.	Roles of TGF- β and periostin in fibrosclerosis in patients with IgG4-related diseases.	Acta Otolaryngol. 133(12): 1322-1327
Yakabe T, Kitahara K, Komiya K, Sueoka-Aragane N, Kimura S, Sugioka T, Noshiro H.	Severe eosinophilic pneumonia presenting during gemcitabine adjuvant chemotherapy.	World J Surg Oncol 11:167.
Akiyama T, Miyamoto H, Yonekura Y, Tsakamoto M, Ando Y, Noda I, Sonohata M, Mawatari M	Silver oxide-containing hydroxyapatite coating has in vivo antibacterial activity in the rat tibia.	J Orthop Res.2013 Aug;31(8):1195-1200
Matsumoto A, Matsumoto A, Ichiba M, Payton NM, Oishi H, Hara M.	Simultaneous measurement of urinary total nicotine and cotinine as biomarkers of active and passive smoking among Japanese individuals.	Environ Health Prev Med. 18, 3, 244-50
*Nomura M, Zhu HL, Wang L, Morinaga H, Takayanagi R, Teramoto N	SMAD2 disruption in mouse pancreatic beta cells leads to islet hyperplasia and impaired insulin secretion due to the attenuation of ATP-sensitive K ⁺ channel activity.	Diabetologia, 57: 157-166
*Takahashi M, Hasegawa Y, Ikeda Y, Wada Y, Tajiri M, Aiki S, Takamiya R, Nishitani C, Araki M, Yamaguchi Y, Taniguchi N, Kuroki Y	Suppression of Heregulin β Signaling by the Single N-Glycan Detection Mutant of Soluble ErbB3 Protein.	J. Biol. Chem. 288(46): 32910-32921
Takahara K, Kakinoki H, Ikoma S, Udo K, Tobu S, Satoh Y, Tokuda Y, Noguchi M, Aoki S, Uozumi J.	Suture Granuloma Showing False-Positive Findings on FDG-PET.	Case Rep Urol. doi: 10.1155/2013/472642.
Lu H, Kojima K, Battula VL, Korchin B, Shi Y, Chen Y, Spong S, Thomas DA, Kantarjian H, Lock RB, Andreeff M, Konopleva M	Targeting connective tissue growth factor (CTGF) in acute lymphoblastic leukemia preclinical models: anti-CTGF monoclonal antibody attenuates leukemia growth.	Ann Hemato l

Katagiri S, Tauchi T, Okabe S, Minami Y, Kimura S, Maekawa T, Naoe T, Ohyashiki K.	Targeting the hedgehog signaling pathway in therapy-resistant BCR-ABL1 positive leukemia with ponatinib.	Clin Cancer Res, 19(6): 1422-1432
*Lee YS, Morinaga H, Kim JJ, Lagakos W, Taylor S, Keshwani M, Perkins G, Dong H, Kayali AG, Sweet IR, Olefsky J	The fractalkine/CX3CR1 system regulates β cell function and insulin secretion.	Cell, 153: 413-425.
○Suzuki M, Honda , Li M-Z, Masuko S, and Murata Y	The localization of oxytocin receptors in the islets of Langerhans in the rat pancreas	Regul. Pept. 183:42-45
Misago N, Toda S, Narisawa Y.	The Relationship Between Palisaded Encapsulated Neuroma and the Mucocutaneous Neuroma Seen in Multiple Endocrine Neoplasia 2b Syndrome: A Histopathologic and Immunohistochemical Study.	Am J Dermatopathol. Nov 15.
*Conway SJ, Izuhara k, Kudo Y, Litvin J, Markwald R, Ouyang G, Arron JR, Holweg CT, Kudo A:	The role of periostin in tissue remodeling across health and disease.	Cell Mol. Life Sci.: in press
Yoshihara M, Itamura H, Fukushima N, Itoh M, Furukawa K, Nagatomo D, Kamachi K, Kitamura H, Shindo T, Kubota Y, Sueoka E, Morita S, Ichinohe T, Kimura S	Therapeutic management in cardiac lymphoma.	Leuk Lymphoma. 2013 Sep 3.
Nishijima-Matsunobu A, Aoki S, Uchihashi K, Fujimoto K, Toda S	Three-dimensional culture model for analyzing crosstalk between adipose tissue and hepatocytes.	Cell Tissue Res. 2013 Jun; 352 (3): 611-621
*Takahashi A., Kukita A. *, Li Y-J., Zhang JQ, Nomiya H., Yamaza T., Ayuyama Y., Koyano K., Kukita T.	Tunneling nanotube formation is essential for the regulation of osteoclastogenesis.	J. Cell Biochem.. 114(6):1238-47
Hirata A, Yamamoto S, Okinami S	Use of an Ophthalmic Viscosurgical Device for Experimental Retinal Detachment in Rabbit Eyes	J Funct Biomater 4:6-13, 2013
一番ヶ瀬 優佳, 中島 啓二, 有働 和馬, 東武昇平, 佐藤 勇司, 徳田 雄治, 野口 満, 魚住 二郎, 青木 茂久	Wegener 肉芽腫症に対する Cyclophosphamide 治療後に発生した膀胱癌の 1 例	西日本泌尿器科. 75 巻 8 号 Page432-436
Yue H-Y, Jiang C-Y, Fujita T, Kumamoto E	Zingerone enhances glutamatergic spontaneous excitatory transmission by activating TRPA1 but not TRPV1 channels in the adult rat substantia gelatinosa.	J. Neurophysiol. 110: 658-671
Nihon-Yanagi Y, Terai K, Murano T, Kawai T, Kimura S, Okazumi S	β -2 microglobulin is unsuitable as an internal reference for the analysis of gene expression in human colorectal cancer	Biomed Rep. 1: 193-196
水田和孝、末松梨絵、貞永裕梨、永尾奈津美、田代知子、小荒田秀一、多田芳史、大田明英	後腹膜神経鞘腫を合併した RS3PE 症候群の一例	九州リウマチ 33:108-113
江頭秀一、河野俊介、秋山隆行、塚本正紹、北島将、園畑素樹、堀川悦夫、馬渡正明	三次元動作解析装置を用いた片側変形性股関節症患者における体幹・骨盤運動の評価	日本人工関節学会誌 43:83-84
白木綾、尾山純一、坂本佳子、内田文、下村光洋、佐久間理吏、樋渡敦、児玉和久、内野真純、多胡素子、長友大輔、薦田洋、挽地裕、仁井隆信、中西弘、松永和雄、池田秀夫、野出孝一	シルニジピンとアムロジピンの降圧および腎保護効果に関する比較研究.	Progress in Medicine. 33(5)1147-1153
上野雅也、河野俊介、北島将、園畑素樹、馬渡正明	人工股関節置換術における経口 Xa 阻害剤投与の検討	整形外科と災害外科 62(1):109-111
* 近江雅代、鷲尾昌一、堀内孝彦、塚本 浩、多田芳史、澤部琢哉、佐々木敏、岡由紀子、城田知子、森 満、永井正規	全身性エリトマトーデス発症に関連する食事因子～栄養素等摂取状況および食品群別摂取量について～	日本病態栄養学会誌 16:99-106
江頭秀一、河野俊介、秋山隆行、塚本正紹、北島将、園畑素樹、馬渡正明	殿筋内脱臼股症例(Crowe4)における三次元歩行解析-冠状面における体幹動揺性の定量的評価の試み-	Hip Joint39:642-646
本池 悠、田代知子、永尾奈津美、末松梨絵、小荒田秀一、多田芳史、大田明英	本池 悠、田代知子、永尾奈津美、末松梨絵、小荒田秀一、多田芳史、大田明英	九州リウマチ 33:119-124
古場慎一、永瀬浩太郎、成澤 寛	メルケル細胞癌診療の現況	日本皮膚科学会雑誌 第 123 巻 13 号 予定
河野俊介、江頭秀一、秋山隆行、塚本正紹、北島将、園畑素樹、馬渡正明、堀川悦夫	両側高位脱臼股症例の歩行時動揺性に関する3次元動作解析	整形外科と災害外科 62(3):589-591
枝川亜希子, 木村明生, 三輪由佳, 田中英次, 足立伸一、宮本比呂志	レジオネラ検査ろ過濃縮法におけるメンブランフィルター材質の回収率比較	防菌防黴学会雑誌 VOL.41, NO.2, 63-66
坂田資尚、鶴岡ななえ、岩切龍一	下痢型過敏性腸症候群に対するラモセトロン塩酸塩の早期治療効果に関する検討	新薬と臨床 62:1840-1850
古場慎一、白井礼子、井上卓也、三砂範幸、成澤 寛、壇上 敦、野口信宏、山下佳雄、後藤昌昭	眼瞼後葉再建時の硬口蓋粘膜採取における当科の取り組み	日本皮膚外科学会誌 第 17 巻 2 号 106-107
田中淳、薬師寺祐介、南里悠介、梶原正貴、須田憲治、原 英夫	経皮的カテーテル心房中隔欠損孔閉鎖術により前兆のある片頭痛が消失した 1 例	臨床神経学 53:638-641
南里悠介、薬師寺祐介、雪竹基弘、中原由紀子、松島敏夫、原英夫	止血剤の点滴および内服加療で改善をみとめた脳表へモジリン沈着症の 1 例	臨床神経学 53:470-473
○宇木 望、於保 恵、永沢善三、東谷孝徳、太田昭一郎、末岡榮三朗、宮本比呂志	質量分析装置 MALDI バイオタイパーによる血液培養陽性ボトルからの直接迅速同定法に関する検証	臨床病理 VOL.61, NO.3, 224-230
山口りか、南里悠介、薬師寺祐介、雪竹基弘、原英夫	手掌・両側口症候群を呈した片側橋被蓋傍正中中部出血の 1 例	臨床神経学 53:46-49

野口満, 東武昇平, 魚住二郎	先端治療 3: 二分脊椎症例に対する尿路再建 一膀胱拡大術, 膀胱頸部形成術, 導尿管造設を中心に一.	泌尿器外科. 26 (3) : 271-277
江川紀幸, 井手貴雄, 甲斐敬太, 三好篤, 北原賢二, 能城浩和	胆嚢腺筋腫症に発生した胆嚢肉腫様癌の 1 例	日本消化器外科学会雑誌. 46: 275-281
濱田 千江子, 中山 昌明, 宮崎 正信, 本田一穂, 青木 茂久, 石橋 由孝	中性透析液の腹膜組織傷害へのインパクト	腎と透析. 75 巻別冊 腹膜透析 Page65-66
白井 礼子, 三砂 範幸, 井上 卓也, 成澤 寛	肉芽腫性血管炎を認めた潰瘍型皮膚サルコイドの 1 例	西日本皮膚科 75 巻 6 号 499-503
山本 忍, 市場正良, 天野有康, 中村 正, 佐藤和也, 濱野和可子, 森浩司	尿中 N-メチルホルムアミド及び尿中 N-メチルアセトアミドのクロスチェック集計結果について(2)	労働衛生管理 24:48-52
市場正良, 山本 忍, 天野有康, 中村 正	微量金属の施設間クロスチェック	労働衛生管理 24:15-19
末岡栄三朗, 山田尚友, 山田麻里江, 久保田寧, 浦田千紗子, 吉村麻里, 板村英和, 久富崇, 福島伯泰, 出 勝, 横尾眞子, 吉原真理, 蒲池和晴, 北村浩晃, 進藤岳郎, 一戸辰夫, 木村晋也	輸血後鉄過剰症の現状と問題点	日本輸血・細胞治療学会誌 59(1): 73-78
H. Cong, T. Yamato and Z.Tao	Chemo-selective oxidation of hydroxybenzyl alcohols with IBX in the presence of Hemiacurbit[6]uril	New J. Chem.
Shigeru Imai, Shoichi Kojima	Comparison of Thermal Comfort Between Radiant Heating and Convective Heating in Heating Room	The 4th International Conference on Engineering, Project and Production Management
Shigeru Imai, Shoichi Kojima	Examination of Optimal Operation of Radiat Heating in Consideration of Directivity and Convective Heating	The Yellow Sea Rim International Exchange Meeting on Building Environment and Energy 2014
X,-L. Ni, H. Cong, A. Yoshizawa, S. Rahman, H. Tomiyasu, U. Rayhan, X. Zeng, and T. Yamato	Heteroditopic thiacalix[4]arene receptor having ester and bipyridyl moieties for ions binding with positive/negative allosteric effect	Journal of Molecular Structure
Kazuki Tomita, Shoichi Kojima	Improvement of Summer Indoor Thermal Environment by Solar Shading and Evaporative Cooling in Housing Opening	The 4th International Conference on Engineering, Project and Production Management
J-Y. Hu, A. Paudel, N. Seto, X. Feng, M. Era, T. Matsumoto, J. Tanaka, M.R.J. Elsegood, C. Redshaw, and T. Yamato	Pyrene-cored blue-light emitting [4]helicenes: Synthesis, crystal structures, and photophysical properties	Org. Biomol. Chem.
Alaa A. Hassan, Yusria R. Ibrahim, Ashraf A. Aly, Essmat M. El-Sheref, Takehiko Yamato	Reaction of Diethyl Ethylenedicarboxylate with (Substituted Ethylidene)hydrazinecarbothioamides	Journal of Heterocyclic Chemistry
Takehiro Yui, Hirotaki Kensuke, Takeshita Chihomi, Furuno Hiroshi, Hanamoto Takeshi	Regioselctive ring-opening reaction of 2-trifluoromethyl-N-tosylaziridine with some nucleophiles under basic conditions	Tetrahedron
T. Shimomura, S. Inoue, S. Kadohata, T. Umecky, T. Takamuku	SANS, ATR-IR, and 1D- and 2D-NMR Studies on Mixing States of Imidazolium-based Ionic Liquid and Aryl Solvents	Phys. Chem. Chem. Phys.,
Daiki Nagata, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita	Surface Modification of Hydrophobic Sphere with Dextran Generated from Enzymatic Reaction for Adsorption Site	Advanced Chemical Engineering Research
X. Feng, J-Y. Hu, N. Seto, H. Tomiyasu, C. Redshaw, M. R. J. Elsegood and T. Yamato	Synthesis and photophysical properties of novel butterfly-shaped blue emitters based on pyrene	Org. Biomol. Chem.
Goto Yuki, Shiosaki Masahiro, Hanamoto Takeshi, Yoshida Masato, Sawada Hideo	Synthesis and properties of polyfluoro(silyl)acetylene nanoparticles by reaction of fluoro(silyl)acetylenes with triethylamine	Colloid Polym Sci
Hirotaki Kensuke, Takehiro Yui, Kamaishi Ryo, Yamada Yasunori, Hanamto Takeshi	Synthesis of mono-fluorinated functionalized cyclopropanes and aziridines using the α -fluorovinyl diphenyl sulfonium salt	Chemical Communications
Tsugio Kitamura, Keisuke Gondo, Toshimasa Katagiri	1,3-ジメチル-2-イミダゾリジノン中 LiCl 存在下 Mg/CuCl ハイブリッドメタルを用いる 1,2-ジクロロベンゼン類から 1,2-ビス(トリメチルシリル)ベンゼン類の合成	Adv. Synth. Catal.
H. Doi, X. Song, B. Minofar, R. Kanzaki, T. Takamuku, Y. Umebayashi	A Novel Proton Conductive Liquid with No Ions: Pseudo Protic Ionic Liquids	Chem. Eur. J.
X. Feng, F. Iwanaga, J.-Y. Hu, N. Seto, C. Redshaw, M. R. J. Elsegood and T. Yamato	Approach to efficient synthesis of novel pyrene-fused azacenes	Org. Lett.
Yushi Uno, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, and Hidetaka Kawakita	Assembled-Magnetite Membrane for Recovery of Starch Granules in an Open Flow	Chem. Eng. Res. Des.

X. Feng, J-Y, Hu, F. Iwanaga, N. Seto, C. Redshaw, M.R.J. Elsegood, and T. Yamato	Blue-Emitting Butterfly-Shaped 1,3,5,9-Tetraarylpyrenes: Synthesis, Crystal Structures and Photophysical Properties	Org. Lett.
Tsugio Kitamura, Kazutaka Muta, Satoshi Kuriki	Catalytic fluorination of 1,3-dicarbonyl compounds using iodoarene catalysts	Tetrahedron Lett.
Hiroyuki Harada, Toru Shiomi, Yasuhiro Ueshima, Seichiro Oura, Hidetaka Kawakita, and Biplob K. Biswas	Decolorization of secondary effluent from piggery wastewater by Fenton reaction using iron powder	Environment and Pollution
Hiroaki Kensuke, Yamada Yasunori, Hanamoto Takeshi	Diethylzinc-Promoted Synthesis of Trifluoromethyl-Containing Tryptamine Analogues from Indoles and 2-Trifluoromethyl-N-(4-Toluenesulfonyl)-Aziridine	Asian J. Org. Chem
Masanao Era, Tomohiro Kobayashi, Koichi Sakaguchi, Eri Tsukamoto and Yushi Oishi	Electric conduction of PbBr ₂ -based layered perovskite organic-inorganic superlattice having carbazole chromophore-linked ammonium molecule as an organic layer	Organic Electronics
Emi Tmoita, Shoichi Kojima, Keiji Kuniyoshi	Empirical Study on Technology of Energy Saving and CO ₂ Reduction for Local Base Hospital	The Yellow Sea Rim International Exchange Meeting on Building Environment and Energy 2014
B. B. Adhikari, M. Gurung, H. Kawakita, K. Ohto	Extraction of Pb ²⁺ with p-tert-butylcalix[4]-, [5]-, [6]arene carboxylic acid ligands and their monomeric counterpart: a thermodynamic approach	Solvent Extr. Ion Exch.
Tsugio Kitamura, Satoshi Kuriki, Kensuke Muta, Mohammad Hasan Morshed, Kazutaka Muta, Keisuke Gondo, Yuji Hori, Masaya Miyazaki	Facile Synthesis of 2-Fluoro-1,3-dicarbonyl Compounds with Aqueous Hydrofluoric Acid Mediated by Iodosylarenes	Synthesis
Hiroaki Takemura, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Yoshiyasu Matsuo, and Daisuke Fukuda	Germanium Recovery by Catechol Complexation and Subsequent Flow through Membrane and Bead-Packed Bed Column	J. Chem. Technol. Biot.
T. Takamuku, Y. Kouda, T. Shimomura	Heat-Induced Phase Separation of Alkali Chloride HFIP Water Mixtures	J. Mol. Liquids
H. Cong, T. Yamato and Z.Tao	Hemicucurbit[6]uril-induced aerobic oxidation of heterocyclic compounds	Journal of Molecular Catalysis A: Chemical
B. B. Adhikari, M. Gurung, A. B. Chetry, H. Kawakita, K. Ohto	Highly selective and efficient extraction of two Pb ²⁺ ions with a p-tert-butylcalix[6]arene hexaacarboxylic acid ligand: an allosteric effect in extraction	RSC Advances
Shigeru Imai, Shoichi Kojima	Imai, S. and Kojima, S. (2015). Comparison of Thermal Comfort by Radiant Heating and Convective Heating	Journal of Engineering, Project, and Production Management
K. Ohto, J.-Y. Kim, S. Morisada, M. Maeki, K. Yamashita, M. Miyazaki	Microreactor Extraction System with Macrocyclic Host Compounds for Rare Metal Recovery	Proceeding of ICMR 2013 (The Seventh International Conference on Materials Engineering for Resources)
B. B. Adhikari, K. Ohto, M. P. Schramm	p-tert-Butylcalix[6]arene hexacarboxylic acid conformational switching and octahedral coordination with Pb(II) and Sr(II)	Chem. Commun.
Nanami Hara, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, and Hidetaka Kawakita	Papain Activity in Dextran Solution for Keratin Hydrolysis	Adv. Enzyme Res.
Keisuke Kuroiwa, Shin-ichiro Ohura, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Yoshiyasu Matsuo, and Daisuke Fukuda	Recovery of Germanium from Waste Solar Panels Using Ion-Exchange Membrane and Solvent Extraction	Miner. Eng.
Manju Gurung, Birendra Babu Adhikari, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Katsutoshi Inoue, Shafiq Alam	Recovery of gold and silver from spent mobile phones by means of acidothioureia leaching followed by adsorption using biosorbent prepared from persimmon tannin	Hydrometallurgy
Emi Tomita, Shoichi Kojima	Research for Thermal Mitigation of the Server Room with Old Building Specification	The 4th International Conference on Engineering, Project and Production Management
H. Haramaki, T. Shimomura, T. Umecky, T. Takamuku	SANS, Infrared, and ⁷ Li and ²³ Na NMR Studies on Phase Separation of Alkali Halide-Acetonitrile-Water Mixtures by Cooling	J. Phys. Chem. B
Satoshi Yamaguchi, Ohura Seiichiro, Hiroyuki Harada, Kotaro Akagi, Yoshiharu Mitoma, Hidetaka Kawakita, Biplob Kumar Biswas	Simultaneous crystallization of phosphate and potassium as magnesium potassium phosphate using bubble column reactor with draught tube	Journal of Environmental Chemical Engineering
Haruki Tanaka, Yushi Uno, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, and Hidetaka Kawakita	Size Filtration of Starch Granules by Novel Assembled-Magnetite Membrane in Open Flow	Sci. Technol.
Yuki Ueda, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, and Keisuke Ohto	Solvent Extraction Behavior of Divalent Palladium Ion with Phenylurea Derivative of Trident Molecule	Solvent Extr. Res. Dev.
Y. Ueda, S. Morisada, H. Kawakita, K. Ohto	Solvent Extraction Behavior of Divalent Palladium Ion with Phenylurea Derivative of Trident Molecule	Solvent Extr. Res. Dev., Jpn.
Hang Cong, Yong-Huan Wang, Zhu Tao, Sai-Feng Xue, Takehiko Yamato	Substituent Effect of Substrates on Cucurbit[8]uril-catalytic Oxidation of Aryl Alcohols at Room Temperature	Journal of Molecular Catalysis A: Chemical,
J-Y.Hu, X.Feng, H. Tomiyasu, N. Seto, J-H. Do, M. R. J. Elsegood, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and fluorescence emission properties of 1,3,6,8-tetraarylpyrenes	Journal of Molecular Structure

J-Y. Hu, X. Feng, N. Seto, F. Iwanaga, J-H. Do, M. Era, T. Matsumoto, J. Tanaka and T. Yamato	Synthesis, crystal structure and photophysical properties of 7-tert-butyl-5-mono- and 5,9-bis-(4-methoxyphenylethynyl)-1,3-dimethylpyrene	Journal of Luminescence
J-Y. Hu, X. Feng, A. Paudel, U. Rayhan, H. Tomiyasu, P. Thury, M. R. J. Elsegood, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis, Structural and Photophysical Properties of the First Member of New Class of Pyrene Based [4]Helicenes	Eur. J. Org. Chem.
Keisuke Ohto, Akihito Takedomi, Anup Basnet Chetry, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Tatsuya Oshima	The effect of phenoxy oxygen atoms on extremely high extraction ability and less separation efficiency of trivalent rare earth elements with tetrakisphosphonic acid derivative of calix[4]arene	J. Incl. Phenom. Macrocycl. Chem
Keisuke Ohto*, Akihito Takedomi, Anup Basnet Chetry, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, and Tatsuya Oshima	The Effect of Phenoxy Oxygen Atoms on Extremely High Extraction Ability and Less Separation Efficiency of Trivalent Rare Earth Elements with Tetrakisphosphonic Acid Derivative of Calix[4]arene	J. Incl. Phenom. Macrocycl. Chem.
Shoichi Kojima	Thermal Environment of the Saga Castle Moat and Effect of Thermal Mitigation of Aquatic Plants	The 4th International Conference on Engineering, Project and Production Management
X.-L. Ni, C.-C. Jin, X.-K. Jiang, M. Takimoto, S. Rahman, X. Zeng, D.L. Hughes, C. Redshaw and T. Yamato	Tri-substituted hexahomotrioxacalix[3]arene derivatives bearing imidazole units: synthesis and extraction properties for cations and chromate anions	Org. Biomol. Chem.
Y. Terasawa, K. Takata, T. Anai and T. M. Ikeda	Identification and distribution of Puroindoline b-2 variant gene homologs in Hordeum	Genetica
Y. Tsubokura, H. Matsumura, M. Xu, B. Liu, H. Nakashima, T. Anai, F. Kong, X. Yuan, H. Kanamori, Y. Katayose, R. Takahashi, K. Harada and J. Abe	Genetic Variation in Soybean at the Maturity Locus E4 Is Involved in Adaptation to Long Days at High Latitudes	Agronomy
X. Zhao, S.H. Zheng*, Fatichin, A. Suzuki and Susumu Arima	Varietal difference in nitrogen redistribution from leaves and its contribution to seed yield in soybean.	Plant Production Science
L.N. Jayakody, K. Tsuge, A. Suzuki, H. Shimoi and H. Kitagaki	Identification of the sulphate ion as one of the key components of yeast spoilage of a sports drink through genome-wide expression analysis.	The Journal of General and Applied Microbiology
Kiyotake, H., Matsumoto, H., Nakayama, S., Sakai, M., Miyatake, T., Ryuda, M., and Hayakawa, Y.	Gain of long tonic immobility behavioral trait causes the red flour beetle to reduce anti-stress capacity.	J. Insect Physiol.
Furihata, S.X., Matsumoto, H., Kimura, M.T., and Hayakawa, Y	Venom components of <i>Asobara japonica</i> impair cellular immune responses of host <i>Drosophila melanogaster</i> .	Archive of Insect Biochemistry and Physiology
Furihata, S., Tanaka, K., Ryuda, M., Ochiai, M., Matsumoto, H., Csikos, G. and Hayakawa, Y.	Immuno-evasive protein (IEP)-containing surface layer covering polydnavirus particles is essential for viral infection,	J. Invertebr. Pathol.,
Furihata, S.X., Matsumoto, H., Kimura, M.T., Hayakawa, Y.,	Venom components of <i>Asobara japonica</i> impair cellular immune responses of host <i>Drosophila melanogaster</i> .	Archive of Insect Biochemistry and Physiology
Y. Tanaka, K. Nagao, H. Nakagiri, T. Nagaso, Y. Iwasa, H. Mori, M. Asahina, K. Imaizumi, M. Sato	Unavailability of liver triacylglycerol increases serum cholesterol concentration induced by dietary cholesterol in exogenously hypercholesterolemic (ExHC) rats.	Lipids Health Dis.
K. Takahashi, K. Izumi, E. Nakahata, M. Hirata, K. Sawada, K. Tsuge, K. Nagao, H. Kitagaki	Quantitation and structural determination of glucosylceramides contained in sake lees.	J. Oleo Sci.
M. Inafuku, K. Nagao, A. Inafuku, T. Yanagita, N. Taira, T. Toda, H. Oku	Dietary phosphatidylinositol prevents the concanavalin A-induced hepatitis via the suppression of immune-mediated liver injury.	Mol. Nutr. Food Res.
^D Lahiru N. Jayakody, Keisuke Tsuge, Akihiro Suzuki, Hitoshi Shimoi and Hiroshi Kitagaki*	Identification of sulfate ion as one of the key component of yeast spoilage of a sports drink through genome-wide expression analysis.	Journal of General and Applied Microbiology
Shodai Shiroma^M, Lahiru Niroshan Jayakody^D, Kenta Horie, Koji Okamoto and Hiroshi Kitagaki*	Enhancement of ethanol fermentation of <i>Saccharomyces cerevisiae</i> sake yeast strain by disrupting mitophagy function.	Applied and Environmental Microbiology
Gennaro Agrimi, Maria C. Mena, Kazuki Izumi^B, Isabella Pisano, Lucrezia Germinario, Hisashi Fukuzaki^M, Luigi Palmieri, Lars M. Blank and Hiroshi Kitagaki	Improved sake metabolic profile during fermentation due to increased mitochondrial pyruvate dissimilation	FEMS Yeast Research
^M Koshiro Takahashi, ^B Tomoaki Izumi, ^M Miyo Hirata, Kazutaka Sawada, Keisuke Tsuge, Koji Nagao and Hiroshi Kitagaki*	Quantitation and structural determination of glucosylceramides contained in sake lees.	Journal of Oleo Science
^D Lahiru N. Jayakody, Kenta Horie, Nobuyuki Hayashi and Hiroshi Kitagaki*	Engineering redox cofactor utilization for detoxification of glycolaldehyde, a key inhibitor of bioethanol production, in yeast <i>Saccharomyces cerevisiae</i> .	Applied Microbiology and Biotechnology
Yukawa, J., Tokuda, M. and Yamagishi, K.	Host plant ranges and distribution records of identified and unidentified species of the genus <i>Lasioptera</i> (Diptera: Cecidomyiidae) in Japan	Esakia

徳田 誠・川内孝太	鹿児島県におけるスダジイタマバエの採集記録	Pulex
Tokuda, M. and Kawauchi, K.	Arthropod galls found on Toshima and Shikinejima Islands, the Izu Islands, Japan	Jpnanese Journal of Systematic Entomology
湯川淳一・尾形之善・鍋木紘一・徳田 誠	種子島で採集されたタマバエのゴール	Satsuma
Suematsu, S., Harano, K., Tanaka, S., Kawaura, K., Ogihara, Y. and Tokuda, M.	Effects of barley chromosome addition to wheat on behavior and development of Locusta migratoria nymphs	Scientific reports
Matsuo, K., Uechi, N., Tokuda, M. and Yukawa, J.	Taxonomic position and ecological traits of Sigmophora tricolor (Hymenoptera: Eulophidae), a parasitoid of Asphondylia yushimai (Diptera: Cecidomyiidae), and description of a new species of Sigmophora.	Applied Entomology and Zoology
Tokuda, M., Jikumaru, Y., Matsukura, K., Takebayashi, Y., Kumashiro, S., Matsumura, M. and Kamiya, Y.	Phytohormones related to host plant manipulation by gall-inducing leafhopper.	PLoS ONE
Junichi Soejima, Yoshio Yoshida, Tadayuki Haniuda, Hideo Bessho, Shichiro Tsuchiya, Tetsuo Masuda, Sadao Komori, Tetsuro Sanada, Yuji Ito, Shosuke Sadamori, Yoshiki Kashimura, Kazuyuki Abe, and Nobuhiro Kotoda	New semi- and extremely dwarfing apple rootstocks, 'JM2' and 'JM5.'	Bull. NARO Institute of Fruit Tree Sci. VOL.16, 19 – 36
M. F. Minamikawa, D. Fujii, H. Kakui, N. Kotoda, H. Sassa*	Identification of an S-RNase binding protein1 (SBP1) homolog of apple (Malus x domestica)	Plant Biotechnology VOL.30, 119 – 123
Junichi Soejima, Hideo Bessho, Yoshio Yoshida, Tadayuki Haniuda, Tetsuo Masuda, Sadao Komori, Shichiro Tsuchiya, Yuji Ito, Tetsuro Sanada, Kazuyuki Abe, Nobuhiro Kotoda, Hidenori Kato, and Yoshiki Kashimura	New Apple Cultivar 'Santaro'	Bull. NARO Institute of FRuit Tree Sci. VOL.15, 7 – 9
Monrudee Kittikorn, Katsuya Okawa, Hitoshi Ohara, Satoru Kondo*, Nobuhiro Kotoda, Masato Wada, Mineyuki Yokoyama, Ohji Ifuku, Ariake Murata and Naoharu Watanabe	Application of an analog of 9, 10-ketotetradecadienoic acid (KODA), affected flower bud formation and MdTFL1 and MdFT1 gene expressions in apple buds under heavy-crop and shade conditions	Journal of American Society for Horticultural Science VOL.138, NO.2, 102 – 107
I. Murakami, S. Mitsutake*, N. Kobayashi, J. Matsuda, A. Suzuki, T. Shigyo, Y. Igarashi	Improved high-fat diet-induced glucose intolerance by an oral administration of phytosphingosine	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry VOL.77, 194 – 197

総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文

著者名 (多数の場合、略記可)	雑誌名	題目
*Singh S, Brocker C, Koppaka V, Chen Y, Jackson BC, Matsumoto A, Thompson DC, Vasilou V.	Aldehyde dehydrogenases in cellular responses to oxidative/electrophilic stress.	Free Radic Biol Med. 56, 89–101
原英夫	Alzheimer 病の根本的治療を目指して	神経治療学 30 150～152
Ihara H, Tsukamoto H, Taniguchi N, Ikeda Y	An assay for α1,6-fucosyltransferase (FUT8) activity based on the HPLC separation of a reaction product with fluorescence detection.	Methods Mol. Biol. 1022: 335–348
副島英伸	Beckwith-Wiedemann 症候群, Sotos 症候群	周産期医学 43(3):377–382
前田寿幸、東元健、副島英伸	Beckwith-Wiedemann 症候群と Silver-Russell 症候群	小児科臨床 66(増刊号):1308–1314
進藤 岳郎、木村 晋也	CML を目指した治療	血液フロンティア 23: 217–224
中村朝美、木村晋也	EGF 受容体の突然変異を検出する新しい鋭敏な方法	生体の科学、64(5): 464–465
Soejima H, Higashimoto K	Epigenetic and genetic alterations of the imprinting disorder Beckwith-Wiedemann syndrome and related disorders.	J Hum Genet, 58(7): 402–409
小荒田秀一、多田芳史	IgG4 関連疾患と B 細胞	リウマチ科 50:655–660
増岡 美穂、出原 賢治	IL-4, IL-13 による炎症惹起とペリオスチン	臨床免疫・アレルギー科 60(3):330–339
Kukita A, Kukita T.	Multifunctional properties of RANKL/RANK in cell differentiation, proliferation and metastasis.	Future Oncol. 9(11):1609–22.
Kukita A, Kukita T.	Multifunctional properties of RANKL/RANK in cell differentiation, proliferation and metastasis.	Future Oncol. 9(11):1609–22.
小荒田秀一、多田芳史	SLE の病因・病態と自然免疫	リウマチ科 50:525–534
尾山純一、野出孝一	アトピーとサイエンスの心臓血管病医療を目指す	佐賀大学 GUIDE BOOK 2014, 17
増岡 美穂、出原 賢治	アトピー性皮膚炎の原因タンパク質	Dental Diamond, 38(1), 86–90
増岡 美穂、出原 賢治	アトピー性皮膚炎の慢性化とペリオスチン	感染・炎症・免疫, 43(1), 10–19
山本 忍	エチルベンゼン (直接捕集法)	作業環境, 34,
○太田 昭一郎、谷口 一登、有馬 和彦、鈴木 章一、白石 裕士、増岡 美穂、出原 賢治	オーダーメイド医療を目指したアレルギー疾患における病院診断システムの確立—アトピー性皮膚炎の新規バイオマーカーの同定と血中濃度解析—	臨床病理, 61(3), 247–255
木村晋也	がん分子標的薬の開発、有効利用	九州薬学会会報, 67: 1–6
多田 芳史	成人 Still 病に対するアナキナラの効果	リウマチ科 50:233–237
多田 芳史	全身性エリトマトーデスと IRF5	臨床・免疫アレルギー科 59:104–109
吉田裕樹	トリパノソーマ感染防御における IL-17 の役割	臨床免疫・アレルギー科 60:340–345.
木村晋也	ビスホスホネートによる骨転移治療.	外来化学療法, 4(1): 13–17

○太田 昭一郎, 出原 賢治	ペリオスチン 臨床応用の可能性	アレルギー62(6), 652-664,
増岡 美穂, 出原 賢治	ペリオスチン	日小皮会誌, 32(1), 71-73,
宮本比呂志	レジオネラ感染症	化学療法領域 2013 年増刊号 新興・再興感染症 up to date VOL.29, 96-104
○太田 昭一郎, 出原 賢治	間質性肺炎の新規バイオマーカー:ペリオスチン	臨床化学 42, 346-353,
出原 賢治	基礎医学	アレルギー 42,25-28
出原 賢治, 太田 昭一郎, 有馬 和彦, 鈴木 章一, 稲光 正子, 山本 健一	基礎研究の炎症疾患診断薬・治療薬開発への応用	臨床病理, 61(10),900-908
出原 賢治, 川崎 誠司, 田中 真一	基礎的性能評価	臨床免疫・アレルギー科, 59(6), 696-703
出原 賢治	気管支喘息の病態に関する基礎研究のカットングエッジに迫る	Respiratory Medical Research 1(1),14-18
出原 賢治, 鈴木 章一, 有馬 和彦, 稲光 正子, 山本 健一, 増岡 美穂, 太田 昭一郎	気管支喘息の分子病態	アレルギー・免疫,20(7), 958-964,
片桐菜々子, 宮本比呂志	細菌の分類と同定(4)新菌種提案の実例- <i>Legionella impletisoli</i> と <i>Legionella yabuuchiae</i> -	防衛学会誌 VOL.41, NO.2, 107-112
*野田岩男、安藤嘉基、宮本比呂志、塚本正紹、秋山隆行、馬渡正明	細菌付着阻害能を有する抗菌性生体材料の開発	整形・災害外科 VOL.56, 802-803
錦戸利幸、野出孝一	時間降圧療法の有効性	Heat View, 17(8):104-109
*鈴木 宗村、琴岡 憲彦、佐久間 理吏、野出孝一、入江 裕之	心三腔像 MR 速度ベクトルマップによる左室拡張期血流パラメータ測定の検討	日独医報 57(2):211
琴岡 憲彦、野出 孝一	心電図リテラシーQ&A 完全右脚ブロックに軸偏位を伴った場合、どのような病態を考えますか?	CIRCULATION Up-to-Date, 8(3):357-361
木村晋也	新たな第 2 世代 ABL TKIs の基礎と臨床	血液内科, 67(2):152-158
野出孝一、小松愛子、浅香真知子、坂本佳子、兒玉和久、樋渡敦、道下竜馬	生活習慣病のは正による血管不全改善効果	日本臨床生理学会雑誌, 42(6):225-233
木村晋也	全自動遺伝子解析装置と肺がん治療	生物試料分析学会雑誌, 36(3):245-251,
吉田裕樹, 平瀬徹明	動脈硬化と慢性炎症	Vascular Medicine 9:187-191.
田中 淳、原英夫	認知症と HIV 感染	HIV 感染症と AIDS の治療 4 18-24
坂田資尚、藤本一真	微熱・高熱・不明熱、消化器感染	臨牀と研究 90:1049-1053
増岡 美穂, 出原 賢治	慢性アレルギー性炎症におけるペリオスチンの役割 アトピー性皮膚炎の新しい治療薬としての期待.	化学と生物, 51(5), 274-276
K.Ohto	Molecular Design and Metal Extraction Behavior of Calixarene Compounds as Host Extractants	Ion Exch. Solv. Extr.
花本猛士	新規な含フッ素ビルディングブロックとしての β -(トリフルオロメチル)ピニルスルホニウム塩の合成と反応	Fluorine
Hirota Kensuke, Hanamoto Takeshi	2-Aryl-3-fluoro-5-silylthiophenes via a [2,3]-Sigmatropic Rearrangement	Synfacts
森貞 真太郎	フロンティア研究シリーズ アミン改質タンニンゲルによる貴金属イオンの吸着	粉体工学会誌
新戸浩幸, 森貞真太郎	計算機粉体工学の課題と展望 3. 分子スケールのシミュレーション	粉体工学会誌
川喜田英孝	バイオマス廃棄物による選択的で高容量な金イオンの回収	配管技術
大石祐司、生貝初	脂質単分子膜上での毒素タンパク質による孔形成挙動	オレオサイエンス
永田真紀, 鈴木章弘	光質が根粒菌の感染を制御する-ファイトクロムシグナリングを介した根粒形成のメカニズム	化学と生物
徳田 誠	伊豆諸島の虫えい形成タマバエ相	昆虫と自然
神代 瞬・徳田 誠	ゴール形成機構解明のモデル実験系としてのイネ科作物とフタテンチビヨコバイ	昆虫と自然
徳田 誠	研究対象としてのゴール形成昆虫の魅力	昆虫と自然
徳田誠	虫こぶ・虫えい ―昆虫がつくる植物の奇形―	農業および園芸

招待講演・特別講演(学会シンポジウム等での講演を含む)

発表者	会議等名	題目
高椋利幸, 原横宏樹, 下村拓也, 梅木辰也	7Li, 23Na NMR で解明する塩化アルカリ・アセトニトリル-水混合溶液の相分離	第 36 回溶液化学シンポジウム, 札幌
T. Takamuku	Meso- and Microscopic Behavior of Ionic Liquids in Molecular Liquids	EMLG/JMLG Annual Meeting 2013, Lille, France
Hanamoto Takeshi	Synthetic Applications of β -(Trifluoromethyl)vinyl Sulfonium Salt	The 4th Japan-Korea-China Joint Seminar on Fluorine Chemistry, Winc Aichi, Nagoya, Japan, April 10-12, 2013
花本猛士	不飽和結合を有する含フッ素有機分子の合成と反応	日本化学会九州支部平成25年度第1回講演会
森貞真太郎	両親媒性分子水溶液の新規な分子シミュレーション	第 16 回連携大学院産学官交流セミナー
森貞真太郎	液相吸着の基礎と応用	第 22 回吸着シンポジウム: 吸着夏の学校

森貞真太郎	水溶液中における両親媒性分子集合体の新規な分子シミュレーション	化学工学会第 45 回秋季大会
石渡洋一	放射光を用いた遷移金属酸化ナノ材料の電子構造解析	第 3 回九州若手セラミックフォーラム & 第 43 回窯業基礎九州懇話会
K. Ohto	Extractive Recovery of Rare Metals by Using Microreactor System with Macrocyclic Host Compounds	Seminar at Universitas Gadjah Mada
K. Ohto	Novel ion-exchange resins containing calix[4]arene tetraacetic acid derivatives for selective lead(II) removal	Seminar at Universitas Gadjah Mada
K. Ohto, JeeYoung Kim, Shintaro Morisada, Masatoshi Maeki, Kenichi Yamashita, Masaya Miyazaki	Microreactor extraction system with macrocyclic host compounds for rare metal recovery	ICMR 2013(7th International Conference on Materials Engineering for Resources)
大渡啓介	カリックスアレーンテトラ酢酸誘導体を組み込んだ4種の樹脂による鉛の吸着	クラレ研究打合せ説明会
K.Ohto	Preparation of Novel Resins Containing Tetraacetic Acid Type of Calix[4]arene and Their Lead Adsorption Behaviour	Keynote Lecture at Memorial University and Newfoundland, St. John's
Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Blue Light-Emitting Monomers	Invited Lecture at Key Laboratory of Macrocyclic and Supramolecular Chemistry of Guizhou Province, Guizhou University, China, 2014 年 3 月 20 日
5. Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Blue Light-Emitting Monomers	Invited Lecture at Chinese University of Hong Kong, Hong Kong, 2014 年 3 月 18 日
Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Blue Light-Emitting Monomers	Invited Lecture at National Chiao Tung University (Hsinchu, Taiwan), 2014 年 1 月 7 日
Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Blue Light-Emitting Monomers	Invited Lecture at National Central University, (Taoyuan, Taiwan), 2014 年 1 月 6 日
Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Blue Light-Emitting Monomers	Invited lecture at The 15th Asian Chemical Congress (ACC) (Singapore), 2013 年 8 月 19-24 日
Takehiko Yamato	Ditopic receptors based on lower- and upper-rim substituted hexahomotrioxacalix[3]arenes	
Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Blue Light-Emitting Monomers	Invited lecture at 2nd International Workshop on Polymer Chemistry and Materials Sichuan Normal University Chengdu (China), 2013 年 6 月 13-15 日
永尾晃治	オメガ 3 脂肪酸の栄養化学	2014 年度日本農芸化学会大会シンポジウム
永尾晃治	大豆の機能性と生活習慣病の予防・改善	「徐福フロンティアラボ」ミニシンポジウム
永尾晃治	食環境によるアディポサイトカイン産生調節を介したメタボリックシンドロームの予防・改善に関する研究	第 2 回三島海雲学術受賞講演会
Mitsutomi, M.	Enzymatic preparation of hetero-chitooligosaccharides	
徳田 誠	[平成 25 年度(第 12 回)日本農学進歩賞受賞講演]	難防除害虫の分類・同定と生態特性の解明および防除技術の確立

一般講演

発表者	題目	学会(会議等)名
Hikichi Y, Yoshioka G, Kakimoto Y, Tago M, Nagatomo D, Uchino M, Hiwatashi A, Kodama K, Shimomura M, Sakuma M, Asaka M, Komatsu A, Oyama JI, Kotooka N, Node K	Stenting Technique for Left Main Coronary Artery Stenosis can be Improved. Suggestion Raised from Bench Test Evaluation	第 77 回日本循環器学会学術集会
小宮一利、末次隆行、海老規之、福田実、徳永章二、佐々木治一郎、一瀬幸人	「あなたが EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌だったら EGFR-TKI と化学療法どちらを選びますか？」多施設ビネット調査 (LOGIK0903)	第 72 回日本癌学会学術総会
*Kimura D, Miyakoda M, Kimura K, Honma K, Hara H, Hori S, Yoshida H, Yui K	IL-27 is produced by CD4+ T cells during infection with malaria parasites and inhibits protective immune responses.	第 42 回日本免疫学会学術集会 日本、千葉
*Hirase T, Fujimoto H, Hiromitsu H, Yoshida H, Node K	Interleukin 27 inhibits hepatic steatosis induced by high fat diet in mice.	Cell Symposia; Immunometabolism: from Mechanisms to Therapy.
* 岩根紳治、小平俊一、蒲池紗央里、岡田倫明、磯田広史、大枝敏、中下俊哉、河口康典、江口有一郎、尾崎岩太、水田敏彦	PEG-IFN+RBV の 2 剤治療で治療可能な症例の選別と BCAA の併用効果について	第 101 回日本消化器病学会九州支部例会
Xia J, 尾崎岩太, Qi J, 桑代卓也、岩根紳治、井手康史、江口有一郎、水田敏彦、安西慶三、松橋幸子	Protein kinase C(PKC)による低酸素誘導 HIF-1 誘導増強効果と Vitamin K2による調節	第 49 回日本肝臓学会総会

Fumika M	Sulfate activation pathway of <i>Entamoeba</i> mitosomes	Matryoshka-type Evolution of Eukaryotic Cells
水田敏彦、岩根紳治、河口康典、藤本一真	インスリン抵抗性を有するC型慢性肝炎に対する減量介入はIFN治療効果を改善する	第34回日本肥満学会
中城博子、末松梨絵、貞永裕梨、永尾奈津美、田代知子、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	エルトロンボバグが有効であったシェーグレン症候群に伴う血小板減少の一例	第46回九州リウマチ学会
水田敏彦、井手康史、磯田広史、岩根紳治、高橋宏和	肝硬変における異常血糖変動と眠前補食(LES)の功罪	第15回佐賀NST研究会
井手康史、磯田広史、小平俊一、蒲池紗央里、中下俊哉、岩根紳治、大枝敏、河口康典、江口有一郎、尾崎岩太、水田敏彦	肝硬変患者の補正HbA1c算出式の作成とその有用性の検討	第17回日本肝臓学会大会
中下俊哉、蒲池紗央里、小平俊一、岩根紳治、井手康史、大塚大河、江口有一郎、川添聖治、安西慶三、尾崎岩太、水田敏彦	進行肝細胞癌に対する化学療法におけるビタミンK2のアジュバント効果	第49回日本肝臓学会総会
*劉 林祥、水口昌伸、北野 庸、野口智幸、入江裕之、高瀬ゆかり	0-III型および類似形態をとる胃癌のCT診断	第176回日本医学放射線学会九州地方会
藤田亜美、徐 年香、蔣 昌宇、羅 清甜、康 欽、八坂敏一、大坪瀬奈、松下晋大、熊本栄一	1,8-および1,4-シネオールは成熟ラット脊髄膠様質ニューロンのグルタミン酸作動性の自発性興奮性シナプス伝達を促進する。	第36回日本神経科学大会
副島英伸、東元健、八木ひとみ、青木早織、鮫島梓、齋藤滋、夫律子、中山雅弘、坂口勲、大場隆、片淵秀隆	11p15インプリンドメインのメチル化異常を認めた間葉性異形成胎盤の1例	第20回遺伝性疾患に関する出生前診断研究会
江頭秀一、河野俊介、秋山隆行、塚本正紹、北島将、園畑素樹、馬渡正明、堀川悦夫	3次元動作解析装置を用いた片側変形性股関節症患者における体幹・骨盤運動の評価	第43回日本人工関節学会
Koichiro Takahashi, Go Kato, Shinya Kimura and Shinichiro Hayashi	A pilot study for markers which can reflect asthmatic activity before and after reduction of inhaled corticosteroids	European Respiratory Society, International Congress 2013 in Barcelona
*Moriyama K., Kukita A., Li Y-J., Qu P-F., Takahashi I., Kukita T.	A possible regulation of osteoclast differentiation by galectin-9.	Joint meeting of the international Bone and Mineral Research and the Japanese Society for Bone and Mineral Research
Yasaka T, Tiong SYX, Polgár E, Fujita T, Kumamoto E, Todd AJ	A subset of lamina II excitatory interneuron relaying low-threshold mechanoreceptive input to lamina I projection neurons in the rat spinal cord.	Neuroscience 2013 – Society for Neuroscience the 43rd Annual Meeting.
Uematsu T, Iizasa E, Kobayashi N, Yoshida H, Hara H	Activation of innate immunity through the CARD9 pathway is involved in severe influenza pneumonia.	15th International Congress of Immunology
Kubota M, Iizasa E, Kiyohara H, Nakama Y, Hara H, Yoshida H	Adjuvant activity of Mycobacterium tuberculosis-derived mycolic acid through activation of the ITAM receptor/CARD9-mediated innate immunity.	第42回日本免疫学会学術集会、日本、千葉。
加地崇裕、松本明子	Aldh2欠損により生じるエタノール長期曝露後の皮膚色素沈着	16回Aldh2ノックアウトマウス学会
Hiroshi Inoue, Go Kato, Koichiro Takahashi and Shinichiro Hayashi	An analysis of factors related to exercise tolerance in severe COPD patients	American Thoracic society International conference 2013 in Philadelphia
Koichiro Takahashi, Go Kato and Shinichiro Hayashi	An analysis of factors which predict response after reduction of inhaled corticosteroid in stable asthmatic patients	American Thoracic society International conference 2013 in Philadelphia
Hideo Hara, Takayuki Oka, Masanori Masuda	An autopsy case of Perry syndrome with DCTN1 156T>A mutation.	XXIth World Congress of Neurology
Hara H, Yasukawa S, Natsuaki Y, Kabashima K, Furue M, Yoshida H	Analysis for the role of Syk-CARD9-regulated IL-1 secretion pathway in DCs in contact hypersensitivity by the mixed-chimera diphtheria toxin receptor (DTR)-mediated conditional cell knockout (MixC-Treck) method, a novel method for conditional gene targeting in mice.	第42回日本免疫学会学術集会、日本、千葉。
Nagao N, Sadanaga Y, Tashiro S, Suematsu R, Koarada S, Ohta A, Tada Y	Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis Associated With Systemic Sclerosis In Japan: A Review Of The Literature	American College of Rheumatology annual meeting
Po Yee Mak, Duncan H Mak, Kensuke Kojima, Archana Dilip, Vivian R Ruvo, Rodrigo Jacamo, Michael Andreeff, and Bing Z Carter	ARC Suppresses Cell Death By Antagonizing p53 Function and Suppressing TRAIL In AML Cells	
宮崎仁美、東元 健、矢田有加里、遠藤高帆、Sharif Jafar、小森敏治、松田正史、古閑庸子、中山学、副島英伸、半田宏、古閑明彦、広瀬進、西岡憲一。	Ash11 methylates Lys36 of histone H3 independently of transcriptional elongation to counteract Polycomb silencing.	第36回日本分子生物学会年会
*Nagasaki T, Matsumoto H, Kanemitsu Y, Izuhara K, Tohda Y, Kita H, Horiguchi T, Kuwahara K, Tomii K, Otsuka K, Fujimura M, Ohkura N, Tomita K, Yokoyama A, Ohnishi H, Nakano Y, Oguma T, Hozawa S, Ito I, Oguma T, Tajiri T, Iwata T, Izuhara Y, Ono J, Ohta S, Niimi A, Mishima M.	Asthma phenotypes with rapid decline in lung function.	ERS Annual Congress 2013
ちーじんえん、高橋宏和、浜島弘史、夏 京合、水田敏彦、安西慶三、尾崎岩太、松橋幸子	BCAA(Branched Chain Amino Acids)はPDCD4がん抑制遺伝子の発現を上昇させる	第36回日本分子生物学会年会

副島英伸	Beckwith-Wiedemann 症候群と関連疾患におけるゲノム・エピゲノム異常	日本人類遺伝学会第 58 回大会
前田寿幸、東元健、中林一彦、城崎幸介、八木ひとみ、緒方勤、秦健一郎、副島英伸	Beckwith-Wiedemann 症候群におけるインプリント DMR のマルチローカスメチル化解析	第 7 回日本エピジェネティクス研究会年会
*Yamamoto H, Nakamura Y, Sato K, Matsumura K, Ishii K, Hara H and Kawakami K	CARD9-mediated innate IFN- γ production and host defense to cryptococcal infection.	第 42 回日本免疫学会学術集会、日本、千葉
Luo Q-T, Fujita T, Jiang C-Y, Kang Q, Ohtsubo S, Matsushita A, Xu Z-H, Kumamoto E	Carvacrol enhances spontaneous excitatory transmission and produces outward current in adult rat superficial dorsal horn neurons.	The 5th Asian Pain Symposium.
石川 慎一郎、平田 憲、中林 條、岩切 亮、沖波 聡	caspase3 に対する siRNA の網膜視神経細胞保護効果の虚血時間による検討	第 117 回日本眼科学会
Jiang C-Y, Fujita T, Ohtsubo S, Matsushita A, Xu Z-H, Kumamoto E	Cellular mechanisms for inward currents produced by oxytocin in adult rat spinal superficial dorsal horn neurons.	The 4th Asia-Pacific International Peptide Symposium.
* 中村 恵、斧沢 幸司、大塚 伸、高島 毅、岸 知哉、宮園 素明、池田 裕次、酒見 隆信	CKD における腎臓専門医介入の意義	第 56 回日本腎臓学会学術総会
Sakuma M, Hikichi Y, Shimomura M, Kotooka N, Oyama JI, Node K.	Clinical and Angiographic Progression of Non-target Lesion after Percutaneous Coronary Intervention: Retrospective Analysis	第 77 回日本循環器学会学術集会
井原 秀之、池田 義孝	Cloning, expression and characterization of silkworm a1,6-fucosyltransferase.	第 86 回日本生化学会大会
*James A, Ono J, Kupczyk M, Ohta S, Izuhara K, Dahlen SEK	Controlled oral steroid intervention decreases serum levels in asthmatic patients.	ATS 2013 International Conference.
高橋浩一郎	COPD 治療最前線～COPD を見つけたら～	平成 25 年度佐賀県肺がん対策医会セミナー
田中智子、二尾健太、山口太輔、坂田資尚、岩切龍一、藤本一真、岸 知哉、内橋和芳、青木茂久	Crohn 病に伴う続発性アミロイドーシスに対してジメチルスルホキシドを併用した集学的治療が奏功した 1 例	第 102 回日本消化器病学会九州支部例会
*松村香葉、中村優里、山本秀輝、佐藤光、石井恵子、山崎晶、原博満、安達禎之、大野尚仁、川上和義	Cryptococcus neoformans と C-type lectin receptors との相互作用	第 22 回日本生体防御学会、日本、熊本
* 岩根紳治	C 型慢性肝炎に対するペガシス/コペガス併用療法の効果	佐賀肝疾患治療戦略研究会
○Abe O, Yoshihara M, Kubota Y, Sueoka E, Kamachi K, Kitamura H, Itamura H, Nishi M, Shindo T, Fukushima N, Hamasaki Y, Kimura S	Deferasirox in iron-overloaded patients with hematologic diseases at Saga University Hospital	第 75 回日本血液学会学術集会
Luo Q-T, Fujita T, Jiang C-Y, Kang Q, Yasaka T, Ohtsubo S, Matsushita A, Kumamoto E	Effect of carvacrol on glutamatergic spontaneous excitatory transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.	Neuroscience 2013 – Society for Neuroscience the 43rd Annual Meeting.
Shiraki A, Kodama K, Jun-ichi Oyama, Node K.	Effect of Diabetic Agent on Cardiovascular Failure in Japanese Patients	第 77 回日本循環器学会学術集会
Sakuma M, Kotooka N, Mizuma H, Kuwabara Y, Sato Y, Fujimatsu D, Takano H, Inoue T, Komuro I, Node K.	Effectiveness of therapy with pitavastatin is associated with plasma interleukin-8 levels and improved cardiovascular outcomes in patients with chronic heart failure.	European Society of Cardiology 2013
Odagiri F, Inoue H, Sugihara M, Suzuki T, Murayama T, Shioya T, Konishi M, Nakazato Y, Daida H, Sakurai T, Morimoto S, Kurebayashi N	Effects of angiotensin II receptor blocker on the progression of electrical remodeling in hearts of inherited DCM model mice.	57th Biophysical Society Annual Meeting.
*Komuro I, Takano H, Mizuma H, Kuwabara Y, Sato Y, Shindo S, Kotooka N, Fujimatsu D, Kobayashi Y, Inoue T, Node K.	Effects of Pitavastatin on Japanese Patients With Chronic Heart Failure –The Pitavastatin Heart Failure Study (PEARL Study)–	第 77 回日本循環器学会学術集会
*Kubota A, Takano H, Mizuma H, Kuwabara Y, Sato Y, Kotooka N, Inoue T, Node K, Komuro I, Kobayashi Y.	Effects of pitavastatin on Japanese patients with chronic heart failure: a subanalysis of the PEARL.	European Society of Cardiology 2013
*Tajiri T, Matsumoto H, Hiraumi H, Ikeda H, Morita K, Izuhara K, Ono J, Ohta S, Ito I, Oguma T, Nakaji H, Inoue H, Iwata T, Nagasaki T, Kanemitsu Y, Ito J, Niimi A, Mishima M	Efficacy of omalizumab in asthmatic patients with eosinophilic chronic rhinosinusitis or eosinophilic otitis media.	ATS 2013 International Conference.
梅口仁美、荒金尚子、小林直美、中村朝美、小宮一利、井上周、高橋浩一郎、林真一郎、木村晋也	EGFR-TKI 獲得耐性例での血漿 T790M 変異、HGF 値モニタリング	第 53 回日本肺癌学会九州支部総会、第 36 回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会
中村朝美、荒金尚子、小宮一利、小林直美、林真一郎、末岡榮三郎、木村晋也	EGFR-TKI 再投与症例における血漿 DNA を用いた EGFR 遺伝子変異モニタリング	第 54 回日本肺癌学会
*牧内 貴志、見市 文香、津久井 久美子、橋裕司、野崎 智義	<i>Entamoeba</i> マイトソームのタンパク質輸送機構	第 36 回日本分子生物学会年会、日本、神戸
*牧内 貴志、見市 文香、津久井 久美子、橋裕司、野崎 智義	<i>Entamoeba</i> マイトソームのタンパク質輸送機構	日本進化学会第 15 回つくば大会(シンポジウム)、日本、筑波
Hara H, Yasukawa S, Yoshida H, Furue M	Essential role of ITAM-Syk-IL-1 axis in skin dendritic cells for the sensitization of allergic contact dermatitis.	15th International Congress of Immunology
Masaru Ide, Shinichi Koba, Yumi Nagano, Naoko Aragane-Sueoka, Akemi Sato, Takuya Inoue, Naomi Kobayashi, Noriyuki Misago, Yutaka Narisawa, Shinya Kimura, Eisaburo Sueoka.	Establishment of a rapid and automated detection system for <i>BRAF</i> mutations in malignant melanoma.	American Association for Cancer Research Annual Meeting 2013

Naoko Aragane, Akemi Sato, Naomi Kobayashi, Masaru Ide, Eisaburo Sueoka, Seiji Okada, Shinya Kimura.	Establishment of animal model for metastasis of human lung cancers using NOJ/SCID mice.	American Association for Cancer Research Annual Meeting 2013
Akemi Sato, Naoko Aragane, Naomi Kobayashi, Masaru Ide, Masako Yoko, Yumi Nagano, Eisaburo Sueoka, Seiji Okada, Shinya Kimura.	Establishment of animal model for metastasis of human lung cancers using NOJ/SCID mice.	72 th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
Kukita A., Funakubo N., Shobuike N., Kukita T.	Establishment of mouse macrophage reporter cell lines which express fluorescent properties under the control of cathepsin K promoter and analysis of osteoclast differentiation	Joint meeting of the international Bone and Mineral Research and the Japanese Society for Bone and Mineral Research
Tong H, Iizasa E, Hara H, Yoshida H	Exacerbation of delayed-type hypersensitivity responses in mice with T cell-specific deletion of Apaf1.	第 42 回日本免疫学会学術集会. 日本, 千葉.
Yasaka T, Hughes DI, Tiong SYX, Polgár E, Fujita T, Kumamoto E, Riddell JE, Todd AJ	Excitatory and inhibitory spinal lamina II interneurons that receive inputs from putative low-threshold mechanoreceptors in adult rats.	The 5th Asian Pain Symposium.
Kuwashiro T, Ozaki I, Matsuhashi S, Ide Y, Otsuka T, Mizuta T, Anzai K	Extracellular matrices (ECMs) weaken the interferon- α (IFN- α) signaling through the modulation of nuclear factor kappa B (NFkB) signaling.	The 20th Annual Meeting of the Japanese Society for the Research of Hepatic Cells (第 20 回肝細胞研究会)
坂田資尚, 下田 良, 藤本一真	GERD 診療と内視鏡—Minimal change の臨床的意義について: 若年健康成人における minimal change 食道炎の検討	第 85 回日本消化器内視鏡学会総会
Hisadome K, Teramoto N	Glucose-induced excitation of GLP-1 releasing neurons	第 86 回 日本薬理学会年会
東元 健, 城崎幸介, 八木ひとみ, 古庄知己, 松原圭子, 山田大輔, 前田寿幸, 大塚泰史, 古関明彦, 緒方勤, 副島英伸	H19DMR メチル化異常で発症するインプリント疾患における H19DMR の変異解析	第 7 回日本エピジェネティクス研究会年会
峯崎晃充, 北村浩晃, 久保田寧, 進藤岳郎, 久富崇, 高橋浩一郎, 蒲池和晴, 吉原麻里, 板村英和, 福島伯泰, 末岡榮三朗, 木村晋也	Hairy cell leukemia variant に間質性肺炎を合併した 2 例	第 3 回日本血液学会九州地方会
Iyadomi M, Hara T, Ichiba M, Tsumumi A	Hazardous alcohol drinking and metabolic syndrome risk in Japanese male workers.	Sixth ICOH International Conference on Work Environment and Cardiovascular Diseases
○三宅 修輔, 北島 吉彦, 中村 淳, 甲斐 敬太, 柳原 五吉, 田中 智和, 能城 浩和	HIF-1 α はスクリス胃癌の脈管形成を促進し腹膜播種を増強させる	第 85 回日本胃癌学会総会
Ifonso Quintás-Cardama, Sean M. Post, Kensuke Kojima, Yi Hua Qiu, Michael Andreeff, Carlos E. Bueso-Ramos, and Steven M. Kornblau	High p53 Protein Expression LEVEL Independent Of Mutational Status Is An Adverse Prognostic Factor For Survival In ACUTE Myeloid Leukemia	
Asaka M, Kotooka N, Hizuma H, Sato Y, Fujimatsu D, Kuwabara Y, takano H, Inoue T, Komuro I, Node K.	High-sensitivity assay of plasma cardiac troponin T predicts the effects of pitavastatin in patients with chronic heart failure: a sub-group analysis from the pitavastatin heart failure study (PEARL).	European Society of Cardiology 2013
Kazuyoshi Uchihashi, Toshiyuki Tsuruta, Hiroko Mine, Shigehisa Aoki, Aki Nishijima-Matsunobu, Mihoko Yamamoto, Shuji Toda	Histopathology of Tenosynovium from Trigger Fingers	2nd World Congress on Controversies, Debates & Consensus in Bone, Muscle & Joint Diseases
原めぐみ, 南里妃名子, 西田裕一郎, 中村和代, 今泉猛, 坂本龍彦, 堀田美加子, 桧垣靖樹, 田口尚人, 新地浩一, 田中恵太郎	hOGG1 遺伝子の Ser326Cys 多型と空腹時血糖との関連.	第 23 回日本疫学会学術総会
Kotooka N, Asaka M, Nagatomo D, Node K.	Home Telemonitoring for Japanese Patients with Chronic Heart Failure.	第 17 回日本心不全学会学術集会
Iizasa E, Miyamoto T, Uematsu T, Ishikawa T, Yamasaki S, Yoshida H, Hara H	Identification and analysis of two novel pattern recognition receptors for Mycobacterium tuberculosis.	The joint international meeting of the 78th meeting of the Japanese society of interferon and cytokine research + the 21st international symposium on molecular cell biology of macrophages.
Funakubo N., Kukita T., Nakamura S., Kukita A.	Identification and functional analysis of osteoclast-specific genes differentially expressed in mononuclear preosteoclasts and multinuclear osteoclasts.	Joint meeting of the international Bone and Mineral Research and the Japanese Society for Bone and Mineral Research
Iizasa E, Uematsu T, Matuzaki G, Yamasaki S, Yoshida H, Hara H	Identification of an ITAM-coupled pattern recognition receptor that recognizes the mycobacterial cell wall component mycolic acids.	第 42 回日本免疫学会学術集会. 日本, 千葉.
Iizasa E, Miyamoto T, Uematsu T, Ishikawa T, Yamasaki S, Matsuzaki G, Yoshida H, Hara H	Identification of novel innate pattern recognition receptors for mycobacterium tuberculosis.	15th International Congress of Immunology
小荒田 秀一	IFX10年の歩みを振り返る症例報告・IFX 治療成績	佐賀レケート'関節リウマチ' 10 周年ユーザズミーティング
小荒田秀一, 田代知子, 永尾奈津美, 末松梨絵, 副島幸子, 春田善男, 大田明英, 多田芳史	IgG4 関連疾患における RP105 陰性 B 細胞の解析	第 57 回日本リウマチ学会総会・学術集会
小荒田秀一, 田代知子, 貞永裕梨, 永尾奈津美, 大田明英, 多田芳史	IgG4 関連疾患における RP105 陰性 B 細胞比率と疾患活動性の関連	第 41 回日本臨床免疫学会総会

Hara H, Yasukawa S, Furue M, Yoshida H	IL-1 released by skin dendritic cells activated through Syk and CARD9 pathway is essential for the sensitization of allergic contact dermatitis.	IMMUNOLOGY 2013 AAI Annual Meeting
Sato Y, Hara H, Suzuki S, Kaisho T, Yoshida H	IL-27 affects helper T cell response via regulation of PGE2 production by macrophages.	The joint international meeting of the 78th meeting of the Japanese society of interferon and cytokine research + the 21st international symposium on molecular cell biology of macrophages.
Sato Y, Hara H, Suzuki S, Kaisho T, Yoshida H	IL-27 affects helper T cell response via regulation of PGE2 production by macrophages.	Inaugural meeting of the international cytokine and interferon society (ICIS).
Sato Y, Hara H, Suzuki S, Kaisho T, Yoshida H	IL-27 affects helper T cell responses via regulation of PGE2 production by macrophages.	15th International Congress of Immunology
Emi Tabata, Masanori Masuda, Makoto Eriguchi, Masatoshi Yokoyama, Yoshiyuki Takahashi, Keiko Tanaka, Motohiro Yukitake, Etuo Horikawa, Hideo Hara, MD, PhD.	Immunopathological significance of ovarian teratoma in patients with anti-N-methyl-D-aspartate receptor encephalitis	World Congress of Neurology – Wien 2013
Honda Y, Koike K, Masuko S, Ando S	In vitro assembly of human hair keratin intermediate filaments: Combination of Keratin proteins and their properties	7th World congress for Hair Research
Mariko Yoshimura, Jo Ishizawa, Archana Dilip, Sharon Shacham, Michael Kauffman, Yoko Tabe, Shinya Kimura, Michael Andreeff, and Kensuke Kojima	Induction Of p53 Transcription and Apoptosis By XPO1 Inhibition In Mantle Cell Lymphoma	
Yoshimura M, Ishizawa J, Dilip A, Ruvolo V, Quintas-Cardama A, McDonnell TJ, Neelapu SS, Kwak LW, Shacham S, kauffman M, Tabe Y, Yokoo M, Kimura S, Andreeff M, Kojima K	Induction of p53 Transcription and Apoptosis by XPO1 Inhibition in Mantle Cell Lymphoma.	The 55th Annual Meeting of the American Society of Hematology
井上周、高橋浩一郎、小池このみ、梅口仁美、小宮一利、中村朝美、荒金尚子、林真一郎	Infliximab 投与中に重症肺炎球菌肺炎を発症した一例	第 71 回日本呼吸器学会・日本結核病学会 九州支部秋季学術講演会
寺本智美、田中雄一郎、樋高秀憲、芥川加代、坂田資尚、藤本一真	Intensive GCAP が奏功した高齢発症 Crohn 病の 1 例	第 102 回日本消化器病学会九州支部例会
Yoshida H, Hirase T, Hara H, Node K	Interleukin 27 inhibits atherosclerosis via immunoregulation of macrophages in mice.	Autoimmunity Congress Asia
Taniguchi K, Yamamoto S, Hitomi E, Inada Y, Suyama Y, Sugioka T, Hamasaki Y	Interleukin-33 is induced by tumor necrosis factor- α and interferon- γ in keratinocytes, and contributes to allergic contact dermatitis.	第 50 回日本小児アレルギー学会
Sidaway P, Bowen J, Caputo F, Teramoto N, Brain KL	Kv7 channel activation reduces spontaneous excitability of mouse isolated detrusor smooth muscle, whilst leaving stimulus evoked contraction unaffected	第 86 回 日本薬理学会年会
今村 利彦, 立部 辰徳, 滝川 晃一, 松尾 一隆, 三浦 信子, 井手 敏裕, 青木 茂久, 牧野 順一, 牧野 邦司郎	KYT を活用した透析看護症例の検討	第 58 回日本透析医学会学術集会・総会
Ozaki I, Hamajima H, Xia J, Qi J, Mizuta T, Anzai K, Matsushashi S	Mitogen- and phosphorylation site-specific degradation mechanisms of tumor suppressor PDCD4 in human HCC cells.	AASLD 64rd The Liver Meeting 2013.
甲斐 敬太, 増田 正憲, 高瀬 ゆかり, 徳永 藏	Mitotic count は T3 胆嚢癌の強力な予後因子である	第 102 回 日本病理学会 総会
Jiang C-Y, Fujita T, Luo Q-T, Kang Q, Ohtsubo S, Matsushita A, Kumamoto E	Modulation by oxytocin of excitatory and inhibitory synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.	Neuroscience 2013 – Society for Neuroscience the 43rd Annual Meeting.
Yoko Tabe, Kensuke Kojima, Linhua Jin, Hiroko Iwanami, Hiromichi Matsushita, Saiko Kazuno, Tsutomu Fujimura, Takashi Ueno, Takashi Miida, and Michael Andreeff	Molecular Mechanisms Of Inhibition Of Ribosomal Biogenesis and Translational Flux By The Selective Inhibitor Of Nuclear Export (SINE) XPO1/CRM1 Antagonist KPT-185 In Mantle Cell Lymphoma	
山本 忍, 天野 有康, 中村 正, 濱野 和可子, 森 浩司, 金村 茂, 廣瀬 隆穂, 木戸 誠二郎, 錦織 千賀, 竹嶋 淳, 関 顕, 杉山 浩貴, 山内 恒幸, 圓藤 陽子, 宮崎 博喜, 松本 明子, 市場 正良	N,N-ジメチルアセトアミドの生物学的モニタリング	第 86 回日本産業衛生学会
Ishikawa S, Hirata A, Nakabayashi J, Iwakiri R, Okinami S	Neuroprotective Effects Of Sirna, Targeted Caspase 3 On Rat Retinal Damage Induced By Different time course of Transient Ischemic Injury.	ARVO 2013 annual meeting.
佐藤明美、荒金尚子、小林直美、出勝、横尾眞子、末岡栄三朗、岡田誠治、木村晋也	NOJ/SCID マウスを用いたヒト肺がん転移モデルの確立.	第 17 回日本がん分子標的治療学会
Naoko Aragane, Tomomi Nakamura, Akemi Sato, Naomi Kobayashi, Kentaro Iwanaga, Kazutoshi Komiya, Toshiya Hosomi, Mitsuharu Hirai, Eisaburo Sueoka, Seiji Okada, Shinya Kimura.	Non-invasive monitoring system using circulating plasma DNA.	2 th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
S Aoki, T Takezawa, S Ikeda, A Oshikata, Y Narisawa, H Hirayama S Toda	Novel artificial skin consisting of collagen vitrigel combined with plastic film	World conference on regenerative medicine
Izuhara K	Novel biomarkers for severe asthma.	EAACI-WAO World Allergy & Asthma Congress

松尾 一隆, 三浦 信子, 今村 利彦, 井手 敏裕, 青木 茂久, 牧野 順一, 牧野 邦司郎	on line HDF 導入前後の臨床症状の変化	第 58 回日本透析医学会学術集会・総会
Jo Ishizawa, Kensuke Kojima, Archana Dilip, Vivian R Ruvo, Bing Z Carter, Joshua E Allen, Sattva S. Neelapu, Timothy J. McDonnell, Mala Kiran Talekar, Wafik S. El-Deiry, Larry W. Kwak, and Michael Andreeff.	ONC201 Exerts p53-Independent Cytotoxicity Through TRAIL and DR5 Induction In Mantle Cell Lymphomas	
Uchihashi K, Aoki S, Matsunobu A, Yamamoto M, Toda S.	Osteoblasts migrate into collagen gel and differentiate to osteocyte-like cells: a novel system for analyzing osteoblastic terminal differentiation	2nd Joint Meeting of the International Bone and Mineral Society and The Japanese Society for Bone and Mineral Research
*金光 禎寛, 伊藤 功朗, 新実 彰男, 松本 久子, 岩田 敏之, 出原 賢治, 太田 昭一郎, 小野 純也, 小熊 毅, 田尻 智子, 長崎 忠雄, 出原 裕美, 三嶋 理晃	osteopontin と periostin は喘息患者の長期予後の呼吸機能低下に寄与する	第 63 回日本アレルギー学会秋季学術大会
Hughes DI, Boyle KA, Shehab SA, Scott DT, Riddell JS, Callister RJ, Graham BA, Kumamoto E, Yasaka T	Parvalbumin-expressing cells provide presynaptic (axo-axonic) inputs on to myelinated afferents in the rat spinal dorsal horn.	Neuroscience 2013 – Society for Neuroscience the 43rd Annual Meeting.
Guo J, Xia J, Qi J, Kuwashiro T, Mizuta T, Ozaki I, Anzai K, Matsuhashi S	PDCD4 knockdown inhibits cell growth by interfering cell cycle regulators in hepatoma cells	第 36 回日本分子生物学会年会
岩根紳治、河口康典、水田敏彦	PEG-IFN+RBV2 剤で治療可能症例の選別と BCAA 併用効果	第 99 回日本消化器病学会総会
*Kanemitsu Y, Matsumoto H, Izuhara K, Tohda Y, Kita H, Horiguchi T, Kuwabara K, Tomii K, Otsuka K, Fujimura M, Ohkura N, Tomita K, Yokoyama A, Oh H, Nakano Y, Oguma T, Hozawa S, Nagasaki T, Ito I, Inoue H, Tajiri T, Iwata T, Izuhara Y, Ono J, Ohta S, Tamari M, Hirota T, Yokoyama T, Niimi A, Mishima M	Periostin associates with greater pulmonary function decline in asthmatic patients on treatment.	ATS 2013 International Conference.
Izuhara K	Periostin.	EAACI-WAO World Allergy & Asthma Congress
岡孝之, 増田正憲, 江里口誠, 小野南月, 雪竹基弘, 原英夫	Perry 症候群の1例検例	第 201 回日本神経学会 九州地方会
塩谷 孝夫	PMCA とカルシウムホール:新しいカルシウムシグナリングの機序	生理学研究所研究会「心血管膜輸送分子の構造・機能・病態の統合的研究戦略」
Connie Larsson, Kensuke Kojima, Yong Wang, Nicholas Navin, Miguel Gallardo, Daniel Primo, Jose L. Rojas, Joaquin Martinez, Taghi Manshouri, Hun Ju Lee, James E Bradner, Juan Ballesteros, Sean M.	Post, Guillermina (Gigi) Lozano, and Alfonso Quintás-Cardama. BET Bromodomain Inhibition Reduces Leukemic Burden and Prolongs Survival In The E μ -TCL1 Transgenic Mouse Model Of Chronic Lymphocytic Leukemia (CLL) Independent Of TP53 Mutation Status	
Takamatsu Y, Maeda T, Matsuo M, Higashimoto K, Kawashima M, Matsushima T, Soejima H.	Practical use of pyrosequencing analysis to detect Moyamoya disease susceptible gene RNF213 variant c.14576G>A.	3rd International Moyamoya Meeting
Tada Y, Koarada S, Suehatsu R, Tashiro S, Nagao N, Ohta A	Pro-Inflammatory and Anti-Inflammatory Roles Of Interferon Regulatory Factor 5 In The Development Of Collagen-Induced Arthritis	American College of Rheumatology annual meeting
出勝、荒金尚子、佐藤明美、木村晋也、末岡 栄三朗	Quenching probe 法を用いた BRAF 遺伝子変異検出システムの確立と本邦悪性黒色腫における BRAF 変異の臨床的特徴.	第 17 回日本がん分子標的治療学会.
久木田明子、久木田敏夫	RANKL により Venus を発現誘導するマクロファージレポーター細胞株の作成と破骨細胞分化の解析	第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会
○島居杏樹、松藤 彩、大田明英、夏目貴子、小荒田秀一、末松梨絵、田代知子、多田芳史	RA 及び SLE 患者における QOL、ソーシャルサポート、健康統制感についての研究	第45回九州リウマチ学会
Kawano H., Kakiyama N., & Masuko S.	Regional specificity in the median preoptic nucleus in view of targets of its projections	日本解剖学会総会
Shioya T.	Regulation of cardiac Na/Ca exchanger by local Ca signaling mediated by PMCA.	第 90 回日本生理学会大会
*Kabata H, Matsuoka M, Fukunaga K, Suzuki Y, Miyata J, Tanaka K, Masaki K, Mochimaru T, Ono J, Ohta S, Izuhara K, Asano K, Betsuyaku T	Relationship between serum periostin levels and severity/phenotype of Asthma.	ATS 2013 International Conference.
Morinaga H, Teramoto N	Roles of Kupffer cells for insulin sensitivity in liver	第 86 回 日本薬理学会年会
小荒田秀一、大田明英、多田芳史	RP105-negative B cells in IgG4-related disease	第42回日本免疫学会総会・学術集会
小荒田 秀一	RP105 陰性 B 細胞を標的とした難治性膠原病の新規治療法の開発	佐賀免疫研究会
Jo Ishizawa, Eiji Sugihara, Norisato Hashimoto, Shinji Kuninaka, Kensuke Kojima, Michael Andreeff, Shinichiro Okamoto, and Hideyuki	SayaLoss of Function of The Cell Cycle Regulator Cdh1 Causes Cell Fragility due to Aberrant G2/M Checkpoint and Develops Resistant Disease in a B-ALL/LBL Mouse Model	

○野口亮、伊藤学、山元博文、諸隈宏之、佐藤久、柚木純二、中山功一、尾山純一、蒲原啓司、古川浩二郎、野出孝一、森田茂樹	Scaffold Free な機能的心臓・血管組織構築法の開発	第 51 回 日本人工臓器学会大会
*Suh DI, Beak H, Lee HB, Izuhara K.	Serum periostin levels correlate with bronchial hyperresponsiveness to mannitol and methacholine in children with Asthma.	AAAAI 2013 annual meeting.
* Tanaka A, Tsukamoto H, Ueda N, Ayano M, S.-I. Ohta, Ueki N, Ueda S, Hisamoto S, Oryoji D, Hiroaki Y, Akahoshi M, Arinobu Y, Niino H, Horiuchi T, Tada Y, Akashi K	SERUM PROGRANULIN LEVELS ARE ELEVATED IN DERMATOMYOSITIS PATIENTS WITH ACUTE INTERSTITIAL LUNG DISEASE, REFLECTING SEVERITY AND PROGNOSIS	The european league against rheumatism, annual european congress of rheumatology.
*田中 淳、塚本 浩、上田尚靖、綾野雅宏、大田俊一郎、植木尚子、上田 彰、久本仁美、押領司大助、廣崎友里、赤星光輝、有信洋二郎、新納宏昭、堀内孝彦、多田芳史、赤司浩一	SLE および皮膚筋炎患者血清における progranulin 濃度の上昇とその意義	第57回日本リウマチ学会総会・学術集会
○Noguchi R, Nakayama K, Oyama JI, Kamohara K, Furukawa K, Node K, Morita S.	Spheroid Based Cardiovascular Regeneration Using Robotics Engineering	第 77 回日本循環器学会学術集会
Kito Y	Spontaneous activity of fibroblast-like cells in the small intestine.	2th Annual Meeting of Korean Society for Smooth Muscle Research
Kito Y, Teramoto N	Spontaneous electrical activity recorded from fibroblast-like cells in the rabbit small intestine	第 86 回 日本薬理学会年会
Nagase K, Koba S, Aoki S, Ikeda S, Toda S, Narisawa Y	Squamous cell carcinoma cell line (DJM-1) inhibits the growth of Merkel cell polyomavirus-positive Merkel cell carcinoma cell line in collagen gel matrix culture.	International investigative dermatology 2013
中村光男	Squamous cell carcinoma と鑑別困難だった Adenocarcinoma の 1 例	細胞診合同勉強会
下田紗耶嘉、寺本智美、二尾健太、山口太輔、坂田資尚、藤本一真	S 状結腸軸捻転症に対しダブルバルーン内視鏡による整復術が有用であった 2 例	第 96 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
*Chantry D, Ono J, Eberhardt C, Hayter L, Larsen P, Anderson P, Harmor R, Rhodes S, Brown S, Izuhara K, Bell S.	Th2 signature selection strategies for CRTh2 antagonists : Baseline characteristics of a mild to moderate persistent asthma population.	ATS 2013 International Conference.
*James A, Kupczyk M, Ono J, Ohta S, Izuhara K, Dahlen SE.	TH2 specific biomarker profile determines steroid responsiveness in severe asthma.	ERS Annual Congress 2013.
Izuhara K, Taniguchi K, Arima K, Masuoka M, Shiraishi H, Ohta S, Ontsuka K, Suzuki S, Hamasaki Y, Conway SJ.	The IL-1 α /periostin/IL-6 axis contributes to the keratinocyte proliferation and differentiation on atopic dermatitis.	Keystone Symposia Conference Type2(J1) .
Hamasaki Y, Yamamoto S, Kobayashi I, Tsuji K, Ohtaguro I, Ichimaru T, Muro E, Miyazaki M, Nishi N, Taniguchi K, Inada Y, Hitomi E, Zaitzu M, Matsuo M	The roles of airway epithelium in virus induced wheezing and asthma exacerbation.	Symposium on drug discovery and development Lexington Ky
Yoshihara M, Itamura H, Fukushima N, Kamach K, Kitamura H, Shindo T, Kubota Y, Sueoka E, Ichinohe T, Kimura S	Therapeutic management in cardiac lymphoma	第 11 回日本臨床腫瘍学会学術集会
Shigehisa Aoki, Junichi Makino, Mitsuru Noguchi, Shuji Toda.	TRANSIENT FLUID FLOW STRESS AFFECTS THE KINETICS OF MESOTHELIAL CELLS AFTER ABRUPT DISCONTINUATION: POSSIBLE ROLE IN EPS AFTER WITHDRAWAL FROM PERITONEAL DIALYSIS	ERA-EDTA 50th Congress
人見会美子、稲田由紀子、谷口一登、山本修一、浜崎雄平	TRP 温度感受性受容体の気道炎症における役割の解明	第 46 回日本小児呼吸器学会
坂田資尚、藤本一真	Tso P. 消化管ホルモン研究の基礎と臨床:腸間膜リンパ嚢嚢を用いたインクレチン分泌機構の解析	第 9 回日本消化管学会総会学術集会
坂田資尚、藤本一真	Tso P. 消化器疾患と栄養代謝ネットワーク、基礎から臨床まで:脂肪の摂取による腸管肥満細胞の活性化	第 55 回日本消化器病学会大会
Jiang C-Y, Fujita T, Yue, H-Y, Ohtsubo S, Matsushita A, Xu Z-H, Kumamoto E	Vanilloid zingerone enhances spontaneous excitatory transmission by activating TRPA1 but not TRPV1 channels in the adult rat substantia gelatinosa.	The 5th Asian Pain Symposium.
○Kawaguchi Y, Mizuta T, Eguchi Y, Kohira T, Kamachi S, Kuwashiro T, Oeda S, Nakashita S, Iwane S, Ide Y, Ozaki I.	Whole-body insulin resistance and IL28B polymorphism are independent factors contributing to SVR in PEG/RBV of HCV-infected patients with genotype 1.	APASL Liver Week
加藤剛、高橋浩一郎、田代宏樹、蔵田圭吾、白井秀治、林真一郎	β 2 アドレナリン受容体刺激薬は樹状細胞を介してアレルギー性気道炎症を抑制する	第 63 回日本アレルギー学会秋季学術集会
薦田洋、尾山純一、白木綾、野出孝一	アゼルニジピンにおけるマクロファージ活性化抑制の作用機序	第 61 回日本心臓病学会学術集会
*大川 智子、侯 建全、山口 由衣、河野 真純、松倉 節子、蒲原 毅、小野 純也、太田 昭一郎、出原 賢治、相原 道子	アトピー性皮膚炎患者における血清ペリオステチンの値の検討	第 43 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会
*侯 建全、大川 智子、山口 由衣、小野 純也、太田 昭一郎、出原 賢治、相原 道子	アトピー性皮膚炎患者における血清ペリオステチン変動の臨床的意義	第 25 回日本アレルギー学会春季臨床大会
宮園 素明、岸 知哉、高島 毅、吉崎 真衣、野中 康徳、池田 裕次、酒見 隆信	アドリアマイシン誘発腎疾患ラットにおける炭酸カルシウム投与による腎 Klotho 発現に対する影響	第 56 回日本腎臓学会学術総会
松本明子、Ying Chen、市場正良、Vasilis Vasilou	アルデヒド脱水素酵素 1B1(ALDH1B1)は良好な大腸がんマーカーとなり得る	第 83 回日本衛生学会

出原 賢治	アレルギー疾患における新規のバイオマーカー:ペリオスチン.	第 63 回日本アレルギー学会秋季学術大会
大坪瀬奈, 藤田亜美, 蔣 昌宇, 羅 清甜, 康 欽, 松下晋大, 熊本栄一	アロマ精油成分は化学構造特異的に蛙坐骨神経の複合活動電位を抑制する.	第 36 回日本神経科学大会
加藤剛、高橋浩一郎、林真一郎	安定期気管支喘息患者における吸入ステロイド減量後の経過に関与する患者因子の解析	第 53 回日本呼吸器学会学術講演会
* 岡本 典子, 富吉 義幸, 北島 聡, 宮原 茂, 池田 裕次, 酒見 隆信	イコデキストリン(ICO)では除水が不能であった腹膜透析の一例	第 57 回日本透析医学会 学術集会
高橋浩一郎	医師・薬剤師地域連携による吸入療法指導	唐津東松浦地区学術講演会
野出孝一、白木綾、尾山純一	インクレチン関連薬と心血管病	第 34 回日本臨床薬理学会学術総会
甲斐敬太	陰茎腫瘍	第 331 回 九州・沖縄スライドコンファレンス
谷口一登、山本修一、須山ゆかり、稲田由紀子、人見会美子、杉岡隆、濱崎雄平	インターロイキン 33 のアレルギー皮膚炎への関与.	第 67 回佐賀小児科地方会・第 190 回日本小児科学会長崎地方会合同地方会
副島英伸.	インブリンティング疾患 Beckwith-Wiedemann 症候群と類縁疾患におけるエピゲノム・ゲノム異常.	第 5 回金沢大学学際科学実験センターシンポジウム「深遠なる疾患エピジェネティクス」
永瀬浩太郎	ウイルスと深い関連のある皮膚悪性腫瘍 ～メルケル細胞癌～	日本皮膚科学会第 78 回佐賀地方会
本池 悠、田代知子、永尾奈津美、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	後腹膜線維症との鑑別に苦慮した洞組織球症の一例	第45回九州リウマチ学会
西田裕一郎、原めぐみ、南里妃名子、中村和代、今泉猛、坂本龍彦、松垣靖樹、田口尚人、堀田美加子、新地浩一、田中恵太郎	炎症性サイトカインの遺伝子多型とHbA1cとの関連.	第 23 回日本疫学会学術総会
蔣 昌宇, 藤田亜美, 徐 年香, 羅 清甜, 康 欽, 松下晋大, 大坪瀬奈, 熊本栄一	オキシトシンは成熟ラットの脊髄膠様質ニューロンの興奮性シナプス伝達に影響せずに抑制性シナプス伝達を促進する.	第 90 回日本生理学会大会
高瀬浩二郎、末松梨絵、貞永裕梨、永尾奈津美、田代知子、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	下垂体腫大と下垂体機能低下を伴う血管内リンパ腫を合併した関節リウマチの一例	第46回九州リウマチ学会
高瀬浩二郎、末松梨絵、永尾奈津美、田代知子、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	下垂体腫大と下垂体機能低下を伴う血管内リンパ腫を合併した関節リウマチの1例	第 301 回日本内科学会九州地方会
水田和孝、末松梨絵、貞永裕梨、永尾奈津美、田代知子、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	傍神経節種を合併した RS3PE 症候群の一例	第45回九州リウマチ学会
塩谷 孝夫	カルシウムホールと心筋のカルシウムシグナリング	筋生理の集い
岡田 貴裕, 村山 舞奈, 越部 芳枝, 木村 あやめ, 渡辺 恵史	肝常在性マクロファージ (Kupffer 細胞) の特異性解析 V	日本薬学会第 133 年会
○赤木 京子、大田明英、多田芳史、古賀 明美	関節リウマチ患者の療養体験と診察する医師の語り	第7回日本慢性看護学会学術集会
小荒田 秀一	関節リウマチの最新の薬物治療	関節リウマチ市民公開講座
松橋幸子、岡田倫明、大内田守、夏 京合、水田敏彦、安西慶三、尾崎岩太	がん抑制遺伝子 PDCD4 の過剰発現はがん細胞のアポトーシスを誘導するが正常細胞には無効か？	第 36 回日本分子生物学会年会
○江越正芳、持永早希子、飯田寿美代、徳島英明、田崎正信、矢ヶ部知美、荒金尚子、木村晋也、藤戸博	がん化学療法における検査値疑義照会の効果.	第 11 回日本臨床腫瘍学会.
○中村 淳, 田中 智和, 北島 吉彦, 甲斐 敬太, 三宅 修輔, 井手 貴雄, 古賀 靖大, 能城 浩和	がん細胞の浸潤転移機構の解明と治療への展開 胃癌における TFF1 のメチル化と浸潤および生存への影響	第 113 回日本外科学会定期学術集会
加藤剛、田代宏樹、高橋浩一郎、出原賢治、林真一郎	気管支喘息患者における吸入ステロイド減量後の経過に関与する因子の解析	第 23 回国際喘息学会、日本・北アジア部会
古賀靖大	局所進行直腸癌に対する術前化学療法と手術治療	第 34 回佐賀外科治療フォーラム
多田 芳史	血管炎とベーチェット病に対する抗 TNF 療法	第7回福岡膠原病研究会
副島英伸.	ゲノム・インブリンティングとヒト疾患-間葉性異形成胎盤の分子遺伝学的解析	群馬大学生体調節研究所内分泌・代謝学共同研究拠点セミナー
* 中林一彦、Trujillo Alex Martin、田山千春、兼城英輔、和氣徳夫、副島英伸、緒方勤、Monk David、秦健一郎.	ゲノムワイド DNA メチル化解析によるヒトインプリントーム解明.	日本人類遺伝学会第 58 回大会
小荒田 秀一	口腔ケアと膠原病	難病患者ケア従事者研修会
多田 芳史	膠原病・リウマチ診療における最近の進歩と医療連携	小倉内科医実地医科シリーズ講演会
多田 芳史	膠原病治療とステロイドの副作用対策に関する最近の話題	佐賀県難病相談・支援センター膠原病講演会
小荒田 秀一	膠原病における RP105 陰性 B 細胞を標的とした新規治療法の開発	第33回福岡臨床免疫研究会
小島基晴	コーディネートナースを用いた糖尿病の医療連携による診療水準の向上を目指して	佐賀糖尿病講演会
戸田 修二	この不思議なる臓器	西日本泌尿器科学会総会
西島亜紀、青木茂久、竹澤俊明、池田聡、内橋和芳、山本美保子、薬師寺舞、山崎文朗、杉原甫、戸田修二	コラーゲンピトリゲル薄膜による新規人工皮膚の開発	第 102 回 日本病理学会総会

青木茂久 竹澤俊明 池田 聡 内橋和芳 松延亜紀 山本美保子 薬師寺 舞 戸田修二	コラーゲンビトリゲル薄膜を利用した新規人工皮膚の開発	第 12 回日本再生医療学会総会
多田芳史、小荒田秀一、末松梨絵、田代知子、永尾奈津美、貞永裕梨、大田明英	コラーゲン誘導関節炎におけるインターフェロン調節因子5 (IRF5) の作用	第41回日本臨床免疫学会総会
青木茂久 竹澤俊明 池田 聡 平山 博 成澤 寛 戸田修二	コラーゲン新素材を用いた絆創膏型人工皮膚の開発	第 34 回日本炎症・再生医学会年次集会
青木茂久、竹澤俊明、池田 聡、内橋和芳、松延亜紀、山本美保子、薬師寺 舞、戸田修二	コラーゲン新素材を用いた絆創膏型人工皮膚の開発	第 32 回分子病理学研究会
小荒田 秀一	ゴリムマブ使用経験	RA Interactive Meeting ～2大学フォーラム ～
出原 賢治	サイトカイン、ケモカインを中心に(ペリオスチンを含む)アレルギー疾患のバイオマーカー	第 33 回六甲カンファレンス
桑代卓也、尾崎岩太、夏 京合、松橋幸子、岡田倫明、江口有一郎、水田敏彦、安西慶三	細胞外マトリックスは NFκB シグナルを介してインターフェロシグナルに影響する	第 36 回日本分子生物学会年会
高橋浩一郎、田代宏樹、加藤剛、江本晶子、湯川潤輝、藤戸博、林真一郎	佐賀県における吸入手帳を用いた病薬連携の効果検証	第 63 回日本アレルギー学会秋季学術集会
向 陽、田代知子、貞永裕梨、永尾奈津美、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	自己免疫性膀胱炎に対するステロイド投与中止後に IgG4 関連間質性腎炎を発症した1例	第46回九州リウマチ学会
向 陽、田代知子、永尾奈津美、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	自己免疫性膀胱炎に対するステロイド投与中止後に IgG4 関連間質性腎炎を発症した1例	第 301 回日本内科学会九州地方会
大塚泰史、佐々木健作、城崎幸介、東元健、岡本信彦、高間勇一、窪田昭男、松本富美、中山雅弘、吉浦孝一郎、副島英伸	シスチン尿症を伴うゲノムワイド父性片親性ダイソミー症例の遺伝子解析	第 48 回日本小児腎臓病学会
大塚泰史、佐々木健作、城崎幸介、東元健、岡本信彦、高間勇一、窪田昭男、松本富美、中山雅弘、吉浦孝一郎、副島英伸	シスチン尿症を伴うゲノムワイド父性片親性ダイソミー症例の遺伝子解析	日本人類遺伝学会第 58 回大会
○陣内 久美子、大塚 泰史、岡 政史、江藤潤也、西 眞範、木村 晋也、一戸 辰夫、力武修一、池田 裕次、中原 由紀子、浜崎 雄平	シスプラチン過量投与に対する治療経験	第 48 回日本小児腎臓病学会 学術集会
西田裕一郎	自宅で出来るステップ運動でイキイキ元氣	佐賀県楠風会女性部合同研修会(佐賀)
小島基靖	嶋田病院におけるトラゼンタ錠の使用経験	佐賀糖尿病学術講演会
浅川亨、市場正良、染谷孝、滝上英孝、上野大介	小学生を対象とした手を介した有機リン系難燃可塑性の経口摂取量の推定	平成 25 年度室内環境学会学術大会
溝内重和、市場正良、染谷孝、高橋利幸、上野大介	小学校室内環境における未規制 VOCs の調査	平成 25 年度室内環境学会学術大会
彌富 美奈子	職場における集団節酒指導～メタボリック症候群に対する節酒指導の効果～	第 86 回日本産業衛生学会
彌富 美奈子	職場でのアルコール関連問題の取り組み	第48回日本アルコール・薬物学会、第25回日本依存神経精神神経科学会合同学術集会
増田正憲	腎腫瘍	第 336 回 九州・沖縄スライドコンファレンス
小宮一利	シンポジウム「呼吸器疾患の救急・急性期医療 ～急に呼吸器疾患患者受診！そのときどうする？～」 「肺がん治療における救急処置」	第 70 回日本呼吸器学会・日本結核病学会 九州支部 春季学術講演会
野口 亮、伊藤 学、山元博文、諸隈宏之、佐藤 久、柚木純二、中山功一、尾山純一、蒲原啓司、古川浩二郎、野出孝一、森田茂樹	シンポジウム「細胞の自己凝集能と組織化能を利用する機能的胸部・心臓血管系臓器構築技術の開発」	Cell aggregation meeting 2013
伊藤 学	シンポジウム「細胞凝集塊自動積層装置を用いた小口径血管の開発」	Cell aggregation meeting 2013
大塚康子、徳田拓巳、原めぐみ、島ノ江千里、南里妃名子、西田裕一郎、桧垣靖樹、中村和代、今泉猛、田口尚人、坂本龍彦、堀田美加子、新地浩一、田中恵太郎	睡眠時間とHbA1cの関連：J-MICC Study(佐賀地区)。	第 23 回日本疫学会学術総会
二尾健太、坂田資尚、山口太輔、下田 良、岩切龍一、藤本一真	ステロイドが奏効した Cronkite-Canada 症候群の 2 例	第 300 回日本内科学会九州地方会
末松梨絵、永尾奈津美、田代知子、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	成人スチル病における可溶性 Toll 様受容体についての検討	第57回日本リウマチ学会総会・学術集会
○赤木京子、大田明英、多田芳史、小荒田秀一、末松梨絵、田代知子	生物学的製剤による治療を受けていない関節リウマチ患者の療養体験	第46回九州リウマチ学会
○赤木京子、大田明英、多田芳史、小荒田秀一、末松梨絵、田代知子	生物学的製剤を受ける関節リウマチ患者が語る療養体験	第57回日本リウマチ学会総会・学術集会
* 松本 圭一郎、福成 健一、光武 涼子、金谷 晶子、池田 裕次、酒見 隆信	セベラマー塩酸塩とビキサロマーとの臨床使用上の比較と問題点	第 57 回日本透析医学会 学術集会
*高橋裕樹、篠村恭久、鷲尾昌一、清原千香子、多田芳史、浅見豊子、井手三郎、渥美達也、小橋 元、堀内孝彦	全身性エリテマトーデスの発症リスクに関する症例対照研究	第 63 回日本体質医学会総会
小荒田秀一、永尾奈津美、田代知子、末松梨絵、大田明英、多田芳史	全身性エリテマトーデスにおける RP105 陰性形質芽 B 細胞の解析	第110回日本内科学会総会・講演会

永尾奈津美、田代知子、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	全身性硬化症(SSc)に ANCA 関連血管炎(AAV)を合併した3例	第57回日本リウマチ学会総会・学術集会
柿原奈保子	創治癒回復促進のための精油を用いた看護技術開発の基礎研究	日本看護技術学会
松尾裕康、藤田雄二、宮崎博喜、松本明子、市場正良	太陽光発電の発電量に影響を及ぼす気象因子	第 83 回日本衛生学会
○本池悠、井手貴雄、古賀浩木、三好篤、北原賢二、能城浩和	直腸癌術後孤立性脾転移の1例	第 50 回九州外科学会・第 50 回九州小児外科学会・第 49 回九州内分泌外科学会
野村明成、古賀靖大、三宅修輔、河野博、池田貯、能城浩和	直腸癌に対する腹腔鏡手術	第 16 回福岡大腸疾患研究会
小荒田 秀一	当院におけるゴリムマブの使用経験	Biologics Conference in SAGA
*浜之上 誠、池田 義孝、緒方 徹、高松 研	糖転移酵素 GnT-V の神経幹細胞における特異的発現と神経再生への関与	第 36 回日本分子生物学会年会
*赤星光輝、中山陽志、永尾奈津美、入野健佑、井上 靖、有信洋二郎、新納宏昭、塚本浩、堀内孝彦、赤司浩一	トシリズマブの投与期間短縮が奏効した ARDS 合併成人発症 Still 病の一例	第57回日本リウマチ学会総会・学術集会
末松梨絵、貞永裕梨、永尾奈津美、田代知子、小荒田秀一、澤部琢哉、西坂浩明、小野伸之、田中 淳、塚本 浩、堀内孝彦、大田明英、多田芳史	難治性高安病に対する生物学的製剤の有効性についての検討	第46回九州リウマチ学会
高島 毅、野中 康德、吉崎 真衣、岸 知哉、宮園 素明、池田 裕次、酒見 隆信	ネフローゼ症候群における、蛋白漏出シンチグラフィの意義の検討	第 56 回日本腎臓学会学術総会
野中 康德、斧沢 幸司、力武 修一、吉崎 真衣、高島 毅、岸 知哉、宮園 素明、池田 裕次、青木 茂久、酒見 隆信	ネフロン病-髄質囊胞性疾患群(NPH-MCKD)の関与が考えられた慢性間質性腎炎の一例	第 56 回日本腎臓学会学術総会
野中 康德、斧沢 幸司、力武 修一、吉崎 真衣、高島 毅、岸 知哉、宮園 素明、池田 裕次、青木 茂久、酒見 隆信	ネフロン病-髄質囊胞性疾患群(NPH-MCKD)の関与が考えられた慢性間質性腎炎の一例	第 43 回日本腎臓学会西部学術大会
小池このみ、小宮一利、貞松宏典、梅口仁美、中村朝美、高橋浩一郎、坂田省三、武田雄二、荒金尚子、林真一郎	肺性肥大型骨関節症を呈した非小細胞肺がんの一例	第 71 回日本呼吸器学会・日本結核病学会 九州支部秋季学術講演会
木村裕美、永瀬浩太郎、三砂範幸、成澤 寛	ヒト化抗 CCR4 モノクローナル抗体(モガムリズマブ)による皮膚障害の一例	日本皮膚科学会 第 367 回福岡地方会
古賀靖大	腹腔鏡下大腸癌手術における 3D CTC の応用	第 2 回佐賀消化管 CT 研究会
*浜之上 誠、池田 義孝、高松 研	分裂期神経幹細胞特異的に限定的に発現する糖転移酵素 GnT-V	Neuro 2013(第 36 回日本神経科学大会・第 56 回日本神経化学大会)
井手 敏裕、安富 裕也、中村 真希子、中田祐輔、今村 利彦、松尾 一隆、青木 茂久、牧野 順一、牧野 邦司郎	ヘモダイアフィルターABH-P の性能評価	第 58 回日本透析医学会学術集会・総会
増岡 美穂、白石 裕士、太田 昭一郎、出原賢治、栗原 雄一、古江 増隆、成澤 寛	ペリオスチンは Th2 サイトカインを誘導して慢性アレルギー炎症を増悪させる。	第 112 回日本皮膚科学会総会
副島沙也香、市場正良、仲居邦彦、龍田希、龍田紀子、染谷孝、上野大介	母乳中 POPs濃度の日内変動と試料採取法の検討	第 22 回環境化学討論会
山本 忍	ホルムアルデヒド水溶液充填作業場の改善事例について	第 34 回作業環境測定研究発表会
永尾奈津美、貞永裕梨、田代知子、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	本邦における全身性硬化症に合併した ANCA 関連血管炎の検討	第46回九州リウマチ学会
多田芳史、小荒田秀一、末松梨絵、田代知子、永尾奈津美、大田明英	マウスコラーゲン関節炎における IRF5 発現抑制の効果	第57回日本リウマチ学会総会・学術集会
寺本 憲功、朱 海雷	マウス輸精管平滑筋細胞に発現する ATP 感受性カリウムチャネルサブユニットの分子生物学的解析	第 66 回 日本薬理学会 西南部会
*木村大輔、都田真奈、本間季里、木村一美、原博満、吉田裕樹、由井克之	マラリア原虫特異的 CD4T 細胞は EBI3 陽性サイトカインを介して他の CD4T 細胞の IL-2 産生を抑制する。	日本寄生虫学会大会
田代宏樹、高橋浩一郎、荒金尚子、林真一郎	慢性経過で緩徐に進行した ANCA 関連血管炎による肺出血の一例	第 71 回日本呼吸器学会・日本結核病学会 九州支部秋季学術講演会
野口満	メタボリックシンドロームと泌尿器疾患。	トピクス新発売記念講演会。
久米修二	メルケル細胞癌が疑われた一症例	細胞診合同勉強会
出原 賢治	免疫学・アレルギー学の基礎	第 43 回日本アレルギー学会専門医教育セミナー
* 小金淵佳江、中込滋樹、間野修平、石崎直也、河村正二、木村亮介、石田肇、城圭一郎、副島英伸、藤本一真、佐藤公俊、湯澤泉、安井美江、隈部俊宏、藤井清孝、秋山辰穂、埴原恒彦、太田博樹。	モヤモヤ病原因遺伝子 RNF213 の琉球諸島・北部九州ヒト集団における遺伝的多型。	第 67 回日本人類学会大会
寺本 憲功	薬理学的作用の可視化研究	佐賀大学 医学部 麻酔・蘇生学 開講記念会
八坂敏一、Hughes DI, Riddell JS, 藤田亜美、熊本栄一、Todd AJ	ラット脊髄後角で低閾値機械受容線維とコンタクトしている興奮性及び抑制性 II 層インターニューロン群。	第 36 回日本神経科学大会
八坂敏一、Tiong SYX, Hughes DI, Riddell JS, 藤田亜美、熊本栄一、Todd AJ	ラット脊髄膠様質細胞の分類と痛覚伝達に関わる後角内局所神経回路における役割。	第 35 回日本疼痛学会

村田祐造, 本田裕子, 鈴木源晟, 李明子, 増子貞彦	ラット末梢臓器におけるオキシトシン受容体の発現局在	第 118 回日本解剖学会総会・全国学術集会
秋山隆行、宮本比呂志、塚本正紹、江頭秀一、内橋和芳、野田岩男、園畑素樹、馬渡正明	ラット脛骨モデルにおける銀含有ハイドロキシアパタイト溶射インプラントの抗菌性評価-X 線および組織学的検討	第 28 回日本整形外科学会基礎学術集会
多田 芳史	リウマチ以外の膠原病の特徴	九州地区リウマチ教育研修会
甲斐敬太	リンパ節	第 334 回 九州・沖縄スライドコンファレンス
*押領司大助、堀内孝彦、塚本 浩、新納宏昭、有信洋二郎、赤星光輝、井上 靖、吉澤誠司、古郷 功、西坂浩明、吉澤 滋、多田芳史、大塚 毅、長澤浩平、中島 衡、赤司浩一	ループス腎炎に対するタクロリムスの有効性と安全性ー投与開始5年経過した 29 例の解析ー	第57回日本リウマチ学会総会・学術集会
田代知子、末松梨絵、小荒田秀一、永尾奈津美、大田明英、井上久子、多田芳史	ループス腎炎の寛解導入におけるタクロリムスの有用性	第57回日本リウマチ学会総会・学術集会
菖蒲池健夫、片桐菜々子、久木田明子、宮本比呂志	レジオネラ自然抵抗性遺伝子によるマクロファージの生存調節	第 86 回日本細菌学会総会
小松愛子、野出孝一	ワークライフバランスの実現に向けて、今を見つめなおす	第 36 回日本高血圧学会総会
桑代麻希、永瀬浩太郎、三砂範幸、成澤 寛	意外な診断に至った頭部の結節性病変の 2 例	日本皮膚科学会第 78 回佐賀地方会
徳田 雄治、魚住 二郎、野中 康德、力武 修一、池田 裕次	維持血液透析中の前立腺がん骨転移患者に対するゾレドロン酸投与の経験	日本泌尿器科学会第 84 回宮崎地方会
○久保 洋、北島 吉彦、中村 淳、甲斐 敬太、三宅 修輔、柳原 五吉、森戸 清人、田中 智和、井手 貴雄、古賀 靖大、能城 浩和	胃癌における ANGPTL4 の発現解析と HIF-1 α との関連性	第 113 回日本外科学会定期学術集会
多良明子、井上卓也、増岡美穂、三砂範幸、成澤寛	陰部に生じた巨大 Verruciform xanthoma の 1 例	第 65 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
*北島 聡、岡本 典子、富吉 義幸、田中 宏明、中林 奈美子、池田 裕次、酒見 隆信	右足底鶏眼部蜂窩織炎からアスペルギルス眼内炎に至ったと考えられる血液透析患者の一例	第 57 回日本透析医学会 学術集会
*森山加奈子、久木田明子、上原範久、張旌旗、高橋一郎、久木田敏夫	炎症抑制因子ガレクチン9の膜表面受容体 Tim-3 を介した破骨細胞形成制御	第 55 回歯科基礎医学学会学術大会・総会
*森山加奈子、久木田明子、上原範久、張旌旗、高橋一郎、久木田敏夫	炎症抑制因子ガレクチン9の膜表面受容体 Tim-3 を介した破骨細胞形成制御	第 12 回 西日本骨・関節関連疾患懇話会(九州大学)抄録集 p3
矢ヶ部知美、小池このみ、出勝、荒金尚子、能城浩和、木村晋也	化学放射線療法が奏効した食道内分泌癌の 1 例.	第 1 回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会.
西田裕一郎、田中恵太郎	加速度計を用いて客観的に評価された身体活動量と血中炎症性サイトカイン濃度の関連	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「身体活動の健康科学に関する総合研究」最終報告会(福岡)
岸 知哉、池田 弘典、力武 修一、吉崎 真衣、野中 康德、高島 毅、岸 智恵、宮園 素明、末岡 榮三朗、池田 裕次	改良 BCP 法測定アルブミンにおける Ca 補正の検討	第 57 回日本透析医学会 学術集会
長友大輔、琴岡憲彦、吉岡吾郎、柿本洋介、錦戸利幸、内野真純、樋渡敦、下村光洋、浅香真知子、小松愛子、佐久間理史、尾山純一、挽地裕、野出孝一	外来での心房細動患者における抗凝固療法の実態について	第 61 回日本心臓病学会学術集会
市場正良、宮崎博喜、松本明子、大田裕介、久保田玲奈、友清仁美、松尾裕康、山本忍、志岐朋恵、唐喜順、近藤敏弘、寺東宏明、上野大介	学校教室内の空気環境とその対策(3)	室内環境学会九州支部研究発表会
熊本栄一、藤田亜美、羅 清甜、蔭 昌宇、大坪瀬奈、康 欽、松下晋大	活動電位の伝導抑制効果を持つ植物成分によるラット脊髄髄様質の TRPA1 活性化.	平成 25 年度生理学研究所研究会「第 9 回 TRP チャネル研究会」.
尾山純一、白木綾、野出孝一	冠動脈疾患の至適血糖管理	第 61 回日本心臓病学会学術集会
塚本正紹、河野俊介、江頭秀一、秋山隆行、北島将、園畑素樹、堀川悦夫、馬渡正明	寛骨臼移動術前後の三次元歩行解析-歩行時体幹動揺性の評価-	第 86 回日本整形外科学会学術総会
廣田 美樹、宮崎 博喜、原 照子、本村 環、山下 智恵美、井上 純一、河島 通博	簡易スパイロメトリーによる呼吸機能検査の慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対する有用性の検討	第 54 回人間ドック学会
出勝、荒金尚子、吉原麻里、矢ヶ部知美、木村晋也	肝内多発転移を有する肝原発神経内分泌腫瘍の 1 例.	第 1 回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会.
副島英伸、東元健、城崎幸介、八木ひとみ、大塚泰史、前田寿幸、青木早織、岡島翠、坂口勲、大場隆、片淵秀隆	間葉性異形成胎盤における 11p15 インプリント領域の分子遺伝学的解析	第 21 回日本胎盤学会学術集会
副島英伸、東元健、城崎幸介、八木ひとみ、大塚泰史、前田寿幸、青木早織、岡島翠、坂口勲、大場隆、片淵秀隆	間葉性異形成胎盤における 11p15 刷り込み領域の分子遺伝学的解析.	日本人類遺伝学会第 58 回大会
出原 賢治	基礎研究の炎症疾患診断薬・治療薬開発への応用	第 52 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会 第 326 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会
*出原裕美、松本久子、金光禎寛、出原賢治、東田有智、北英夫、堀口高彦、桑原和伸、富井啓介、大塚浩二郎、藤村政樹、大倉徳幸、富田桂公、横山彰仁、大西広志、中野恭幸、小熊哲也、保澤総一郎、長崎忠雄、伊藤功朗、小熊毅、田尻智子、新美彰男、三嶋理晃	吸入ステロイド治療下喘息患者における GLCCI1 遺伝子多型と呼吸機能低下との関連についての検討.	第 63 回日本アレルギー学会秋季学術大会

江里口誠、中城博子、岡孝之、鈴山耕平、田中淳、小杉雅史、雪竹基弘、原英夫	急激な脳浮腫を来した脳症の一例	第 203 回日本神経学会 九州地方会
塚野美和、河野 史、柿原奈保子	給餌による消化管内分泌細胞数の変化	コ・メディカル形態機能学会
原めぐみ、西田裕一郎、南里妃名子、大塚康子、島ノ江千里、檜垣靖樹、堀田美加子、河井一明、李 云善、葛西順、葛西宏、田中恵太郎	強度別身体活動量と尿中 8OHdG 濃度の関連	第 83 回 日本衛生学会総会
天本宗次郎、梅口仁美、小池このみ、井上周、小宮一利、中村朝美、高橋浩一郎、荒金尚子、林真一郎	胸痛を契機に診断した気管支動脈瘤の一例	第 301 回、日本内科学会九州地方会
野田岩男、宮本比呂志、江頭秀一、塚本正紹、秋山隆行、米倉豊、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明	銀 HA コーティングの骨伝達能と抗菌性能	第 43 回日本人工関節学会
○塚本正紹、宮本比呂志、安藤嘉基、野田岩男、江頭秀一、秋山隆行、米倉豊、園畑素樹、馬渡正明	銀含有ハイドロキシアパタイトコーティングインプラントの in vivo における生体安全性評価	第 28 回日本整形外科学会基礎学術集会
○塚本正紹、宮本比呂志、安藤嘉基、野田岩男、江頭秀一、秋山隆行、米倉豊、園畑素樹、馬渡正明	銀含有ハイドロキシアパタイトコーティングインプラントの in vivo における生体安全性評価 ー銀の体内蓄積性の評価ー	第 43 回日本人工関節学会
* 中山真悠子、岡陽一郎、近藤剛、村守克己、岩田はるか、城賀本敏宏、石田也寸志、東元健、副島英伸	経過観察中に Wilms 腫瘍を発症した父性ダイソミー型 Beckwith-Wiedemann 症候群の 1 例	第 88 回日本小児外科学会愛媛地方会
* 北島聡、富吉嘉幸、岡本典子、福島辰朗、岸智恵、池田裕次、酒見隆信、桑原伸夫	経管栄養開始後に汎血球減少を来した後期高齢維持透析患者の一例	第46回 九州人工透析研究会
尾山純一、野出孝一	血管年齢を正確に知ってアンチエイジング！酸化ストレスと血管機能	第 13 回日本抗加齢医学会総会
江里口誠 岡孝之、緒方敦之、松島俊夫、原英夫	血栓溶解療法施行後速やかに血管内治療を施行可能であった一例	脳血管治療懇話会
中村朝美、荒金尚子、岩永健太郎、小宮一利、小林直美、林真一郎、木村晋也	血漿DNAを用いたEGFR活性化型変異モニタリングシステムの確立	日本呼吸器学会総会
中村光男	嫌色素性腎細胞癌の 1 例	細胞診好生館症例検討会 9 月
吉田裕樹	原虫感染に対する新規自然免疫活性化経路とサイトカインによる免疫制御	長崎大学「感染症・放射線障害を中心とする下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬拠点」における研究支援と高度化」創薬シンポジウム:アカデミア創薬と探索医療
*続 啓史、有信 洋二郎、宮脇 恒太、太田昭一郎、出原 賢治、大田 俊一郎、植木 直子、廣崎 友里、Siamak J. 赤星 光輝、新納宏昭、塚本 浩、堀内 孝彦、赤司 浩一	好酸球前駆細胞における IL-25 受容体シグナルの役割の解明	63 回日本アレルギー学会秋季学術大会
永瀬浩太郎	広範囲に局所陰圧閉鎖療法を施行した壊死性筋膜炎術後の右下肢皮膚潰瘍の 1 例	第 6 回佐賀下肢循環?創傷治療研究会
荒金尚子、小林直美、木村晋也 他(シンポジウム)	抗がん剤治療効果判定における自動画像解析装置の有用性	日本放射線技術学会第 60 回総会学術大会
* 内海 沙織、大塚 伸、中村 恵、高島 毅、岸 知哉、宮園 素明、池田 裕次、酒見 隆信	抗凝固療法治療中にヘパリン起因性血小板減少症を発症した一例	第 43 回日本腎臓学会西部学術大会
山本 美保子、青木 茂久、内橋 和芳、松延 亜紀、薬師寺 舞、米満 伸久、杉原 甫、戸田 修二	甲状腺濾胞細胞-脂肪組織相互作用解析モデルの樹立	第 102 回 日本病理学会総会
長友大輔、琴岡憲彦、吉岡吾郎、柿本洋介、多胡素子、内野真純、樋渡敦、兒玉和久、白木綾、下村光洋、佐久間理吏、浅香真知子、小松愛子、尾山純一、挽地裕、野出孝一	高血圧アディポネクチンはハイスル男性においてメタボリック症候群発症を予測する	第 6 回日本性差医学・医療学会学術集会
野出孝一	高血圧と時計遺伝子	第 21 回日本血管生物医学学会学術集会
琴岡憲彦、西山愛、森田喜久美、長友大輔、浅香真知子、野出孝一	高齢者の慢性心不全在宅管理における遠隔モニタリングの可能性(HOMES-HF)	第 61 回日本心臓病学会学術集会
小野南月、田畑絵美、井手俊宏、田中 淳、小杉雅史、江里口誠、雪竹基弘、原 英夫	高齢成人発症 2 型シトルリン血症の 1 例	日本内科学会:第 303 回九州地方会
原 英夫	根本的治療:今までの軌跡と未来への展望	第 18 回日本認知症科学学会学術集会
寺本智美、芥川加代、山口俊介、坂田祐之、岩切龍一、藤本一真、陣内重信、森田秀祐、内田 哲、水口昌伸、藤岡康彦、寺田洋臣、坂田恒彦、森山幹夫、中山信一、森 久男、腹巻勝正、檜本純一、隅田いく男、坂田泰志、土橋清高、田中俊彦、山根秀樹、冬野誠助	佐賀県における胃癌検診成績	第 43 回日本消化器がん検診学会九州地方会
挽地裕、内野真純、樋渡敦、下村光洋、佐久間理吏、小松愛子、尾山純一、野出孝一	左主幹部病変に対するステント留置術の抱える問題点とその改善策	第 61 回日本心臓病学会学術集会
青木 茂久、牧野 順一、野口 満、戸田 修二	再構築腹膜による腹膜線維化モデルの確立	第 58 回日本透析医学会学術集会・総会
青木 茂久、野口 満、有働 和馬、牧野 順一、戸田 修二	再構築腹膜を用いた腹膜線維化モデルの開発	第 56 回日本腎臓学会学術総会

野口 亮, 伊藤 学, 山元博文, 諸隈宏之, 佐藤 久, 柚木純二, 中山功一, 尾山純一, 蒲原啓司, 古川浩二郎, 野出孝一, 森田茂樹	細胞の自己組織化能を利用した高機能3次元化心臓血管組織による次世代型外科の再生医療の開発	第66回日本胸部外科学会定期学術集会
甲斐 敬太, 花島 克幸, 尾形 正也, 永石 信二, 鶴田 有紗, 井上 慎介, 木戸 伸一	子宮体部粘液性腺癌の1例	第52回日本臨床細胞学会秋期大会
西島亜紀, 青木茂久, 内橋和芳, 藤本一眞, 戸田修二	脂肪組織—肝細胞相互作用解析モデルの確立	第18回アディポサイエンス・シンポジウム
井手 康介, 青木 茂久, 内橋 和芳, 松延 亜紀, 中山 敦史, 山本 美保子, 薬師寺 舞, 山崎 文朗, 米満 伸久, 杉原 甫, 戸田 修二	脂肪組織が頭頸部扁平上皮癌細胞に与える影響	第102回 日本病理学会総会
中山 敦史, 井手 康介, 薬師寺 舞, 山本 美保子, 松延 亜紀, 内橋 和芳, 青木 茂久, 藤本 一眞, 戸田 修二	脂肪組織は食道扁平上皮癌細胞の増殖、浸潤、分化を促進し、アポトーシスを抑制する	第102回 日本病理学会総会
中山 敦史, 山本美保子, 西島 亜紀, 内橋 和芳, 青木 茂久, 米満 伸久, 戸田 修二	脂肪組織は食道扁平上皮癌細胞の増殖、浸潤、分化を促進し、アポトーシスを抑制する	第17回日本内分泌病理学会 学術総会
青木 茂久, 牧野 順一, 野口 満, 戸田 修二	脂肪組織は腹膜線維化に寄与するのか	第19回 日本腹膜透析医学会 学術集会・総会
山本美保子, 青木 茂久, 内橋 和芳, 西島 亜紀, 米満 伸久, 杉原 甫, 戸田 修二	脂肪組織は濾胞細胞の脂肪滴蓄積と構造、機能分化を促進し、アポトーシスを抑制する	第17回日本内分泌病理学会 学術総会
中村光男	至急細胞診で腺癌と扁平上皮癌の鑑別困難だった1例	細胞診好生館症例検討会 11月
吉崎 真衣, 野中 康德, 力武 修一, 高島 毅, 岸 知哉, 宮園 素明, 池田 裕次, 酒見 隆信	持続血液濾過透析中患者の血中カルシウム推移の検討	第57回日本透析医学会 学術集会
*秋山辰穂、勝村啓史、塩原恒彦、太田博樹、中込滋樹、藤本一眞、副島英伸、城主一郎、木村亮介、石田肇、安河内朗、樋口重和、原 英夫	時計遺伝子 PERIOD2 の多型と光刺激応答の生理的多様性の関係及びその人類学的考察	第67回日本人類学会大会
上田修、水沢善三、宮本比呂志	治療：抗認知症薬—現状と展望	第2回認知症研修会 in 米子
久米修二	質量分析装置 MALDI バイオタイパーを用いた MRSA の多変量解析による疫学解析	第25回臨床微生物迅速診断研究会
高橋浩一郎、江越正次朗、直塚博行、白仁田秀一、市丸勝昭、今泉裕次郎、阿波邦彦、上田真智子、渡邊尚、田中将英、堀江淳、林真一郎	縦隔原発絨毛癌の1例	細胞診合同勉強会
矢ヶ部知美, 荒金尚子, 木村晋也	重症・最重症 COPD 患者の運動耐容能低下要因の解析	第53回日本呼吸器学会学術講演会
井上卓也	消化器がん化学療法の質的向上を目的とした在宅療養支援診療所との病診連携	第11回日本臨床腫瘍学会
永瀬浩太郎	紹介患者報告	第4回佐賀県臨床皮膚科医会
山口太輔、山口俊介、中山昌之、坂田資尚、下田 良、坂田祐之、藤本一眞	紹介患者報告	第4回 佐賀臨床皮膚科医会
芥川剛至、樋口 徹、二尾健太、山口俊介、山口太輔、中山昌之、坂田資尚、下田 良、坂田祐之、水口昌伸、岩切龍一、藤本一眞、... (小倉)	上部消化管 ESD の偶発症予防の工夫と若手医師への ESD トレーニング法	第96回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
坂本佳子、琴岡憲彦、小松愛子、浅香真知子、秋吉重康、野出孝一	食道内分泌細胞癌の1例	第95回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
塩谷 孝夫	心エコー検査で急速な左室肥大の進行を認めたクッシング症候群の一例	第115回日本循環器学会九州地方会
野口 亮, 中山功一, 尾山純一, 蒲原啓司, 古川浩二郎, 野出孝一, 森田茂樹	心筋 PMCA と NCX の機能連関: NCX 電流の逆転電位による連関様式の検討	第64回西日本生理学会
○野口亮、中山功一、尾山純一、蒲原啓司、古山浩二郎、野出孝一、森田茂樹	新しい組織工学を用いた自己細胞のみで形成される3次元組織構築法の開発	第113回日本外科学会定期学術集会 2013.4.11
*小野 純也、高井 雅之、東 義則、太田 昭一郎、出原 賢治	新しい組織工学を用いた自己細胞のみで形成される3次元組織構築法の開発	第114回日本外科学会定期学術集会
野口 亮	新規ペリオスチン ELISA 測定試薬の開発: 認識エピトープの解析と診断特性	第53回日本臨床化学会年次学術集会
○伊藤学、野口亮、中山功一、尾山純一、山元博文、佐藤久、諸隈宏之、柚木純二、蒲原啓司、古川浩二郎、野出孝一、森田茂樹	新規組織工学による心筋・血管組織再生技術の開発	第17回日本心筋・血管新生療法研究会
野口 亮, 中山功一, 野出孝一, 森田茂樹	新規組織工学を用いた自己細胞由来小口径血管の開発	第115回日本循環器学会九州地方会
*長嶋一昭、田中大祐、東元 健、八木ひとみ、杉崎 和、田原 裕美子、小倉かさね、佐藤広規、佐藤雄一、山野 言、副島英伸、稲垣暢也	新規組織工学を用いた心臓・血管再生医療	Cardiovascular Translational Research Conference 第9回学術集会
伊藤 学, 野口 亮, 中山功一, 尾山純一, 山元博文, 佐藤 久, 諸隈宏之, 柚木純二, 蒲原啓司, 古川浩二郎, 野出孝一, 森田茂樹	新生児期低血糖合併 Beckwith-Wiedemann 症候群患者における病態形成機序の検討	第56回日本糖尿病学会年次学術集会
古賀佑一、佐藤早恵、福田誠、高島毅、岸知哉、宮園素明、池田裕次、酒見隆信	新組織工学を用いた自己細胞由来小口径血管の開発	第115回日本循環器学会九州地方会
	診断、治療に難渋した無菌性腹膜炎の透析患者	第46回 九州人工透析研究会

○田中 智和, 中村 淳, 北島 吉彦, 甲斐 敬太, 三宅 修輔, 井手 貴雄, 古賀 靖大, 能城 浩和	進行胃癌における TFF1 発現の意義とその制御機構	第 85 回日本胃癌学会総会
上野雅也、河野俊介、北島将、園畑素樹、馬渡 正明	人工股関節全置換術におけるトラネキサム酸投与方法の検討	第 40 回日本股関節学会学術集会
蔣 昌宇, 藤田亜美, 羅 清甜, 康 欽, 大坪瀬奈, 松下晋大, 熊本栄一	成熟ラットの脊髄後角におけるオキシトシンによる鎮痛作用の細胞レベル機序.	第 35 回日本疼痛学会
蔣 昌宇, 藤田亜美, 羅 清甜, 康 欽, 大坪瀬奈, 松下晋大, 熊本栄一	成熟ラットの脊髄後角におけるオキシトシンの鎮痛作用機序.	第 36 回日本神経科学大会
蔣 昌宇, 藤田亜美, 大坪瀬奈, 羅 清甜, 康 欽, 徐 志昊, 松下晋大, 熊本栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンのオキシトシンによる膜脱分極の細胞レベル機序.	第 64 回西日本生理学会
羅 清甜, 藤田亜美, 蔣 昌宇, 康 欽, 大坪瀬奈, 松下晋大, 熊本栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性のグルタミン酸作動性興奮性シナプス伝達に及ぼすカルバクロール作用.	第 35 回日本疼痛学会
藤田亜美, 徐 年香, 蔣 昌宇, 羅 清甜, 康 欽, 八坂敏一, 松下晋大, 大坪瀬奈, 熊本栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達に及ぼす 1.8-および 1.4-シネオールの作用.	第 90 回日本生理学会大会
羅 清甜, 藤田亜美, 蔣 昌宇, 大坪瀬奈, 康 欽, 松下晋大, 徐 志昊, 熊本栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの膜興奮性に及ぼすカルバクロールの作用.	第 64 回西日本生理学会
吉村麻里子, 板村英和, 横尾真子, 出勝 久富崇, 久保田寧, 福島伯泰, 末岡榮三朗, 木村晋也	成人血球貪食性リンパ組織球症の診断契機と治療	日本リンパ網内系学会総会
出原 賢治	生活習慣病のバイオマーカーとしてのペリオスチン	ゲノム研究を基盤とした佐賀健康科学プロジェクト・佐賀健康科学研究シンポジウム
八坂敏一, Boyle K, 藤田亜美, 熊本栄一, Hughes DI	脊髄後角において低閾値機械受容線維終末をシナプス前抑制する膠様質ニューロンの同定.	第 64 回西日本生理学会
八坂敏一, Hughes DI, Riddell JS, 藤田亜美, 熊本栄一, 吉村 恵, Todd AJ	脊髄後角膠様質質在ニューロンの構造と機能および侵害受容情報処理回路における役割.	第 90 回日本生理学会大会
見市文香, 宮本智文, 原博満, 野崎智義, 吉田裕樹	赤痢アメーバ“マイトソーム”の硫酸活性化経路の生化学的解析	第 86 回日本生化学会大会, 日本、横浜
見市文香, 宮本智文, 原博満, 野崎智義, 吉田裕樹	赤痢アメーバ“マイトソーム”の硫酸活性化経路の生化学的解析	第 11 回分子寄生虫・マラリア研究フォーラム
見市文香, 宮本智文, 原博満, 野崎智義, 吉田裕樹	赤痢アメーバの硫酸化脂質の同定	日本寄生虫学会大会
見市文香, 宮本智文, 原博満, 野崎智義, 吉田裕樹	赤痢アメーバマイトソーム硫酸活性化経路の生理的意義の解明	第6回寄生虫感染免疫研究会
* 北野 庸, 野口智幸, 水口昌伸, 入江裕之、劉 林祥、高瀬ゆかり	早期胃癌における CT-gastrography の初期経験	第 176 回日本医学放射線学会九州地方会
北村浩晃、久保田寧、金子ゆかり、蒲池和晴、吉原麻里、板村英和、進藤岳郎、福島伯泰、安藤寿彦、末岡榮三朗、青木洋介、木村晋也	造血器腫瘍患者の中心静脈カテーテル関連血流感染症の発生に環境による違いはあるのか？	第 75 回日本血液学会学術集会
北村浩晃、矢ヶ部知美、鈴木久美子、徳丸直郎、山本美保子、荒金尚子、木村晋也	多彩な転移形態を示した食道および残胃重複癌の剖検例	第 11 回日本臨床腫瘍学会
内橋 和芳, 松延 亜紀, 青木 茂久, 山本 美保子, 薬師寺 舞, 山崎 文朗, 上村 哲司, 戸田 修二	多発肺転移を来した phosphaturic mesenchymal tumor の 1 症例	第 46 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会
野出孝一、佐藤迪夫、長友大輔、錦戸利幸、尾山純一	体内時計と循環器疾患	第 61 回日本心臓病学会学術集会
野出孝一	体内時計と生活習慣病治療	第 56 回日本糖尿病学会年次学術集会
* 佐々木かりん、右田王介、中林一彦、東元健、前田寿幸、橋本和法、松井英雄、副島英伸、高田史男、秦健一郎	胎児発育異常症例の網羅的ゲノム・エピゲノム解析	日本人類遺伝学会第 58 回大会
松下晋大, 藤田亜美, 大坪瀬奈, 上村裕平, 蔣 昌宇, 羅 清甜, 康 欽, 熊本栄一	大建中湯による蛙坐骨神経の複合活動電位の抑制.	第 90 回日本生理学会大会
松下晋大, 大坪瀬奈, 藤田亜美, 蔣 昌宇, 羅 清甜, 康 欽, 熊本栄一	大建中湯の生薬成分が蛙坐骨神経の複合活動電位に及ぼす作用.	第 36 回日本神経科学大会
中山敦史、二尾健太、山口太輔、坂田資尚、下田 良、岩切龍一、藤本一真	大腸原発の管状腺腫内に発生した印環細胞癌の 1 例	第 102 回日本消化器病学会九州支部例会
唐喜順, 志岐朋恵, 大田裕介, 久保田玲奈, 友清仁美, 松尾裕康, 山本 忍, 宮崎博喜, 松本明子, 市場正良	中国における一般住宅室内環境調査	第 83 回日本衛生学会
岡孝之、小副川学、江里口誠、薬師寺祐介、吉田誠克、水田依久子、斉藤光象、原英夫	定型的な画像所見を呈し、新規 GFAP 遺伝子変異が示唆された成人発症 Alexander 病の 1 家系	第 54 回日本神経学会学術大会
福田 誠, 佐藤 早恵, 高島 毅, 岸 知哉, 宮園 素明, 池田 裕次, 酒見 隆信	当院での IgG4 関連疾患の 3 例	第 43 回日本腎臓学会西部学術大会
二尾健太、芥川剛至、山口俊介、樋口徹、山口太輔、坂田資尚、下田 良、坂田祐之、岩切龍一、藤本一真	当院における大腸内視鏡的粘膜下層剥離術の合併症の発症率とその危険因子の解析	第 85 回日本消化器内視鏡学会総会
木村裕美、永瀬浩太郎、三砂範幸、成澤 寛	当初モンドール病と診断した足背部索状硬結の 1 例	日本皮膚科学会第 78 回佐賀地方会
中村晃子, 藤崎大整, 金子新, 藤崎雅史, 中村晃二, 安芸 雅史, 福成 健一, 池田 裕次	透析患者における高 K コントロールのためのイオン交換樹脂の有用性の検討	第 57 回日本透析医学会 学術集会

宮崎博喜・林田陽子・池田路子・市場正良	特定健康診査・特定保健指導に血清 Cr 値・尿潜血検査を追加する重要性について	第 86 回日本産業衛生学会
宮崎 博喜, 林田 陽子, 池田 路子, 市場 正良	特定健康診査・保健指導に血清クレアチニン値・尿潜血検査を追加する重要性について	第 56 回日本腎臓学会学術総会
○戸田 雄 小野南月 田畑絵美 雪竹基弘 原 英夫	難治性クリプトコッカス髄膜炎に対し AMPH-B 髄注療法を行った 1 例	第 204 回日本神経学会 九州地方会
原 英夫	認知症の治療と将来への展望	認知症予防・治療・介護の最前線シンポジウム 2013
御塚加奈子、井上卓也、三砂範幸、成澤 寛	粘膜症状を伴い、UVA 及び可視光線領域に作用波長を認めた日光蕁麻疹	第 43 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会
○中城博子、岡孝之、江里口誠、行元崇弘、森本忠嗣、吉原智仁、原英夫	脳梗塞として rt-PA を投与した 脊髄硬膜外血腫の 1 例	第 202 回日本神経学会九州地方会
江里口誠、南里悠介、薬師寺祐介、原英夫	脳梗塞超急性期 rt-PA 静注療法の現状	平成 25 年度 佐賀脳卒中病院前救護研修会
小宮一利、荒金尚子、梅口仁美、小林直美、佐藤明美、中村朝美、林真一郎、木村晋也	肺癌における SPARC の発現と臨床病理学的検討	第 54 回日本肺癌学会総会
井上周 荒金尚子 梅口仁美 小宮一利 中村朝美 小池このみ 高橋浩一郎 木村晋也 林真一郎	肺癌確定診断における EBUS-GS の有用性についての検討.	第 53 回日本肺癌学会九州支部総会、第 36 回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会.
小池このみ、小宮一利、貞松宏典、梅口仁美、中村朝美、高橋浩一郎、坂田省三、武田雄二、荒金尚子、林真一郎	肺性肥大型骨関節症を呈した非小細胞肺癌の 1 例.	第 71 回日本呼吸器学会日本結核病学会九州支部秋季学術講演会.
*大塚 伸、内海 沙織、中村 恵、高島 毅、岸 知哉、宮園 素明、酒見 隆信、池田 裕次	肺出血を来した急速進行性糸球体腎炎(RPGN)の一例	第 43 回日本腎臓学会西部学術大会
○小川始至夏、江里口誠、岡孝之、小杉雅史、佐藤克也、雪竹基弘、原 英夫	非癲癇性てんかん重責で発症し QUIC 法が診断に有用だった孤発性 Creutzfeldt-Jakob disease(CJD)の一例	第 18 回 日本神経感染症学会総会学術集会
市場正良、山本 忍、園藤陽子、森 浩司、金村 茂、濱野和可子、天野有康、中村 正、佐藤和也、木戸誠二郎、杉山浩貴、竹嶋 淳、錦織千賀、廣瀬隆穂、山内恒幸、城山 康、関顯	微量金属の施設間クロスチェック	第 41 回産業中毒・生物学的モニタリング研究会
有馬 和彦、出原 賢治	表皮におけるアレルギー性炎症の増悪化メカニズム.	第 25 回日本アレルギー学会春季臨床大会
桑代麻希、三砂範幸、井上卓也、成澤 寛	副腎皮質ステロイド薬内服が奏功した linear scleroderma の 2 例	第 65 回日本皮膚科学会西部支部学術大会
○原由紀子、水口昌伸、坂田祐之、岩切龍一、藤本一真、下田悠一郎、梶原哲郎、原田嘉文、光武良彦、原田宏一、朝長道生、藤崎純士、松本洋二、山根秀樹、今村達也、遠藤広樹	平成 23 年度佐賀県大腸がん集検の集計結果と過去との比較	第 43 回日本消化器がん検診学会九州地方会
江頭秀一、河野俊介、秋山隆行、塚本正紹、北島将、園畑素樹、堀川悦夫、馬渡正明	片側変形性股関節症患者における体幹・骨盤運動の評価-三次元動作解析装置を用いて-	第 86 回日本整形外科学会学術総会
* 鮫島梓、米田徳子、森尻昌人、米澤理可、米田哲、塩崎有宏、夫律子、中山雅弘、副島英伸、齋藤滋	母体血中 sFlt-1 が異常高値を示した Placental Mesenchymal Dysplasia の一例	第 21 回日本胎盤学会学術集会
* 青木早織、大場隆、岡島翠、坂口 勲、東元健、副島英伸、福永真治、片淵秀隆	本邦における間葉性異形成胎盤の臨床像.	第 21 回日本胎盤学会学術集会
*張旗旗、高橋良、久木田明子、成松加奈子、上原範久、山座孝義、城戸瑞穂、久木田敏夫	膜ノチューブを介する破骨細胞間融合の走査電顕的解析	第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会
浅香真知子、琴岡憲彦、水間洋、桑原洋一、高野博之、小室一成、野出孝一	慢性心不全における血中多価不飽和脂肪酸分画に対するピタバスタチンの影響	第 61 回日本心臓病学会学術集会
長友大輔、琴岡憲彦、兒玉和久、浅香真知子、佐久間理吏、野出孝一	慢性心不全の在宅管理における遠隔モニタリングデバイスの長期的有効性について	第 61 回日本心臓病学会学術集会
宮崎博喜・三隅幸子・市場正良	慢性腎臓病(CKD)重症化予防を目的とした保健師主導の「チーム保健指導」の効果	第 72 回日本公衆衛生学会総会
池田 裕次、野中 康德、吉崎 真衣、高島 毅、岸 知哉、宮園 素明、酒見 隆信	慢性腎臓病における腎臓専門外来のあり方についての検討	第 56 回日本腎臓学会学術総会
宮崎 博喜、廣田 美樹、本村 環、原 照子、井上 純一、市場 正良	慢性閉塞性肺疾患(COPD)早期発見のための「肺年齢」指標の有用性について	産業衛生学会九州地方会
松本 圭一郎、吉崎 真衣、金谷 晶子、福成 健一、宮園 素明、池田 裕次、酒見 隆信	薬剤による TINU 症候群の発症が疑われた症例	第 43 回日本腎臓学会西部学術大会
篠田洋介、三砂範幸、多良明子、白井礼子、井上卓也、成澤 寛	薬疹 New Face	日本皮膚科学会第 78 回佐賀地方会
江頭秀一、井手衆哉、河野俊介、秋山隆行、塚本正紹、園畑素樹、堀川悦夫、馬渡正明	両側同時人工膝関節全置換術前後における歩行解析～歩行機能の回復について～	第 5 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)
出原 賢治	臨床検査のガイドライン JSLM2012 の活用法～改訂のポイントを一刀両断～呼吸器.	第 60 回日本臨床検査医学会学術集会

*松坂 雅子, 加畑 宏樹, 福永 興孝, 鈴木 雄介, 正木 克宜, 持丸 貴夫, 小野 純也, 出原 賢治, 別役 智子, 浅野 浩一郎	喘息患者における血清ペリオスチン値と臨床像の検討	The 23th Congress of Intreasma Japan/North Asia,
山口俊介、二尾健太、山口太輔、坂田資尚、下田 良、坂田祐之、岩切龍一、藤本一真、藤井億秀	漿膜化浸潤を来した微小大腸癌の1例	第 95 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
Akemi Sato, Naoko Aragane, Naomi Kobayashi, MEstablishment of animal model for metastasis of human lung cancers using NOJ/SCID mice. asaru Ide, Masako Yoko, Yumi Nagano, Eisaburo Sueoka, Seiji Okada, Shinya Kimura.		72 th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
板村英和		第 35 回日本造血細胞移植学会総会
板村英和		第7回久留米日和見感染症勉強会
板村英和		第 2 回久留米・佐賀 血液凝固を学ぶ会
Keisuke Ohto, JeeYoung Kim, Masatoshi Maeki, Kenichi Yamashita, Masaya Miyazaki	Application of Microreactor System for Precious Metal Extraction with Calix[4]arene derivatives	2013 Joint of Japan/Taiwan/Korea Chemical Engineering Conference
Shota Imabayashi, Keisuke Ohto, Shintaro Morisada	Extraction Behavior of Precious and Base Metals with Imidazole Derivative of Trident Molecules	2nd International Symposium on Host Compounds for Separation and Functionality in Saga
Anup Basnet Chetry, Hiromasa Murashima, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto	PHOSPHONATE DERIVATIVE OF C3 TRIDENT "BROOM" MOLECULE FOR TRIVALENT RARE EARTH METAL SEPERATION	The 4th Saga University-Liaoning University Joint Seminar
Yuki Ueda, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Solvent extraction behavior of precious metal ions with phenylurea derivative of trident molecule	2013 Joint of Japan/Taiwan/Korea Chemical Engineering Conference
Zannatul Kowser・Takehiko Yamato	Synthesis and evaluation of novel fluorescent sensors based pyrenes	第 50 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2013 年 7 月 6 日
Hirotsugu Tomiyasu and Takehiko Yamato	Synthesis and Fluorescence Emission Properties of 2-Pyrenyl-substituted Pyrenes	The 15th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA15), (台北)、2013 年 7 月 28 日-8 月-2 日
Feng Xing・瀬戸伸之・大和武彦	ピレンを基体とする拡張 π 共役系巨大分子の合成と発光特性	24th Symposium on Physical Organic Chemistry, 学習院大学(東京)、2012 年 9 月 5 日-7 日
瀬戸 伸之・大和武彦	ピレンを基体とする新規 Y-型青色発光有機物質の合成と光特性	第 50 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2013 年 7 月 6 日
富田和樹, 小島昌一	住宅開口部における日射遮蔽と蒸発冷却による夏季室内熱環境の改善	空気調和・衛生工学会九州支部研究報告
國吉敬司, 小島昌一, 富田恵美	地域基幹病院における省 CO ₂ ・省エネ技術の実証研究, (第 1 報)施設概要と省 CO ₂ ・省エネへの取り組み	日本建築学会九州支部研究報告
富田恵美, 小島昌一, 國吉敬司	地域基幹病院における省 CO ₂ ・省エネ技術の実証研究(第 2 報)夏季実測結果分析報告及びクールヒートレンチの利用による省エネ効果分析	日本建築学会九州支部研究報告
Cong Hang・大和 武彦	超分子触媒(ヘミククルビット[6]ウリル)を用いるヘテロ環化合物の酸化反応	第10回ホスト・ゲスト化学シンポジウム, 和歌山大学, 2012 年 5 月 18-21 日
Tsugio Kitamura	[2,4,5-Tris(trimethylsilyl)phenyl](phenyl)iodonium Triflate: Convenient and Efficient Approach to Various Aryne Precursors	4th International Conference on Hypervalent Iodine Chemistry
富安 弘嗣・大和武彦	2-アリールピレン類の選択的合成と発光特性	第 50 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2013 年 7 月 6 日
Keisuke Gondo, Tsugio Kitamura	A Highly Efficient Synthesis of 1,2-Bis(trimethylsilyl)benzenes Using a Hybrid Grignard Reagent	
Akemi Kubo, Eri Tsukamoto, Toshiyuki Takamoku, Takayuki Narita, Masanao Era, and Yushi Oishi	A novel preparation method of lead-based layered perovskite thin films by using halide salts	2013 Kyushu-Seibu/Pusan-Kyeongnam Joint Symposium on High Polymers (16th) and Fibers (14th)
Cheng-Cheng Jin and Takehiko Yamato	A Ratiometric Fluorescent Molecular Swich for Cu ²⁺ Based on Hexahomotrioxacalix[3]arene Armed with Pyrene Moieties	The 74h Saga University -Liaoning University, 佐賀大学 2014 年 3 月 6 日
Yuusuke Maeda, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Shintaro Morisada	Adsorption Behavior of N-Isopropylacrylamide Copolymer Gel for Pd(II) in Hydrochloric Acid	The 4th Saga University-Liaoning University Joint Seminar
Takuya Hanada, Hirotooshi Sadamatsu, Shintarou Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Adsorption of alkali metals using methylene cross-linked calix[4]arene resin	The 4th Saga University-Liaoning University Joint Seminar

Takuya Hanada, Hirotooshi Sadamatsu, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Adsorption of alkali metals using methylene-bridged calix[4]arene resin	The 8th Daegu University-Saga University Joint Seminars
K.Ohto, J.-Y. Kim, S.Morisada, M.Miyazaki, K.Yamashita, Y.Hatanaka, M.Maeki	AVAILABILITY OF MICROREACTOR EXTRACTION SYSTEM INCORPORATING CALIXARENE DERIVATIVES FOR RARE METAL SEPARATION	2nd International conference on methods and materials for separation processes SEPARATION SCIENCE – THEORY AND PRACTICE 2013
Keisuke Ohto, Jee Young Kim, Shintaro Morisada, Masaya Miyazaki, Kenichi Yamashita, Yuuta Hatanaka, Masatoshi Maeki	Availability of Microreactor Extraction System with Calixarene Derivatives for Rare Metal Separation	2nd International Symposium on Host Compounds for Separation and Functionality in Saga
Hirotooshi Sadamatsu, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Behavior of alkali metal extraction with calix[4]arene acetic acid – propyl derivatives	2nd International Symposium on Host Compounds for Separation and Functionality in Saga
Takehiko Yamato, Xing Feng and Nobuyuki Seto	Blue-Emitting Butterfly-Shaped 1,3,5,9-Tetraarylpyrenes: Synthesis, Crystal Structures and Photophysical Properties	The 15th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA15), (台北), 2013 年 7 月 28 日-8 月-2 日
高橋栄光, 石渡洋一, 手塚泰久, 木田徹也, 石井啓文, 稲垣祐次, 河江達也, 南任真史, 石橋幸治	Co ドーブルチル型 TiO2 における強磁性 Co イオン	日本物理学会 2013 年秋季大会
石渡洋一, 高橋栄光, 赤司健太, 今村真幸, 東純平, 高橋和敏, 鎌田雅夫, 石井啓文, 手塚泰久, 稲垣祐次, 河江達也, 木田徹也, 南任真史, 石橋幸治	Cr ドープ V2O3 ナノ結晶の金属絶縁体転移とその前駆現象	物構研サイエンスフェスタ 2013
K.Ohto, H.Sadamatsu, S.Morisada, H.Kawakita	EFFECT OF COORDINATIVELY-INERT ALKYL GROUPS ON SIZE-DISCRIMINATING EXTRACTION OF ALKALI METAL IONS WITH PROPYL-ACETIC ACID CROSSED TYPE CALIX[4]ARENE	2nd International conference on methods and materials for separation processes SEPARATION SCIENCE – THEORY AND PRACTICE 2013
Kosuke Niino, Shun Sakimura, Takayuki Narita, and Yushi Oishi	Effect of crystallization condition on pyramidal shape of polyethylene single crystal	2013 Kyushu-Seibu/Pusan-Kyeongnam Joint Symposium on High Polymers (16th) and Fibers (14th)
Keisuke Ohto, Tomohisa Ikeda, Hiroshi Murakami, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita	Effect of Phenoxy Oxygen Atoms on Metal Extraction with Detuned Difluoroacetic Acid Derivative of Calix[4]arene	2nd International Symposium on Host Compounds for Separation and Functionality in Saga
Yuki Ueda, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Extraction behavior of precious metal ions with phenylurea derivative of trident molecule	Satellite Symposium in Association with 5th International Symposium on Nano & Supramolecular Chemistry
Jee Young Kim, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto	Extractive separation of precious metals with calix[4]arene derivatives and interfacial activity in liquid-liquid extraction system	The 4th Saga University-Liaoning University Joint Seminar
Hang Cong, Juan Yu, Takehiko Yamato, and Zhu Tao	Hang Cong [†] D	Third International Conference on Cucurbiturils, University of New South Wales Canberra (Australia), 2013 年 11 月 18 日-11 月-20 日
赤司健太, 石渡洋一, 石井啓文, Y.-F. Liao, K. D. Tsuei, 手塚泰久, 稲垣祐次, 河江達也, 木田徹也, 南任真史, 石橋幸治	hcp-Ni の硬X線光電子分光	第 27 回日本放射光学学会年会
Hang Cong, Ding-Ding Xiang, Zhu Tao, and Takehiko Yamato	Host-guest Interactions of Hemicucurbiturils with Phenazine	Third International Conference on Cucurbiturils, University of New South Wales Canberra (Australia), 2013 年 11 月 18 日-11 月-20 日
K.Ohto, J.-Y. Kim, Y.Hatanaka, M.Maeki, K.Yamashita, M.Miyazaki	Metal Extraction with Calix[4]arene Derivatives by Using Microreactor System	12th International Conference on Calixarenes (Calix 2013)
Natsuki Matsuda, Takayuki Narita, Masayuki Tokita, Yushi Oishi	Morphogenesis observed in alginate gels formed in capillary glass tubes	2013 Kyushu-Seibu/Pusan-Kyeongnam Joint Symposium on High Polymers (16th) and Fibers (14th)
Anup Basnet Chetry, Hiromasa Murashima, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Newly designed highly efficient phosphoric acid extractant for rare earth metal cation	2nd International Symposium on Host Compounds for Separation and Functionality in Saga
Nobuyuki Seto, Xing Feng, and Takehiko Yamato	Photophysical Properties of Pyrene-Based Y-shaped Blue Light-Emitting Monomers	The 74th Saga University -Liaoning University, 佐賀大学 2013 年 3 月 6 日
Syouta Tokunaga, Ayaka Hashimoto, Takayuki Narita, Yushi Oishi	Preparation of alginate-chitosan and alginate-gelatin Janus particles with enzyme activities	2013 Kyushu-Seibu/Pusan-Kyeongnam Joint Symposium on High Polymers (16th) and Fibers (14th)
Akemi Kubo, Eri Tsukamoto, Toshiyuki Takamoku, Takayuki Narita, Masanao Era, Yushi Oishi	Preparation of lead-based layered perovskite thin films at a low concentration of lead halide at a low concentration of lead halide	8th Daegu-Saga University Joint Seminar Korea Daegu University
Takahiro Honda, Hirokazu Takakura, Takayuki Narita, Yushi Oishi	Preparation of self-beating microcapsule triggered by glucose recognition	2013 Kyushu-Seibu/Pusan-Kyeongnam Joint Symposium on High Polymers (16th) and Fibers (14th)
Yusuke Ikejiri・Xuekai Jiang・Takehiko Yamato	Regio- and conformational selective synthesis of O-alkylated hexahomotrioxacalix[3]arenes	
Xuekai Jiang・Takehiko Yamato	Regio- and conformational selective synthesis of O-alkylated hexahomotrioxacalix[3]arenes	

Hirotsugu Tomiyasu and Takehiko Yamato	Selective synthesis and fluorescence emission properties of 2-arylpyrenes	2nd international symposium on host compounds for separation and functionality in Saga, 佐賀大学、2013 年 7 月 12 日
T. Narita, H. Takakura, H. Kawakita, Y. Oishi	Self-oscillation observed in pH sensitive microcapsules and its release behavior	
H. Hoke, Y. Yamada, T. Shimomura, T. Umecky, T. Takamuku	Solvation Structure of Ni(II) Ion in Imidazolium-based Ionic Liquid-Molecular Liquid Mixtures	33rd International Conference on Solution Chemistry, Kyoto, Japan
Kaori Nose, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Solvent extraction behavior of aluminum group metals with benzoic acid of trident molecule	2013 Joint of Japan/Taiwan/Korea Chemical Engineering Conference
Kaori Nose, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Solvent extraction of aluminum group metals with benzoic acid of trident molecule	The 26th International Symposium on Chemical Engineering(ISCHE 2013)
Yuki Ueda, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Solvent extraction of precious metal ions with phenylurea derivative of trident molecule	The 26th International Symposium on Chemical Engineering(ISCHE 2013)
Yuki Ueda, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Solvent Extraction of Precious Metal Ions with Phenylurea Derivative of Trident Molecule	2nd International Symposium on Host Compounds for Separation and Functionality in Saga
Jee Young Kim, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto	Studies on the extractive separation of precious metals with calix[4]arene derivatives and behavior of interfacial tension	The 26th International Symposium on Chemical Engineering(ISCHE 2013)
Jee Young Kim, Keisuke Ohto	Studies on the kinetics and equilibrium of silver extraction with ketonic calix[4]arene	2nd International Symposium on Host Compounds for Separation and Functionality in Saga
Jee Young Kim, Keisuke Ohto	Studies on the kinetics of silver extraction with ketonic calix[4]arene in modified Lewis cell system	Satellite Symposium in Association with 5th International Symposium on Nano & Supramolecular Chemistry
Hang Gong・Takehiko Yamato	Supramolecular catalysis of oxidation of heterocyclic compounds by hemicucubit[6]urils under mild conditions	
Md. Monarul Islam ・Takehiko Yamato	Synthesis and conformational studies of novel chiral homocalix[3]arenes	
Hirotsugu Tomiyasu and Takehiko Yamato	Synthesis and Fluorescence Emission Properties of Pyrene-based Extended π -conjugated Giant Molecules	The 74h Saga University -Liaoning University, 佐賀大学 2014 年 3 月 6 日
ChengCheng Jin・Takehiko Yamato	Synthesis and inclusion behaviors heteroditopic receptors based on hexahomotrioxacalix[3]arenes	第 50 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2013 年 7 月 6 日
Nobuyuki Seto and Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Y-shaped Blue Light-Emitting Monomers	2nd international symposium on host compounds for separation and functionality in Saga, 佐賀大学、2013 年 7 月 12 日
Nobuyuki Seto・Xing Feng・Takehiko Yamato	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Y-shaped Blue Light-Emitting Monomers	The 8th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, Daegu University (Korea), 2013 年 11 月 27 日-29 日
Cheng-Cheng Jin and T. Yamato	Synthesis of inclusion behaviors heteroditopic receptors based on hexahomotrioxacalix[3]arenes	
Hiroaki Kensuke, Hanamoto Takeshi	Synthesis of mono-fluorinated cyclopropanes and aziridines using α -(fluorovinyl)diphenylsulfonium salt	17th European Symposium on Fluorine Chemistry, Paris, July 21-25, 2013
Takeshi Hanamoto	Synthetic applications of β -(trifluoromethyl)vinyl sulfonium salt	The 4th Japan-Korea-China Joint Seminar on Fluorine Chemistry, WINC AICHI, Nagoya, Japan, April 10-12, 2013
Yuusuke Maeda, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Shintaro Morisada	Temperature-Swing Adsorption of Pd(II) by N-Isopropylacrylamide Copolymer Gel	2013 Kyushu-Seibu/Pusan-Kyeongnam Joint Symposium on High Polymers (16th) and Fibers (14th)
石渡洋一, 高橋栄光, 今村真幸, 東純平, 高橋和敏, 鎌田雅夫, 石井啓文, 手塚泰久, 稲垣祐次, 河江達也, 木田徹也, 南任真史, 石橋幸治	V2O3 ナノ結晶における Cr ドープ量依存性	日本物理学会 第 69 回年次大会
Honami Takajo, Natsuki Matsuda, Yuko Inoue, Saphwan Al-Assaf, Yushi Oishi, Takayuki Narita	Viscoelastic properties of soy sauce-alginate paste	2013 Kyushu-Seibu/Pusan-Kyeongnam Joint Symposium on High Polymers (16th) and Fibers (14th)
Honami Takajo, Natsuki Matsuda, Yuko Inoue, Saphwan Al-Assaf, Yushi Oishi, Takayuki Narita	Viscoelastic properties of soy sauce-alginate paste	8th Daegu-Saga University Joint Seminar Korea Daegu University
廣瀧謙亮, 武廣唯, 鎌石糧, 山田泰教, 花本猛士	α -フルオロビニルスルホニウム塩の合成と反応	第36回フッ素化学討論会、平成25年10月3、4日、つくば国際会議場
日隈康仁, 梅木辰也, 高椋利幸	アセトニトリル-水混合溶媒中での 1,3-Butanediol の分子内水素結合形成によるコンフォメーション変化	第 36 回溶液化学シンポジウム, 札幌
日隈康仁, 梅木辰也, 高椋利幸	アセトニトリル-水混合溶媒中における 1,3-Butanediol の分子内水素結合とコンフォメーション変化	第 50 回化学関連支部合同九州大会, 小倉
上田 祐生, 森貞 真太郎, 川喜田 英孝, 大渡 啓介	アミドおよびウレア型三脚状分子抽出試薬を用いた貴金属イオンの抽出特性評価	化学工学会 第 45 回秋季大会

保家宇宙, 山田泰教, 下村拓也, 梅木辰也, 高椋利幸	イオン液体-分子性液体混合溶液中における遷移金属イオンの溶媒和構造	第36回溶液化学シンポジウム, 札幌
高椋利幸, O. Yagafarov, 片山芳則, 梅木辰也	エネルギー分散型 X 線回折法による高温高压における塩化カルシウム水溶液の構造	日本化学会第94回春季年会, 名古屋
定松浩俊, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	カリックス[4]アレーンプロピル-酢酸誘導体によるアルカリ金属抽出特性	第32回溶媒抽出討論会
大渡啓介, キム ジーヨン, 森貞真太郎, 真栄城 正寿, 宮崎真佐也	カリックス[4]アレーン誘導体をマイクロリアクター系に適した金属抽出	化学工学会 第79年会
徳永翔太・橋本彩香・成田貴行・大石祐司	キトサンとアルギン酸ナトリウムゲルからなるヘテロ微粒子の調製	第50回化学関連支部合同九州大会
大渡啓介, 池田朋央, 村上浩, 森貞真太郎, 川喜田英孝	キレート能を抑制したカリックス[4]アレーンフルオロ酢酸誘導体による金属イオンの抽出	第32回溶媒抽出討論会
本田 貴浩, 高倉 洋一, 成田 貴行, 大石 祐司	グルコース応答性を示す自律振動型マイクロカプセルの調製と制御	第64回コロイドおよび界面化学討論会
都 真喜・Zannatul Kowser・大和武彦	ジチエノチオフェンを基体とする新規拡張 π -共役発光体の合成と光物性	第43回複素環化学討論会, 長良川国際会議場(岐阜市), 2013年10月17日-19日
大渡啓介, 池田朋央, 村上浩, 森貞新太郎, 川喜田英孝	ジフルオロ酢酸型カリックス[4]アレーン誘導体による金属イオンの抽出	第29回日本イオン交換研究発表会
黒田裕介・小山貴義・成田貴行・大石祐司	チオール基を有する両親媒性分子を用いた気-水界面での銀薄膜処理	第50回化学関連支部合同九州大会
大渡啓介	テラーメイド型金属分離剤の機能と理解, その応用	佐賀県高等学校理科教育研究大会講演会
権藤圭祐, 北村二雄	ハイブリッドグリニャール反応剤を用いる1,2-ビス(トリメチルシリル)ベンゼンの高収率合成法	第23回万有福岡シンポジウム
権藤圭祐, 北村二雄	ハイブリッドグリニャール反応剤を用いる1,2-ビス(トリメチルシリル)ベンゼンの高収率合成法の開発	第50回化学関連支部合同九州大会
北村二雄, 権藤圭祐	ハイブリッドメタル(Mg/CuCl)による1,2-ジクロロベンゼン類のトリメチルシリル化反応	第60回 有機金属化学討論会
久保 明美, 塚本 枝理, 成田 貴行, 江良 正直, 大石 祐司	ハロゲン化合物を用いる層状ペロブスカイト薄膜の高効率鉛配位法	第64回コロイドおよび界面化学討論会
瀬戸伸之・大和 武彦	ピレンを基体とした[n]ヘリセンの合成と構造および発光特性	日本化学会第94回春季年会 名古屋大学 2014年3月30日
富安弘嗣・大和武彦	ピレンを基体とする拡張 π 共役系巨大分子の合成と発光特性	日本化学会第94回春季年会 名古屋大学 2014年3月27日
○富安弘嗣・馮 星・瀬戸伸之・大和武彦	ピレンを基体とする拡張 π 共役系巨大分子の合成と発光特性	第7回 有機 π 電子系シンポジウム, 高崎(群馬)2013年12月13日-14日
上田祐生, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	フェニルウレア型三脚状分子による貴金属イオンの抽出特性	第31回九州分析化学若手の会 夏季セミナー
上田祐生, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	フェニルウレア型三脚状分子による貴金属イオンの溶媒抽出挙動	第32回溶媒抽出討論会
花本猛士	フルオロビニルスルホニウム塩の反応	学振フッ素化学155委員会第96回研究会, 2014, 1, 23-24(京都)
池尻 悠亮・江学 □・大和武彦	ヘキサホモトリオキサリックス[3]アレーン類の位置選択的置換基導入反応	日本化学会第94回春季年会 名古屋大学 2014年3月27日
大渡啓介, 森貞真太郎, 宮崎真佐也, 山下健一, 真栄城正寿	ホスト分子による 希少金属オンサイト分離のためのマイクロリアクターシステムの構築	平成25年度環境研究総合推進費中間評価ヒアリング
稲生雅裕・崎村峻・成田貴行・大石祐司	ポリエチレン単結晶のピラミッド形態に及ぼす結晶化条件の影響	第50回化学関連支部合同九州大会
花田拓也, 定松浩俊, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	メチレン架橋型大環状樹脂によるアルカリ金属の吸着	第50回化学関連支部合同大会
北村二雄, 田中亮太, 赤間海	ヨウ素回収剤への応用を目指したシクロデキストリン含有ポリマーの合成	第50回化学関連支部合同九州大会
牟田和高, 北村二雄	ヨードアレーンを触媒とする1,3-ジカルボニル化合物のフッ素化反応	日本化学会第94回春季年会
北村二雄, 牟田和高, 牟田健祐	ヨードアレーンを触媒とする1,3-ジカルボニル化合物のフッ素化反応	第40回 有機典型元素化学討論会
北村二雄, 牟田和高, 栗木聡史	ヨードアレーンを触媒とする1,3-ジカルボニル化合物のフッ素化反応	第16回 ヨウ素学会シンポジウム
牟田健祐, 北村二雄	ヨードシルアレーンを用いたアセトフェノン誘導体の簡便なフッ素化反応	日本化学会第94回春季年会
北村二雄, 牟田和高, 牟田健祐, 宮崎真佐也	ヨードシルアレーンを用いるフッ素化反応の開発	第16回連携大学院産学官交流セミナー
塚本 枝理, 高椋 利幸, 成田 貴行, 江良 正直, 大石 祐司	ラングミュア膜における鉛系層状ペロブスカイト構造の形成条件	第64回コロイドおよび界面化学討論会
大渡啓介, 村島敬昌, 森貞真太郎, 川喜田英孝	リン酸系官能基を有する三脚状分子による希土類の抽出	化学工学会 第45回秋季大会
野瀬香織, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	安息香酸型三脚状分子による金属イオンの抽出挙動	第32回溶媒抽出討論会
塚本枝理・高椋利幸・成田貴行・江良正直・大石祐司	鉛系層状ペロブスカイト構造の気水界面上形成における水相溶存イオンの役割	第50回化学関連支部合同九州大会

前田悠介, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	感温性高分子および界面活性剤を保護剤とした Pt ナノロッドの合成	第 24 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
前田悠介, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	感温性高分子ゲルによる Pd(II)吸着特性の検討	化学工学会第 45 回秋季大会
前田悠介, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	感温性高分子ゲルを用いた Pd(II)の温度スイング吸着	第 27 回日本吸着学会研究発表会
首藤俊介, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	感温性高分子ゲルを用いた液相還元法による Pt ナノキューブの合成	第 24 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
本田貴浩・高倉洋一・成田貴行・大石祐司	基質特異性を示す自律振動カプセルの調製と制御	第 50 回化学関連支部合同九州大会
上田 祐生、大渡啓介	貴金属回収のための新規分離剤開発に関する研究	クラレ研究打合せ説明会
池田 達郎,成田 貴行,大石 祐司	光-熱変換能を有するゲルの温度ヒステリシス	第 64 回コロイドおよび界面化学討論会
長谷川裕之, 谷川秀平	高周波マグネトロンスパッタリング法による(Ti,W)N 薄膜の開発	精密工学会 九州支部 宮崎地方講演会
長谷川裕之 谷川秀平	高周波マグネトロンスパッタリング法によるチタン系窒化膜の合成および膜特性の評価	日本機械学会 九州支部 第 67 期総会・講演会
角 崇弘, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	高分子修飾シリカ粒子を用いた移流集積法による非最密充填単粒子膜の作製	第 24 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
根上武仁, 山之上雄士, 小島昌一	佐賀平野における地中熱利用のための土の熱物性基礎実験	土木学会西部支部研究発表
原奈菜美, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	鎖長制御した高分子修飾シリカ粒子による非最密充填コロイド粒子膜の創製	第 24 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
今井 滋, 小島昌一	指向性を考慮した放射暖房と対流暖房の最適運用方法の検討	空気調和・衛生工学会九州支部研究報告
今井滋, 小島昌一	指向性を考慮した放射暖房の最適運用方法の検討	日本建築学会九州支部研究報告
住吉栄作, 小島昌一	室内環境における小型グローブ温度計の測定精度に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告
松田夏希, 井上侑子, Saphwan Al-Assaf, 成田貴行、大石祐司	醤油-アルギン酸ペーストの粘弾性挙動	第 36 回日本バイオレオロジー学会年会
高上穂奈美・松田夏希・井上侑子・Saphwan Al-Assaf・成田貴行・大石祐司	醤油を含んだアルギン酸ペーストの粘弾性挙動	第 50 回化学関連支部合同九州大会
北村二雄、牟田和高、栗木聡史	触媒的フッ素化反応の開発	第 50 回化学関連支部合同九州大会
権藤圭祐、北村二雄	新規官能性超原子化ヨウ素ベンザイン発生剤の合成と多環系複素環化合物の合成	第 16 回 ヨウ素学会シンポジウム
権藤圭祐、北村二雄	新規官能性超原子価ヨウ素ベンザイン発生剤の合成と多環系芳香族化合物の合成	日本化学会第 94 春季年会
小島昌一, 今井滋, 富田恵美, 中熊霞	水生植物による夏季城壕水温抑制に関する基礎的研究	空気調和・衛生工学会九州支部研究報告
野瀬香織, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	側鎖の異なる三脚状トリオール化合物による金属の抽出特性	第31回九州分析化学若手の会 夏季セミナー
今井滋, 小島昌一	暖房室における放射暖房と対流暖房の熱的快適性の比較	空気調和・衛生工学会九州支部研究報告
富田恵美, 小島昌一, 松川和弘, 國吉敬司	地域基幹病院における省 CO2・省エネ技術の実証研究 (第 3 報) シミュレーションモデル概要及びシミュレーションを用いた冬季運用改善検討	日本建築学会九州支部研究報告
富田恵美, 小島昌一, 國吉敬司	地域基幹病院における省 CO2・省エネ技術の実証検証 (第2報)夏季および冬期実測結果報告	空気調和・衛生工学会九州支部研究報告
松川和弘, 小島昌一, 富田恵美, 國吉敬司	地域基幹病院における省 CO2・省エネ技術の実証研究 (第 4 報)竣工後の実績報告および BEMS データ分析による不具合早期発見・運用改善検討	日本建築学会九州支部研究報告
國吉敬司, 小島昌一, 富田恵美	地域基幹病院における省 CO2・省エネ手法の技術検証 第 1 報 施設概要および省 CO2・省エネへの取り組み	日本建築学会大会学術講演会
富田恵美, 小島昌一, 國吉敬司	地域基幹病院における省 CO2・省エネ手法の技術検証 第 2 報 省 CO2 の取り組みによる省 CO2 効果の検証	日本建築学会大会学術講演会
國吉敬司, 小島昌一, 三浦満雄, 富田恵美, 松川和弘	地域基幹病院における省エネ・省 CO2 技術の実証研究 (第 1 報)施設概要と 1 年間のエネルギー使用状況報告	空気調和・衛生工学会大会学術講演論
富田恵美, 小島昌一, 三浦満雄, 國吉敬司, 松川和弘	地域基幹病院における省エネ・省 CO2 技術の実証研究 (第 2 報) 夏季・冬季の測定結果	空気調和・衛生工学会大会学術講演論
國吉敬司, 小島昌一, 富田恵美	地域基幹病院における省エネ・省 CO2 手法の技術検証 (第 1 報)建物および省エネ・省 CO2 技術概要	空気調和・衛生工学会九州支部研究報告
松上 優, 山本遼平, 熊井 隆, 梅木辰也, 高 椋利幸	低温における 2,2,2-Trifluoroethanol-水および Ethanol-水混合溶液の NMR スペクトル	第 36 回溶液化学シンポジウム, 札幌
勝部翔太郎, 木下 勝, 梅木辰也, 高椋利幸, 勝本之晶, 嘉治寿彦, 平本昌宏, 西山 桂	芳香族が有機溶媒中において自己組織化したオルガノゲルの構造:光学材料への展開	日本化学会第 94 回春季年会, 名古屋
松田 夏希, 鵜田 昌之, 成田 貴行, 大石 祐司	毛細管中で発現するアルギン酸カルシウムゲルの形態	第 64 回コロイドおよび界面化学討論会
松田夏希・鵜田昌之・成田貴行・大石祐司	毛細管内で生じるアルギン酸ゲルの自発的形態発現機構の解明	第 50 回化学関連支部合同九州大会
Akihiro SUZUKI, Maki NAGATA, Naoya YAMAMOTO, Susumu ARIMA, Toyooki ANAI and Ann M. Hirsch	Control of mycorrhizal infection by Red/Far-Red Ratio through jasmonic acid signaling	Plant Biology 2013

仲光和佐、柘植圭介、鶴田裕美、吉村臣史、柳田晃良、永尾晃治	n-3 PUFA 含有複合脂質摂取が肥満マウスの病態および体脂肪組成に及ぼす影響	平成 25 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本食品科学工学西日本支部合同大会
齊藤森太郎、和根崎 智、橘 伸彦、柳田晃良、永尾晃治	β -コングリシニンペプチドが肥満ラットの病態発症に及ぼす影響	平成 25 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本食品科学工学西日本支部合同大会
馬場龍栄、加藤拓也、城内文吾、永尾晃治、柳田晃良、佐藤匡央	レスベラトロールはアナログであるブテロステルペンよりも動脈硬化症の進展を抑制する	平成 25 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本食品科学工学西日本支部合同大会
S. Nishizono, K. Nagao, M. Koga, M. Yoshimura, T. Kai, H. Kataoka, N. Fukuda	Leaf extract of dietary blueberry (vaccinium ashei read) prevents fatty liver in ob/ob mice.	20th International congress of nutrition, Granada (Spain)
Y. Tanaka, K. Nagao, H. Nakagiri, T. Nagaso, Y. Iwasa, H. Mori, M. Asahina, K. Imaizumi, M. Sato	Increase of serum cholesterol level induced by dietary cholesterol involves secretion of triacylglycerol from liver in EXHC rats.	20th International congress of nutrition, Granada (Spain)
T. Yanagita, B. Shirouchi, K. Nagao	Beneficial effects of dietary phospholipids on metabolic syndrome.	20th International congress of nutrition, Granada (Spain)
永尾晃治、仲光和佐、小島浩一、永井利治、柳田晃良	オゾン化脂質の肥満誘発性脂肪肝改善作用	第 52 回日本油化学会
永尾晃治、齊藤森太郎、杉山大二郎、塙雅明、柳田晃良	天然物由来成分が肥満誘発性病態に及ぼす影響	第 50 回化学関連支部合同九州大会
仲光和佐、柳田晃良、永尾晃治	In vitro および in vivo 実験系を用いた食品成分の脂質低下作用評価	第 50 回化学関連支部合同九州大会
齊藤森太郎、和根崎智、橘伸彦、柳田晃良、永尾晃治	β コングリシニンペプチドの栄養生理作用に関する研究	第 50 回化学関連支部合同九州大会
稲福征志、永尾晃治、柳田晃良、屋宏典	食餌性リン脂質がコンカナバリン A 誘導性肝炎の進展に及ぼす影響	第 67 回日本栄養・食糧学会大会
Koji Nagao, Masami Sakoh, Shunichi Kai, Koichi Kojima, Toshiharu Nagai, Teruyoshi Yanagita	Physiological functions of dietary ozonated-olive oil in mice.	104th American oil chemist' society annual meeting & expo, Montreal (Canada)
Teruyoshi Yanagita, Koji Nagao	Functional lipids and risk of metabolic syndrome.	104th American oil chemist' society annual meeting & expo, Montreal (Canada)
西山安江、川野明日香、古田榛子、関 清彦、光富 勝	Gongronella butleri の生産する exo-chitobiohydrolase の切断特異性	日本農芸化学会大会 2014 年度大会 (東京)
石丸宮子、大山裕夏、田中理紗、関 清彦、上田敏久、光富 勝	キチン結合性抗菌ペプチド Ac-AMP の抗菌活性に関わるアミノ酸残基	第 20 回日本生物工学会九州支部佐賀大会 (佐賀大学)
西山安江、川野明日香、古田榛子、関 清彦、光富 勝	Gongronella butleri の生産する exo-chitobiohydrolase の作用様式	第 20 回日本生物工学会九州支部佐賀大会 (佐賀大学)
竹中祥子、平野勝紹、関 清彦、光富 勝、大沼貴之、深溝 慶	キトヘテロオリゴ糖を用いた Family GH19 キチナーゼの基質結合様式の解析	日本応用糖質科学会平成 25 年度大会 (第 62 回) 講演要旨集、p25 (鹿児島大学)
Takenaka S., K. Hirano, K. Seki, M. Mitsutomi, T. Ohnuma, T. Fukamizo	Interaction of partially N-acetylated chitooligosaccharides with a family GH 19 chitinase from moss Bryum coronatum	
Seki, K., M. Ishimaru, A. Momoshima I., Y. Ohyama I., T. Suga, T. Ueda, H. Kodama, M. Mitsutomi	Antimicrobial and antifungal activity of a hevein-like chitin binding peptide Ac-AMP from Amaranthus caudatus	
平 順一、関 清彦、光富 勝、宗 伸明、上田敏久	Tyr を含む化合物の細胞毒性について	日本農芸化学会関西・中四国・西日本支部および日本ビタミン学会近畿・中国四国・九州沖縄地区合同大会 2013 年度合同広島大会 (県立広島大学)
西山安江、千原早央里、平野勝紹、関 清彦、光 富勝	Gongronella butleri の生産する exo-chitobiohydrolase の精製と性質	日本農芸化学会関西・中四国・西日本支部および日本ビタミン学会近畿・中国四国・九州沖縄地区合同大会 2013 年度合同広島大会 (県立広島大学)
石丸宮子、大山裕夏、田中理紗、関 清彦、上田敏久、光富 勝	アマランサス由来キチン結合性抗菌ペプチドの塩基性アミノ酸の役割	第 50 回化学関連支部合同九州大会 (北九州国際会議場)
Mitsutomi M., Y. Nishiyama, S. Chihara, K. Hirano, K. Seki	Characteristics of Exo-chitosanase from Gongronella butleri	第 11 回ヨーロッパキチン・キトサン国際会議 (ポルトガル)
加茂瑞樹・山尾 僚・穴井豊昭・徳田 誠	ダイズの被食防御における恒常-誘導防御間のトレードオフと物理的・化学的防御形質の使い分け	第 58 回日本応用動物昆虫学会大会
安達修平・白濱祥平・徳田 誠	セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシはなぜ夏にいなくなり、秋に再び出現するのか？	第 58 回日本応用動物昆虫学会大会
徳田 誠・川内孝太	スダジイタマバエの生態特性と地理的分布および伊豆諸島南部における大発生	第 61 回日本生態学会大会
岸田 竜・徳田 誠	ヨツモンシデムシの音声	第 61 回日本生態学会大会
白濱祥平・山尾 僚・徳田 誠	オオイヌタデの防御形質二型とトリコーム生産のコストおよびベネフィット	第 61 回日本生態学会大会
徳田 誠	植物-植食者間相互作用と病害虫防除	第 30 回佐賀県植防職員会総会

塩見宜久・神代 瞬・口本文孝・白石祥子・井上広光・徳田 誠	ナシ葉片を用いたチュウゴクナシキジラミの飼育法の検討および温度が本種の発育に及ぼす影響	第 87 回九州病害虫研究発表会
徳田 誠	虫こぶ形成昆虫の世界、三宅島で大発生したスダジータマバエと、激減したシロダモタマバエを中心に	三宅島アカコッコ館講演会
加茂瑞樹・山尾 僚・穴井豊昭・徳田 誠	恒常／誘導防御と物理的・化学的形質を用いたダイズのハスモンヨトウに対する被食防御戦略	日本昆虫学会九州支部第 61 回大会
永峰一騎・山尾 僚・徳田 誠	アカメガシワホソガの産卵・成長戦略	日本昆虫学会九州支部第 61 回大会
緒方華菜子・田中弘毅・徳田 誠	アリ散布植物オドリコソウの結実時期における訪問および種子運搬アリ相	日本昆虫学会九州支部第 61 回大会
大橋英純・末次主幸・望岡佑佳里・鈴木信彦・徳田 誠	アリ随伴性アブラムシがムラサキシジミ成虫の産卵場所選択と幼虫のアリ随伴に及ぼす影響	日本昆虫学会九州支部第 61 回大会
久保友理恵・山尾 僚・徳田 誠	ヤクシマルリジジミの寄主利用様式	日本昆虫学会九州支部第 61 回大会
神代 瞬・倉橋拓也・田中海佐子・紙谷聡志・徳田 誠	オカモトフタテンヒメヨコバイの産雌性単為生殖に生殖操作細菌は関与しているのか？	第 45 回種生物学シンポジウム
田中弘毅・徳田 誠	同所的なアリ散布植物2種の散布者構成比とその適応意義	第 45 回種生物学シンポジウム
徳田 誠	虫コブの不思議	八丈島ビジターセンター自然教室
松尾和典・徳田 誠・上地奈美・湯川淳一	日本産 <i>Asphondylia</i> 属(ハエ目:タマバエ科)に寄生する <i>Eurytoma</i> 属(ハチ目:カタピロコバチ科)の分類学的地位と寄主範囲	日本昆虫学会第 73 回大会
田中誠二・徳田 誠	トノサマバツタの地理的変異: 正木クライン	日本昆虫学会第 73 回大会
白濱祥平・山尾 僚・徳田 誠	オオイヌタデの葉のトリコームが植食性昆虫の摂食に及ぼす影響	日本昆虫学会第 73 回大会
安達修平・吉富博之・徳田 誠	セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシの夏季没姿現象とそのメカニズム	日本昆虫学会第 73 回大会
徳田 誠・湯川淳一	旧北区東部産ニセハリオタマバエ亜族(ハエ目:タマバエ科)の分類学的再検討	日本昆虫学会第 73 回大会
Tokuda, M. and Kawauchi, K.	Taxonomic status and ecology of a gall midge (Diptera: Cecidomyiidae) inducing inflorescence galls on <i>Castanopsis sieboldii</i> (Fagaceae) with special reference to its distribution on the Izu Islands, Japan	6th International Symposium on the Biology and Ecology of Gall Inducing Arthropods and Related Endophytes

受賞

受賞者氏名	学術(学会)賞名	受賞課題
進藤岳郎	麒麟児賞	MEK 阻害剤によるアロ反応性 T 細胞の選択的抑制と GVHD 制御
伊藤 学	Young Investigator's Award 最優秀賞	新組織工学を用いた自己細胞由来小口径血管の開発
野口 亮	9th Cardiovascular Translational Research Conference Award	新規組織工学を用いた心臓・血管再生医療
○甲斐敬太、北島吉彦、宮崎耕治、徳永藏	特許証 特許第 5413818 号	蛍光多重染色による蛋白定量法
大塚泰史	第 48 回日本小児腎臓病学会学術集会優秀演題奨励賞(臨床部門)	シスチン尿症を伴うゲノムワイド父性片親性ダイソミー症例の遺伝子解析

知的財産の出願等

受賞者氏名	学術(学会)賞名
花本猛士	ジフルオロメチル基含有化合物及びその用途
柳田晃良、永尾晃治、村上茂	ゴマ由来の経口組成物
柳田晃良、永尾晃治、中森俊宏、古田均、高松清治	ペプチド性脂質低下剤
柳田晃良・永尾晃治、古賀晋治・松本英之	アディポネクチン上昇剤

外部資金

代表者名	資金の名称	種目	研究課題等	金額(千円)
久木田明子	科学研究費補助金	基盤研究◎	shRNA ライブラリーを用いた新たな破骨細胞分化制御因子の探索と調節機構の解析	2,470
久木田明子	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究(分担)	膜修復制御分子による骨吸収制御:前破骨細胞特異的膜融合における膜修復イメージング	104
小島研介	佐賀大学研究者海外派遣事業	佐賀大学研究者海外派遣事業	53 経路を分子標的とした新たな造血管腫瘍治療法の開発	600
原博満	佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【基礎】	CARD11 遺伝子点変異によるアトピー性皮膚炎自然発症機構の解明	900
松尾宗明	平成 25 年度科学研究費補助金(分担)	基盤研究(C)	LDL受容体非介在性の脂質輸送担体を用いたニーマン・ピック病C型の治療戦略.	100
小島研介	佐賀大学研究者海外派遣事業	海外派遣助成	MD Anderson Cancer Center, Professor Michael Andreeff 招聘	338
進藤岳郎	日本白血病研究基金	一般研究賞	MEK 阻害剤によるアロ反応性 T 細胞の選択的抑制と GVHD 制御	500
進藤岳郎	先進医薬研究振興財団	血液医学分野 一般研究助成	MEK 阻害剤によるアロ反応性 T 細胞の選択的抑制と GVHD 制御	1000
木村晋也	AstraZeneca Research & Development Grant 2013		Screening of anti-metastatic agents using xenograft model of human lung cancer cells carrying T790M with non-invasive monitoring system	2000
石川慎一郎	科学研究費補助金	若手研究 B	siRNA による緑内障モデルラットにおける視神経節保護効果の検討	1,300
東元 健	科学研究費補助金	基盤研究 (C)	Sotos 症候群における刷り込み遺伝子制御領域のメチル化異常発生メカニズムの解明	1,170
有馬 和彦	科学研究費補助金	基盤研究(C)(代表)	TSLP シグナル解析を通じた樹状細胞の機能的可塑性を維持する機能の解明	1,950
浜崎雄平	厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 免疫アレルギー研究分野)(分担)	アトピー性皮膚炎の発症・症状の制御および治療法の確立普及に関する研究.	1,000
出原 賢治	科学研究費補助金	基盤研究(A)(分担)	アトピー性皮膚炎発症機序の解明	650
原 英夫	科学研究費補助金	基盤研究 C	アルツハイマー病における脳の慢性炎症病態解析と治療法開発	1950
出原 賢治	科学研究費補助金	基盤研究(B)(代表)	アレルギー疾患の慢性化機序の解明とそれに対する治療戦略の確立	4,940
出原 賢治	科学研究費補助金	基盤研究(C)(分担)	アレルギー性炎症におけるマトリセルラータンパク質の役割の解明および治療への応用	100
原博満	科学研究費補助金	新学術領域研究(研究領域提案型)	アレルギー性接触皮膚炎感作に必要な非感染性自然免疫活性化経路	5200
西田裕一郎	三井住友海上福祉財団	研究助成・高齢者福祉部門	一過性の有酸素運動が高齢者の遺伝子修復酵素 OGG1 の DNA メチル化と発現量に及ぼす影響	1,150
村田祐造	平成 25 年度佐賀大学研究シーズ		オキシトシン、バソプレシンによる血糖制御関与の検討	1,200
宮本比呂志	厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業)(分担)	関節リウマチ患者の関節機能を再建する革新的な人工股関節の創出	500
大塚泰史	科学研究費補助金	基盤研究(C)	ゲノムワイド父性ダイソミーの分子病態に関する研究.	1,400
副島英伸	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	ゲノム刷り込みに基づくiPS細胞分化能の指標作成	1040
青木茂久	農水省)受託研究 アグリ・ヘルス実用化研究促進プロジェクト	牛等の動物由来の原料を用いた医療用新素材の開発	コラーゲンビトリゲルを用いた新規創部被覆材に関する研究開発	8,600
平田憲	科学研究費補助金	基盤研究 C	徐放作用を有する粘膜粘着糊を用いた網膜剥離および虚血性網膜疾患の治療法	1,300
内橋 和芳	平成 25 年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【基礎】	ステロイド性大腿骨頭壊死症の病態解明:骨髄肥満による脂肪毒性の影響と制御機構	800
宮本比呂志	厚生労働科学研究費補助金	創薬基盤推進研究事業(分担)	生体親和性材料によるナノ表面処理を用いた画期的な人工膝関節の開発に関する研究	2,000

柿原奈保子	科学研究費補助金	若手研究 B	精油を用いた看護技術のエビデンスの確立－照射性潰瘍に対する治癒力促進のメカニズム－	780
池田義孝	科学研究費補助金	基盤研究(C)	糖転移酵素を用いた糖鎖の構造特異的分解反応の検討と応用	1,560
多田芳史	厚生労働省科学研究費補助金	難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業(分担)	特発性大腿骨頭壊死症の病因遺伝子解析と予防法開発への応用	5,000
多田芳史	厚生労働省科学研究費補助金	難治性疾患等克服研究事業(分担)	特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学術的研究	1,080
池田義孝	厚生労働科学研究費補助金	長寿科学総合研究事業(分担)	尿マーカーを用いた骨粗鬆症検診の有用性の検証と骨折予防効果に関する研究	500
寺本 憲功	日本学術振興会	外国人特別研究員(北米・欧州)研究費	プロスタグランジンE2にて誘導される過活動膀胱におけるEP2型受容体の役割	972
出原 賢治	平成 25 年度真鍋奨学助成		ペリオスチンを基盤としたアレルギー疾患の慢性化機序に対する治療法の確立	1,000
増岡美穂	科学研究費補助金	若手研究(B)(代表)	ペリオスチンを基盤とした慢性炎症性皮膚疾患における慢性化機序の解明と治療法の確立	89
出原 賢治	科学技術振興機構	A-STEP フィーजीブリティスタディ・ステージ検索タイプ	ベルオキシンターゼを標的とした気管支喘息に対する治療薬の開発	846
西岡憲一	佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【基礎】	ポリコム群遺伝子産物の新規制御因子 Setd5 による幹細胞機能制御	700
熊本栄一	科学研究費補助金	基盤研究(C)	ラット脊髄後角の痛み伝達制御におけるオキシトシン作用のシナプスレベルの解析	1,300
藤田亜美	科学研究費補助金	若手研究(B)	ラット脊髄後角の痛覚情報伝達制御における TRP 機能のプロテアーゼ受容体による修飾	780
市場正良	厚生労働科学研究費補助金	労働安全衛生総合研究事業	リスク評価のためのバイオロジカル・モニタリング手法の開発に関する研究	820
西田裕一郎	科学研究費補助金	基盤研究(C)	リポ蛋白リパーゼトランスジェニックウサギを用いた抗肥満・抗糖尿病のメタボロミクス	2,210
青木茂久	科学研究費補助金	基盤研究(C)	悪性黒色腫細胞の生存、増殖、遊走、浸潤における脂肪組織の役割とその制御機構の解明	1,950
鬼頭 佳彦	平成 25 年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【基礎】	胃運動機能亢進に関与するプロスタグランジン E2 受容体サブタイプの同定	800
野口 亮	科学研究費補助金	基盤研究(C)	幹細胞由来大型心筋移植片の心筋再生効果の解析	1,170
西島(松延) 亜紀	科学研究費補助金	基盤研究(C)	肝細胞の生存・増殖・分化・脂肪毒性における脂肪組織の役割とその制御機構	2,080
副島英伸	厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等克服研究事業	間葉性異形成胎盤の臨床的・分子遺伝学的診断法の開発を目指した基盤研究	6480
浜崎雄平	科学研究費補助金	基盤研究(C)	気道のTh2環境決定におけるTSLP等の活性物質とアラキドン酸代謝物との相互作用	1950
山本修一	ノバルティスファーマ	研究活動助成金	気道炎症における TRP 温度感受性受容体の役割の解明	500
鈴木 章一	科学研究費補助金	基盤研究(C)(代表)	気道上皮細胞を介した喘息発症機序の解明	1,430
寺本 憲功	日本学術振興会	最先端・次世代研究開発支援プログラム	血管新生を誘導する siRNA とナノ薬物送達法による革新的低侵襲性治療法の創成	35,100
吉田裕樹	科学研究費補助金	基盤研究 C	原虫感染に対する CARD9 を介した新規自然免疫活性化経路の解析	2080
小松 愛子	平成 25 年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【臨床】	抗がん剤による薬剤性心筋障害の早期診断法の確立	700
内橋 和芳	科学研究費補助金	若手研究(B)	骨芽細胞の増殖・分化・脂肪毒性における骨髓脂肪組織の影響とその制御機構の解明	1,560
森田 茂樹	医学部研究者育成大型プロジェクト		細胞のもつ自己組織化能の解明および iPS 細胞由来機能的 3 次元組織を構築する技術の開発	5,000
宮本比呂志	科学研究費補助金	基盤研究◎	細胞内のレジオネラを認識する宿主因子複合体・インフラマソームの分子生物学的解析	2,470
吉田裕樹	佐賀大学研究シーズ(学長裁量経費)		次世代アジュバントの探索・開発とその生理活性の解析	1800
森田 茂樹	佐賀大学研究シーズ		自己幹細胞および組織工学による胸部・心臓血管臓器再生医療の開発	1,500
野出孝一	科学研究費補助金	基盤研究 C	循環器病における時計遺伝子の解析	2,080
市場正良	科学研究費補助金	基盤研究C	小児における室内空気環境による健康影響とその対策	1690

山本修一	科学研究費補助金	基盤研究(C)	小児気管支喘息発症および気道炎症に関わるクラス3セマフォリンの役割の解明.	1690
戸田修二	科学研究費補助金	学術研究助成金・盤研究(C)	心筋細胞の生存・分化・脂肪毒性における脂肪組織の役割とその制御機構	1,170
八坂敏一	科学研究費補助金	基盤研究 B	新規自然免疫活性化機構関連分子の神経障害痛発症メカニズムにおける役割の解明	5330
村田祐造	科学研究費補助金	基盤研究 B(分担)	新規自然免疫活性化機構関連分子の神経障害痛発症メカニズムにおける役割の解明	250
八坂 敏一	科学研究費補助金	基盤研究(B)	新規自然免疫活性化機構関連分子の神経障害痛発症メカニズムにおける役割の解明.	5,330
森田 茂樹	科学研究補助金	基盤研究(B)	新規組織工学による iPS 細胞からの心臓血管臓器再生療法の開発	8,840
松尾宗明	厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患克服事業(分担)	神経皮膚症候群の調査研究.	900
松尾宗明	科学研究費補助金	基盤研究(C)	人工多能性幹細胞を用いたもやもや病の病因病態解析と治療法の開発.	1170
寺本 憲功	佐賀大学医学部 学術国際交流基金		腎臓における微小血流循環の制御機序:分子レベルでの研究の高感受性解析手法の開発	110
見市(三田村)文香	科学研究費補助金	新学術領域研究(研究領域提案型)	赤痢アメーバマイトソームによる硫酸活性化経路の獲得と寄生適応との関連性の解明	3250
見市(三田村)文香	平成25年度 熱帯医学研究拠点	一般共同研究	赤痢アメーバマイトソームの新規含硫脂質の機能解析	250
副島英伸	厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等克服研究事業(分担)	先天性異常の疾患群の診療指針と治療法開発をめざした情報・検体共有のフレームワークの確立	2600
出原 賢治	科学技術振興機構	研究成果展開事業 研究成果最適展開 支援プログラムハイ リスク挑戦タイプ	線維化疾患を網羅的かつ特異的に診断できる診断薬の開発	23,400
増岡美穂	科学技術振興機構	研究成果最適展開 支援プログラムハイ リスク挑戦タイプ 出 産・子育て等支援制 度	線維化疾患を網羅的かつ特異的に診断できる診断薬の開発	1,433
蒲原啓司	科学研究費補助金	基盤研究(C)	組織工学と幹細胞研究を融合させた新規自己細胞由来人工血管による再生医療	1,170
古川浩二郎	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	組織工学による3次元自己細胞由来心血管組織を用いた次世代型心臓手術技術の開発	1,950
伊藤 学	平成25年度佐賀大学 中期計画実行経費	医学部研究者育成 支援事業【臨床】	組織工学による自己細胞由来小口径血管の開発	700
野出孝一	先進医薬研究振興財団	平成25年度一般研究助成	体内時計と循環器病の連関の解明	1,000
吉田裕樹	医学部研究者育成 大型プロジェクト事業		代謝性疾患における自然炎症の関与とその能動的制御による新規治療法開発プロジェクト	5000
寺本 憲功	佐賀大学医学部 研究者育成大型 プロジェクト	(分担)	代謝性疾患における自然炎症の関与とその能動的制御による新規治療法開発プロジェクト	900
八坂 敏一	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	痛覚伝達に関わる脊髄後角局所回路における高解像度トレーシング.	650
末岡栄三朗	科学研究費補助金	基盤研究(C)	低酸素応答遺伝子 HIF-1α によるリンパ腫発生促進機構の解析	1430
久留 和成	平成25年度佐賀大学 中期計画実行経費	医学部研究者育成 支援事業【基礎】	内臓脂肪由来サイトカイン、アディポネクチンの中樞神経における作用 ～『“悪玉”アディポサイトカイン』としての働き～	800
久留 和成	科学研究費補助金	基盤研究 C	脳幹における GLP-1 分泌機序に関与する 修飾因子および神経 ネットワークの同定	2,470
八坂 敏一	佐賀大学研究シーズ	研究シーズ	脳内炎症から見た精神神経疾患における新規自然免疫活性化機構の役割.	1,250
原博満	科学研究費補助金	基盤研究 B	肺感染症における新規自然免疫受容体の役割の解明	5330
小島研介	白血病細胞と骨髄 造血支持間質細胞 の双方向性コミュニ ケーションの治 療的制御	一般学術研究助成金	白血病細胞と骨髄造血支持間質細胞の双方向性コミュニケーションの治療的制御	1000
松本明子	科学研究費補助金	若手研究(B)	肥満・耐糖能異常を合併したアルコール性肝障害における ALDH2 遺伝子多型の影響	1300
荒金 尚子	平成25年度佐賀大学 中期計画実行経費	医学部研究者育成 支援事業【臨床】	表面増強ラマン散乱を用いた肺扁平上皮癌における disocoidin domain receptor 2 新規変異の生物学的意義の解明	700

出原 賢治	科学研究費補助金	基盤研究(C)(分担)	慢性そう痒性皮膚疾患の病態解明の新規治療薬の開発	260
浅香真知子	財団法人 三井生命厚生事業団		慢性心不全の運動療法	1,000
古賀 靖大	科学研究費補助金	基盤研究C	未分化型胃癌に対する低酸素誘導エピジェネティック分子を標的とした治療モデルの確立	1170
吉田裕樹	科学研究費補助金	基盤研究 B(分担)	網膜下癰瘍病巣形成メカニズム解明とその治療への応用	200
原博満	科学研究費補助金	基盤研究 B(分担)	網膜下癰瘍病巣形成メカニズム解明とその治療への応用	100
青木茂久	平成 25 年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【基礎】	流体刺激培養法による幹細胞と小腸の組織化と、組織片移植法への応用	1,000
小荒田 秀一	平成25 年度科学研究費補助金の応募申請に係る研究者へのインセンティブ付与	基盤研究(C)		800
永尾 晃治	科学研究費補助金	基盤研究(C)	食環境による脂肪組織由来疾患遺伝子の発現制御と病態発症の予防・改善	1,200
光武 進	科学研究費補助金	若手研究(B)	セラミドキナーゼによるマクロファージ細胞機能調節機構の解明	1,714
古藤田 信博	科学研究費補助金	基盤研究(C)	植物ホルモン動態解明に基づくカンキツ単為結果性発現の分子機構	842
北垣 浩志	科学研究費補助金	基盤研究(C)	ビルビン酸低減清酒酵母のビルビン酸低減メカニズムの解明	500
鈴木 章弘	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	光質の制御による根粒共生促進技術の開発とマメ科作物生産への応用	900
早川 洋一	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	寄生蜂は宿主の死をどのように防ぐか？	1,600
徳田 誠	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	トノサマバッタはなぜオオムギを食べない？植食者の寄主と非寄主を決定する要因の探索	1,200
北村 二雄	科学研究費補助金	基盤研究(C)	カルボニル化合物の触媒的フッ素化反応の開発	1,800
大渡 啓介	科学研究費補助金	基盤研究(C)	レアメタル分離に疎水基—金属配位水反応を利用した大環状ホスト分子含有樹脂の開発	2,200
穴井 豊昭	特別経費プロジェクト	基盤研究(C)	重複遺伝子を持つダイズフラボノイド代謝経路の転写因子を標的とした改変	2,400
渡邊 啓史	科学研究費補助金	若手研究(B)	ダイズの開花期を支配する E1 遺伝子の機能解析	1,200
大渡 啓介		環境研究総合推進費補助金	ホスト分子による希少金属オンサイト分離のためのマイクロリアクターシステムの構築	10,315
早川 洋一	科学研究費補助金	基盤研究(B)	昆虫サイトカイン依存的な新しい自然免疫活性化経路の証明	2,600
鈴木 章弘	科学研究費補助金	基盤研究(B)	ダイズ窒素固定関連遺伝子 SEN1 の多様性と収量性に与える影響	2,900

(5) センター教職員による業績及び外部資金

原著論文

著者名(多数の場合、略記可)	題目	雑誌名
○猪原哲, 山口将太, 金子憂樹, 寺東宏明	パルスパワー印加における球根の発芽率とグルコース濃度の変化	電気学会論文誌 A(基礎・材料・共通部門誌). 133:64-65
*金光理、森加奈恵	教育用銀河衝突シミュレータの開発 (Development of Galaxies Collision Simulator for Educational Use)	福岡教育大学紀要、第 62 号、第 3 分冊、pp.75-83
Hiroaki Terato, Yuka Shimazaki-Tokuyama, Yuko Inoue, Yoshiya Furusawa	Quantitative characteristics of clustered DNA damage in irradiated cells by heavy ion beams.	J Radiat Res 55: i89-i90
Tshering Penjor, Masashi Yamamoto, Miki Uehara, Manami Ide, Natsumi Matsumoto, Ryoji Matsumoto, Yukio Nagano	Phylogenetic Relationships of Citrus and Its Relatives Based on matK Gene Sequences.	PLoS ONE 8(4): e62574. doi:10.1371/journal.pone.0062574
Shunsuke Furihata, Kohjiro Tanaka, Masasuke Ryuda, Masanori Ochiai, Matsumoto Hitoshi, Gyorgy Csikos, and Yoichi Hayakawa	Immuno-evasive protein (IEP)-containing surface layer covering polydnavirus particles is essential for viral infection	Journal of Invertebrate Pathology
Nishijima, K., Liu, E., Yamaguchi, S., Tanaka, M., Morimoto, M., Watanabe, T., Fan, J. and Kitajima, S.	Delaying embryo development by storing at 4°C for synchronization to recipients in microinjection technique in rabbits	Lab. Anim.
Wang, Y., Niimi, M., Nishijima, K., Yu, Y., Koike, T., Kitajima, S., Inoue, T., Waqar, A.B., Liu, E., Kohashi, M., Keyamura, Y., Yoshigawa, T., Zhang, J., Ma, L., Zha, X., Watanabe, T., Asada, A., Y. Chen, E. and Fan, J.	Human apolipoprotein AII protects against diet-induced atherosclerosis in transgenic rabbits	Arterioscler. Thromb. Vasc. Biol.
Kotaro Nakata a,†, Hiroki Kodama b, Takuma Hasegawa a, Katsuhiro Hama c, Teruki Iwatsuki c, Tohru Miyajima d	Groundwater dating using radiocarbon in fulvic acid in groundwater containing fluorescein	Journal of Hydrology
Nishijima K, Kuwahara S, Ohno T, Tanaka S, Kitajima S.	Populations of follicles in F344/N rats during aging.	Reprod. Biol. 13(2):145-149.
Nishijima K, Liu E, Yamaguchi S, Tanaka M, Morimoto M, Watanabe T, Fan J, Kitajima S.	Delaying embryo development by storing at 4 ° C for synchronization to recipients in microinjection technique in rabbit.	Lab. Anim. 47(1):53-57.
Nishijima K, Yamaguchi S, Tanaka M, Sakai Y, Koshimoto C, Morimoto M, Watanabe T, Fan J, Kitajima S	Effects of cholesterol-loaded cyclodextrins on the rate and the quality of motility in frozen and thawed rabbit sperm.	Exp. Anim.
*Wang Y, Niimi M, Nishijima K, Waqar A, Yu Y, Koike T, Kitajima S, Liu E, Inoue T, Kohashi M, Keyamura Y, Yoshikawa T, Zhang J, Ma L, Zha X, Watanabe T, Asada Y, Chen E, Fan J.	Human apolipoprotein A-II protects against diet-induced atherosclerosis in transgenic rabbits.	Arterioscler. Thromb. Vasc. Biol. 33(2):224-231.
*Yamada Y, Blanc S, Nishida Y, Nishijima K, Ebine N, Shriver T., Schoeller DA.	Validity of doubly labeled water in obese subjects: Questioning the validity of any technique requires an undisputable accuracy of the reference method.	Am. J. Physiol. Endocrinol. Metab. 305: E1178-1180.
Kiyotake, H., Matsumoto, H., Nakayama, S., Sakai, M., Miyatake, T., Ryuda, M., and Hayakawa, Y.	J. Insect Physiol.	Gain of long tonic immobility behavioral trait causes the red flour beetle to reduce anti-stress capacity.

総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文

著者名(多数の場合、略記可)	雑誌名	題目
Hiroaki Terato, Yuka Shimazaki-Tokuyama, Yuko Inoue, Ken-ichi Kudo, Yoshiya Furusawa	Quantitative characteristics of clustered DNA damage in irradiated cells by heavy ion beams.	Heavy Ion in Therapy and Space Radiation Symposium 2013
小池智也, 北嶋修司, 西島和俊, 渡辺照男, 塩見雅志, 範 江林	関西実験動物研究会会報	脂質代謝・動脈硬化研究におけるウサギの有用性—ヒト apoAII トランスジェニックウサギの開発と応用—

招待講演・特別講演(学会シンポジウム等での講演を含む)

発表者	会議等名	題目
尾崎克久、龍田勝輔、吉川寛	第8回化学生態学研究会	アゲハチョウの産卵刺激物質レセプターと食草認識のメカニズム
龍田勝輔、吉川寛、尾崎克久	日本分子生物学会(第 36 回)	RNAi によるアゲハチョウ食草認識遺伝子の機能阻害

北嶋修司、西島和俊	実験動物医学会(JALAM)シンポジウム	遺伝子改変ウサギの開発と維持—医学研究への利用
Yukio Nagano	The 8th Joint Seminar between Daegu University and Saga University	Genomics and Transcriptomics of Citrus species
寺東宏明	第 23 回日本数理生物学会大会、浜松、2013.9.11-13(シンポジウム 2. 放射線による DNA 損傷問題の周辺—数理モデルの可能性と役割)	放射線の種類による DNA 損傷生成収率の変化—実験データを元に
兒玉宏樹	日本腐植物質学会第 29 回講演会テーマ講演	若手の視点から捉える腐植物質の作用局面と機能

一般講演

発表者	題目	学会(会議等)名
永野幸生、Tshering Penjor、三村高史、松本亮司、山本雅史	ブータン王国のライムの RAD-seq 解析	NGS 現場の会 第三回研究会
後藤健太、永野幸生	“Ultra-Low Background DNA Cloning System” THE FINAL	第 37 回 蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム
Hiroaki TERATO, Yuka SHIMAZAKI-TOKUYAMA, Yuko INOUE, Ken-ichi KUDO, Yoshiya FURUSAWA	Quantitative characteristics of clustered DNA damage in irradiated cells by heavy ion beams.	Heavy Ion in Therapy and Space Radiation Symposium 2013. 2013.5.15-18, in Chiba, Japan
Kenta Goto, Yukio Nagano	Ultra-Low Background DNA Cloning System	The 8th Joint Seminar between Daegu University and Saga University
尾崎克久・龍田勝輔・武藤愛・小寺正明・吉澤靖貴・吉川寛	アゲハチョウの食性進化の仕組み	日本応用動物昆虫学会
三村高史、松本亮司、永野幸生	ウンシュウミカンのゲノム解析と RNA シーケンシング解析	NGS 現場の会 第三回研究会
永野 幸生、三村 高史、松本 亮司	ウンシュウミカンのトランスクリプトーム解析	日本農芸化学会 2014 年度大会
○市場正良、宮崎博喜、松本明子、近藤敏弘、寺東宏明、上野大介	学校教室内の空気循環とその対策(3)	室内環境学会九州支部研究発表会
寺東宏明	シンポジウム 2. 放射線による DNA 損傷問題の周辺—数理モデルの可能性と役割 4.放射線の種類による DNA 損傷生成収率の変化—実験データを元に	第 23 回日本数理生物学会大会
永野幸生、Tshering Penjor、三村高史、松本亮司、山本雅史	ブータン王国のライムの RAD-seq 解析	NGS 現場の会 第三回研究会
永野幸生、Tshering Penjor、三村高史、松本亮司、山本雅史	ライムの分子歴史地理学	平成 25 年度日本生化学会九州支部例会
永野幸生、Tshering Penjor、三村高史、松本亮司、山本雅史	奇怪な植物を発見！	第 37 回 蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム
徳山由佳、寺東宏明、古澤佳也、井出博	重粒子線によって生じる細胞内 DNA 損傷の定量分析	第 50 回放射線影響懇話会、佐賀、2013.7.27
徳山由佳、古澤佳也、寺東宏明	重粒子線照射された細胞のクラスターDNA 損傷および孤立 DNA 損傷生成収率	日本放射線影響学会第 56 回大会、青森、2013.10.18-20
澤尻昌彦、スリマウオン・ブリーヤポーン、錦織良、寺東宏明、丸山耕一、谷本啓二	重粒子線照射の乳がん細胞の転移におよぼす影響	本放射線影響学会第 56 回大会、青森、2013.10.18-20
鈴木克之、寺田峻、吉本一至、工藤健一、寺東宏明	中等度放射線耐性菌 <i>Kocuria rosea</i> のゲノム解析	日本放射線影響学会第 56 回大会、青森、2013.10.18-20
工藤健一、伊藤博徳、猪原哲、寺東宏明	放電プラズマにより生成する酸化 DNA 損傷の分析	日本放射線影響学会第 56 回大会、青森、2013.10.18-20
工藤健一、伊藤博徳、猪原哲、寺東宏明	放電プラズマによる酸化 DNA 損傷の分析	第 50 回放射線影響懇話会、佐賀、2013.7.27
西島和俊、増山律子、小池智也、森本正敏、渡辺照男、範江林、北嶋修司	ヒトアポリポ蛋白 AII 遺伝子導入ウサギの骨代謝	第 2 回ウサギバイオサイエンス研究会
西島和俊、増山律子、小池智也、山中仁木、範江林、北嶋修司	ヒトアポリポ蛋白 AII 遺伝子導入ウサギの脂質代謝および骨形成能の評価	第 156 回日本獣医学会学術集会
西島和俊、田中麻衣、酒井悠輔、越本知大、森本正敏、渡辺照男、範江林、北嶋修司	ウサギの精子および胚凍結における不凍タンパク質の効果	第 60 回日本実験動物学会総会
*河村祥介、川辺敏晃、西島和俊、福田孝規、清水智昭、井上聖也、北嶋修司	ウサギの麻酔下採血における血清動態に関する知見・第 2 報	第 31 回九州実験動物研究会総会
中田弘太郎、兒玉宏樹、長谷川琢磨、濱克宏、岩月輝希、宮島徹	「地下水年代評価を目的とした溶存有機物の採取方法」	日本腐植物質学会第 29 回講演会
宇田川洋、高嶋祐弥、森永憂、兒玉宏樹	土壌固相に対する金属イオン結合特性の評価手法の検討	日本腐植物質学会第 29 回講演会

衛藤珠美、立石慶輔、三島由香理、真野帆波、 兒玉宏樹	鉄資材から海水抽出される有機成分の鉄に対する結合定数の決定	日本腐植物質学会第 29 回講演会
岩崎琢磨、兒玉宏樹	¹ H DOSY を用いるフルボ酸、および水抽出有機成分の疎水性高分子に対する吸着挙動解析	日本腐植物質学会第 29 回講演会

受賞

受賞者名	名称	受賞の対象となった成果の概要
兒玉宏樹	佐賀大学教育功績等表彰	賀環境フォーラムの事業部長として、環境教育の授業(教養教育科目)を企画、実施した。特にアクティブラーニングであるワークショップ授業の中で、自転車の回収、再生、グリーンツーリズムなどの課題に取り組んだ結果、学生中心のグループ「チャリさがさいせい」が生まれ、その活動をサポートしてきた。その結果、「チャリさがさいせい」は、第10回全国学生環境活動コンテスト ecocon2012 のグランプリ(環境大臣賞)と会場賞を受賞した。この成果は、同氏の日頃の教育指導が実を結んだものである。

外部資金

代表者名	資金の名称	種目	研究課題等	金額(千円)
寺東宏明	科学研究費補助金	基盤研究 C	放射線誘発塩基損傷クラスターの量的・質的解析による放射線生物効果の機構解明	1,040
寺東宏明	佐賀大学研究シーズ		低線量・内部被曝に対するバイオ線量計の技術開発	1,250
近藤敏弘	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	シックハウス症候群に対する高感度プローブとしての DNA 付加体損傷の解析	780
近藤敏弘	科学研究費補助金	基盤研究C (分担)	小児における室内空気環境の健康影響に関する研究(市場正良)	100
龍田勝輔	科学研究費補助金	若手研究(B)	アゲハチョウ科3種の産卵刺激物質受容メカニズムの解明	600
北嶋修司	科学研究費補助金	基盤研究(C)	疾患モデルウサギの系統保存のための胚凍結技術の確立と凍結胚による系統保存の実施	1,820
西島和俊	科学研究費補助金	若手研究(B)	肥満おける運動療法に与えるリボ蛋白リパーゼおよびアポリポ蛋白 AII の作用の解明	1,040
渡辺照男	科学研究費補助金	基盤研究(C)	ブラーク破綻におけるMMP-9の役割:新たな急性冠症候群発症モデルの開発	1,430
永野幸生	科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	フロリゲン直接注入法を活用したカンキツの幼若期短縮方法の開発	900
永野幸生	特別経費プロジェクト		特色ある遺伝資源を活用した作物ゲノム育種システムの構築	500
兒玉宏樹	共同研究	共同研究(電力中央研究所)	起源の異なる有機物の混合評価と年代測定の試み	1,500
兒玉宏樹	共同研究	共同研究(株式会社まんでん)	ゴマ中のセサミン・セサモリンの定量分析	500